

令和6年度  
島田市総合計画の策定に向けた中高生アンケート集計結果  
＜第3次島田市総合計画＞

---

# サマリー

---

## □ 島田市の住みごころについて（島田市在住者）

- ・ 中高生の約9割が、主に生まれ育った地元であることを理由に住みやすさを感じている。住みにくさの理由としては、買い物やレジャー施設・公園がないといった不便さ、将来働きたいと思える会社やお店がないことなどが挙げられている。

## □ 島田市内での活動について（島田市外在住者の高校生）

- ・ 約7割が活動しやすいと感じており、大きな理由として豊かな自然が挙げられる。活動がしにくい理由としては、車や自転車での移動が快適でないことや電車通学の不便さなど、域内の移動手段に関するものが多く挙げられている。

## □ 島田市内の活動地域について

- ・ 活動拠点は、中高生ともに概ね中心拠点（島田駅周辺）に集約されており、次いで六合地域拠点の利用が多い。高校生については、島田市外からの通学者が約50%を占めているため、市内を利用しない割合が中学生よりも多いが、通学時に島田駅を利用する割合が多いため、平日の放課後などに、時間的に使用可能なカフェや飲食物の買物などの利用割合は中学生よりも多くなっている。
- ・ 島田駅周辺などの市街地を中心に利用頻度は高く、主に自転車での移動が多い。川根地区など市街地から離れるほど、そもそも利用しない割合も大きくなり、自家用車での移動割合が大きくなっている。

## □ これからの島田市のまちづくりについて

- ・ まちの活性化のためには、お店や会社が繁盛することや、公共交通機関や道路の整備が重要と考えられており、市内での住みにくさ・活動しにくさとの関連が推測される。
- ・ 高校生の85%が島田市の人口減少を認知しており、人口減少問題の課題として、特に地域産業の衰退やにぎわいが失われることへの強い懸念が示されている。また、特に「子育て・教育」「経済・産業」の分野は、将来に向け注力すべきとの意見が多かった。

# 目次

---

|                                                                        |    |
|------------------------------------------------------------------------|----|
| 調査概要                                                                   | 3  |
| 中学校名を教えてください。                                                          | 4  |
| 高校名を教えてください。                                                           | 5  |
| あなたの性別を教えてください。                                                        | 6  |
| あなたのお住まいの地域を教えてください。                                                   | 7  |
| 島田市にお住まいの年数を教えてください。                                                   | 8  |
| これからも今住んでいる市町に住み続けたいですか？                                               | 10 |
| 島田市の住みごこちはいかがですか？                                                      | 12 |
| 島田市のどんなところに住みやすさを感じますか？                                                | 13 |
| 島田市のどんなところに住みにくさを感じますか？                                                | 14 |
| 島田市での普段の活動（通学、学校生活、放課後など）のしやすさはいかがですか？                                 | 15 |
| 島田市のどんなところが活動しやすいと感じますか？                                               | 16 |
| 島田市のどんなところが活動しにくいと感じますか？                                               | 17 |
| 「笑顔あふれる 安心のまち 島田」に近づいていると感じますか？                                        | 18 |
| 普段あなたは島田市内のどの拠点を使うことが多いですか？（用途別）                                       | 20 |
| その他に普段行っている活動があれば利用する拠点を教えてください。                                       | 40 |
| 島田市内のそれぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？（地区別）                                     | 41 |
| 自宅から島田市内のそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？（地区別）                                    | 51 |
| 今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？                               | 61 |
| あなたは、島田市の人口が減少していることを知っていましたか？                                         | 73 |
| 人口減少が与える悪い影響について、特に問題であると感じるものは何ですか？                                   | 74 |
| あなたは、SDGsについて知っていますか？                                                  | 75 |
| SDGsのゴールにつながる取組の中で、あなたが普段から心がけていることは何ですか？                              | 76 |
| 将来に向けて、島田市が特に力を入れるべきだと思う取組は何ですか？                                       | 78 |
| 現在のまちづくりのキャッチフレーズ「笑顔あふれる 安心のまち 島田」をもとに、これからの目指すべきまちのイメージなどを自由に記してください。 | 79 |

## 調査概要

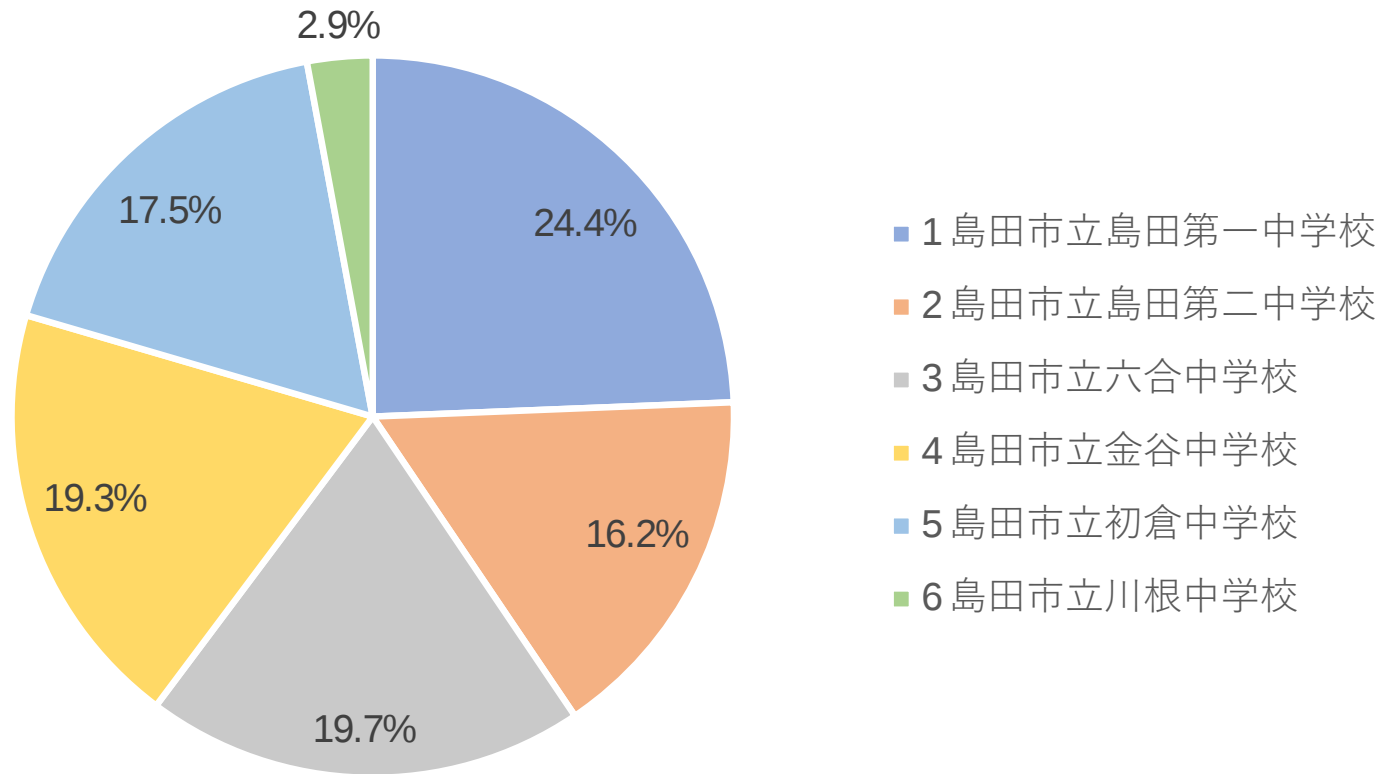
---

- 実施期間: 令和6年10月8日～10月31日
- 対象: 中学生: 市立中学校6校の中学3年生  
(島田第一中学校、島田第二中学校、六合中学校、金谷中学校、初倉中学校、川根中学校)  
高校生: 所在する全高等学校の高校2年生  
(県立島田高校、県立島田商業高校、県立島田工業高校、島田樟誠高校)
- 実施方法: インターネットでの受付
- 配布数: 中学3年生 747人 高校2年生 816人
- 有効回答数: 中学生3年生 513人 高校生2年生 413人
- 有効回答率: 中学3年生 68.7% 高校2年生 50.6%

## 中学校名を教えてください。

- 調査対象となる中学校のうち、川根中学校の割合が全体の3%と最も小さく、それ以外の5校は、それぞれ約20%ずつ回答があった。

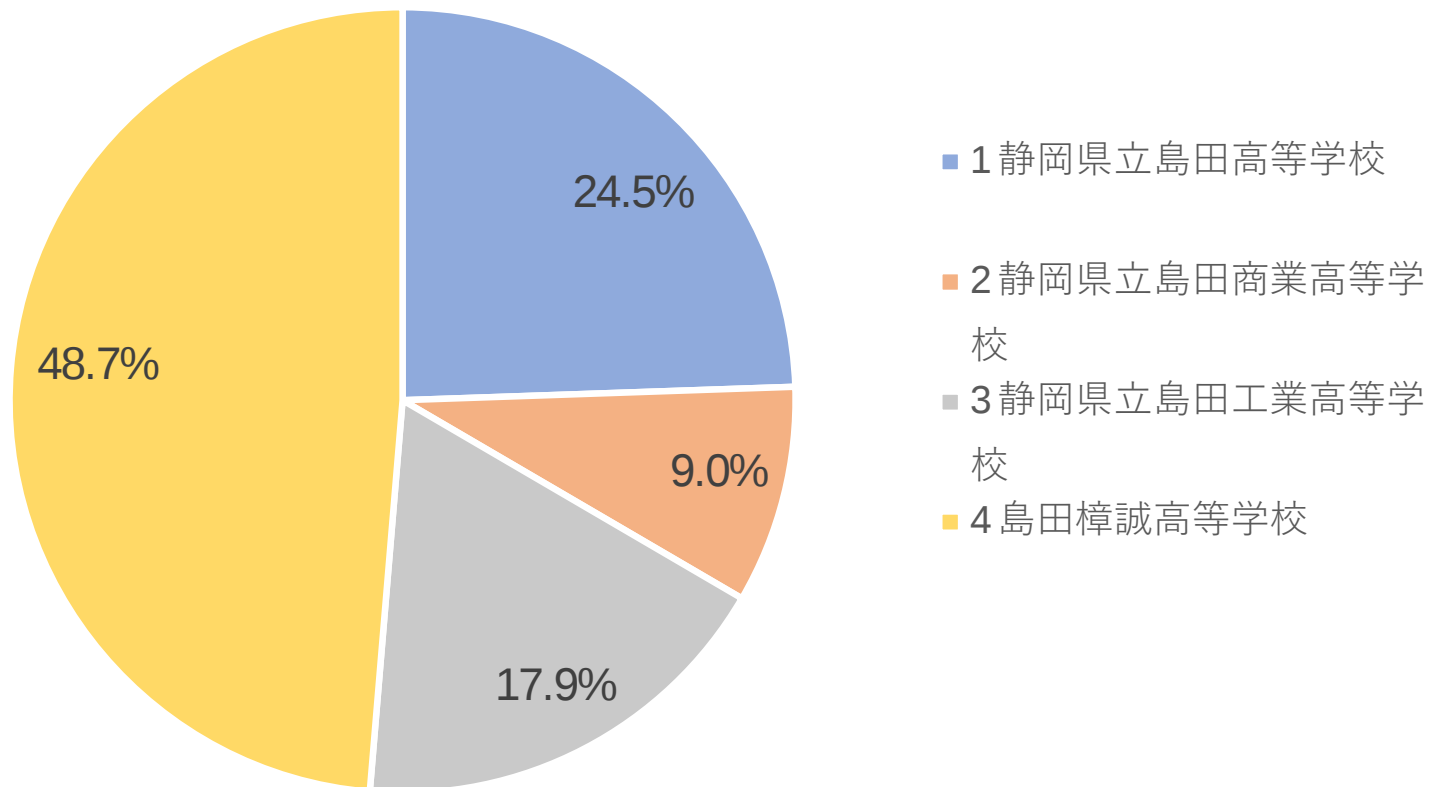
(N=513)



## 高校名を教えてください。

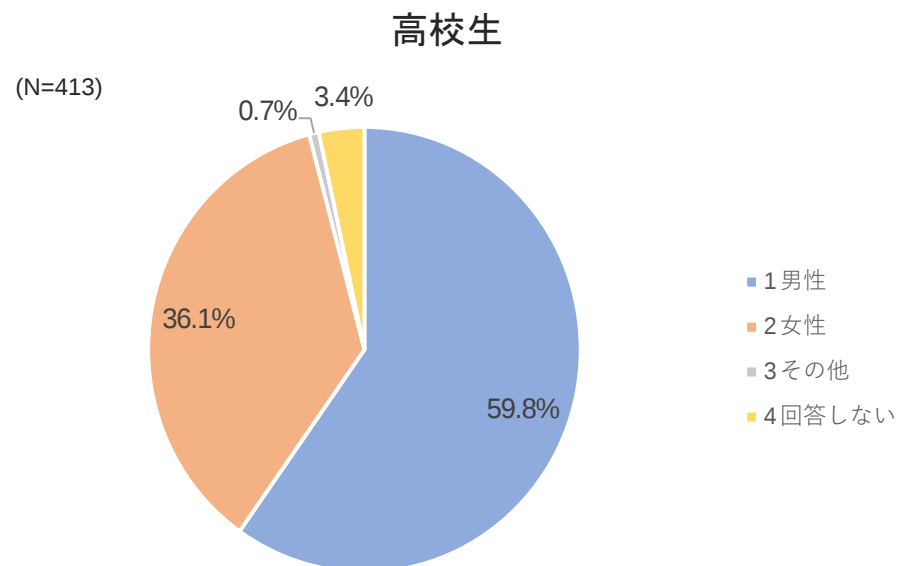
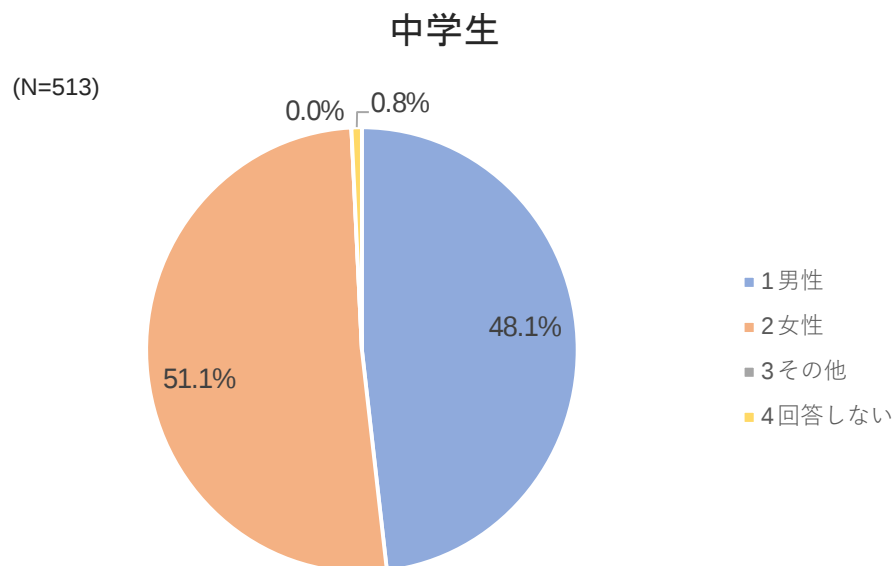
- 島田市樟誠高等学校が回答数201件で、全体の約半分の割合を占めており、島田商業高等学校の割合が9%と最も小さい。

(N=413)



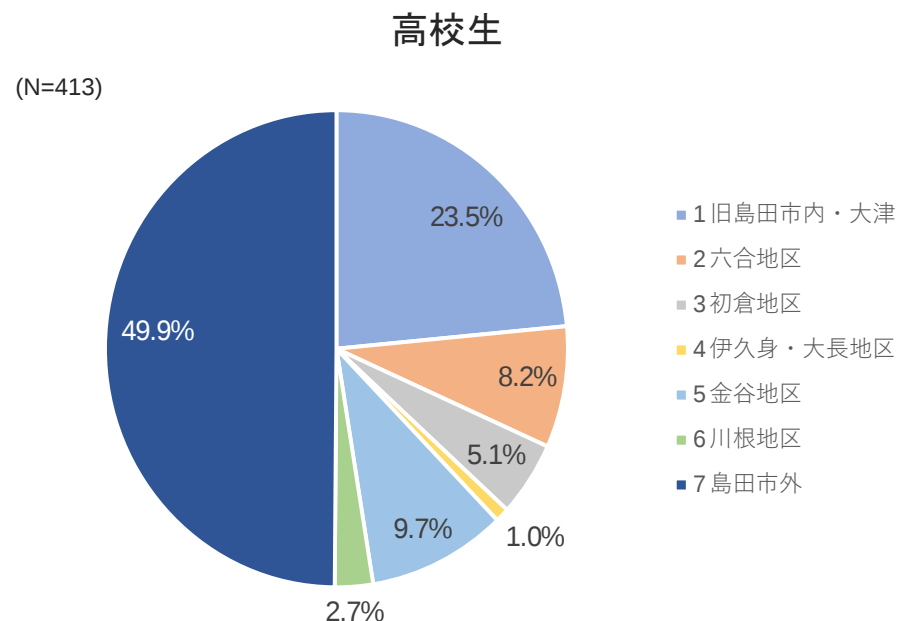
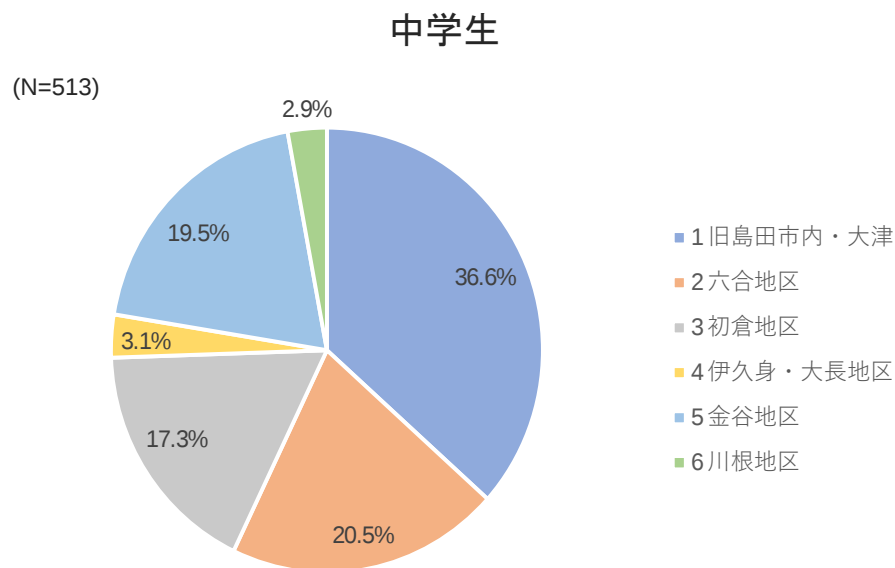
あなたの性別を教えてください。

- 中学生の男女比はほぼ半分であったが、高校生の男女比は6:4で男性の割合が多くなっている。



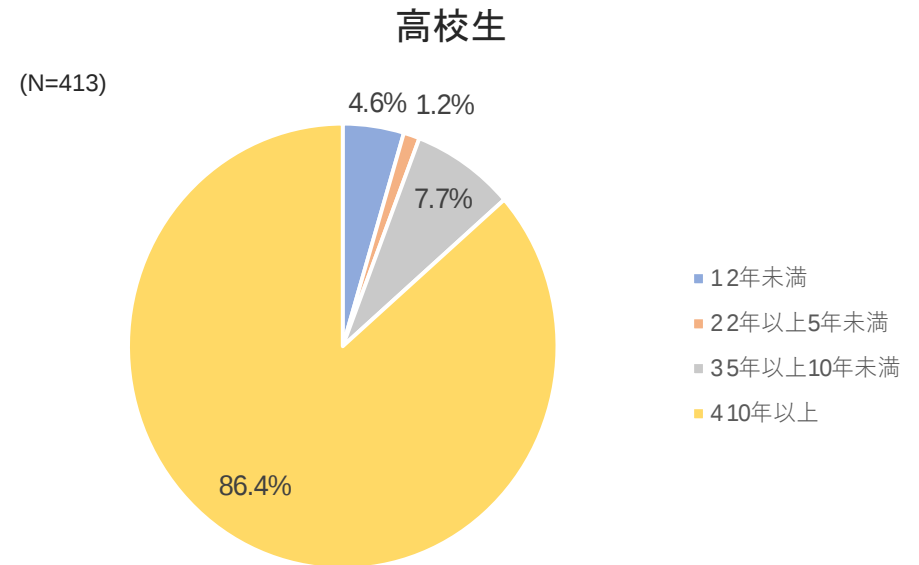
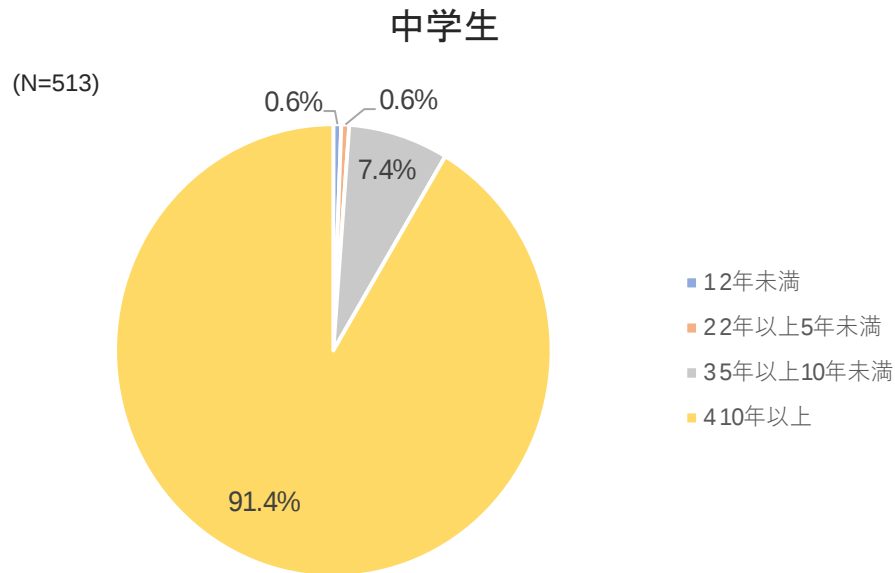
## あなたのお住まいの地域を教えてください。

- 地域別の住まいについて、中学生は旧島田市内・大津出身が全体の約40%で最も多く、次いで六合地区(20%)、初倉地区(17%)となっている。
- 高校生では、島田市外から通学する学生の割合が50%を占めており、次いで旧島田市内・大津(23%)となっている。



## いまの市町にお住まいの年数を教えてください。

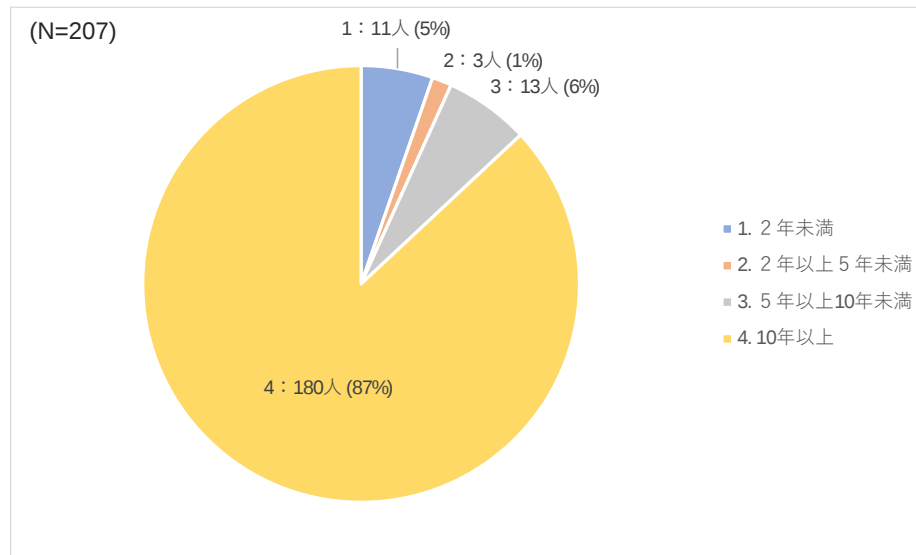
- 居住年数は、中高生ともに約9割が10年以上島田市に住んでいると回答しており、学生のほとんどが島田市出身であることが推測される。



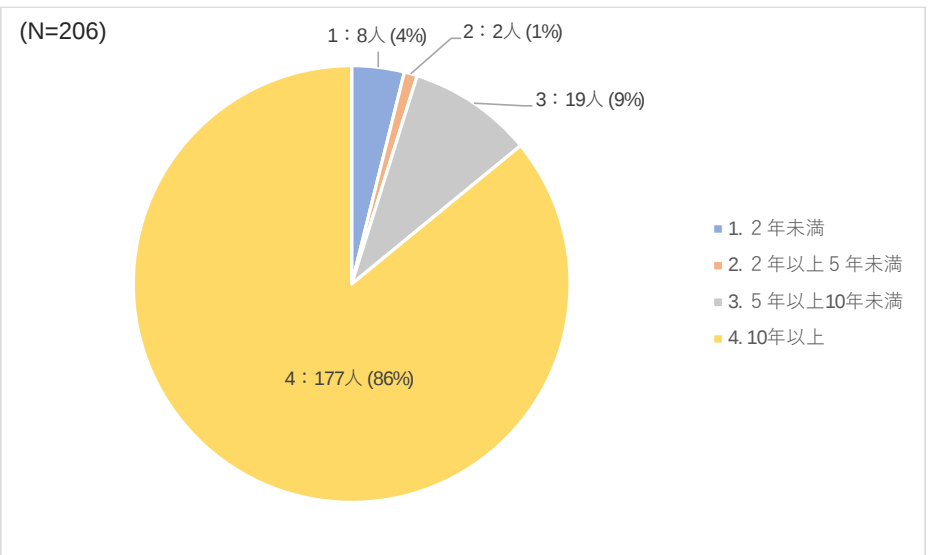
## いまの市町にお住まいの年数を教えてください。(高校生のみ)

- 高校生の市内在住者は87%、市外在住者は86%が10年以上居住している。  
※中学生の市外在住者は0人

市内在住者

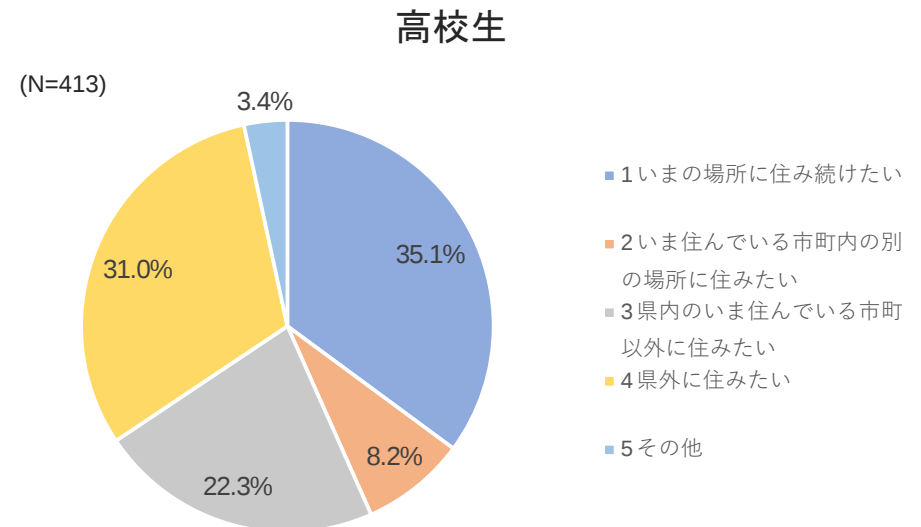
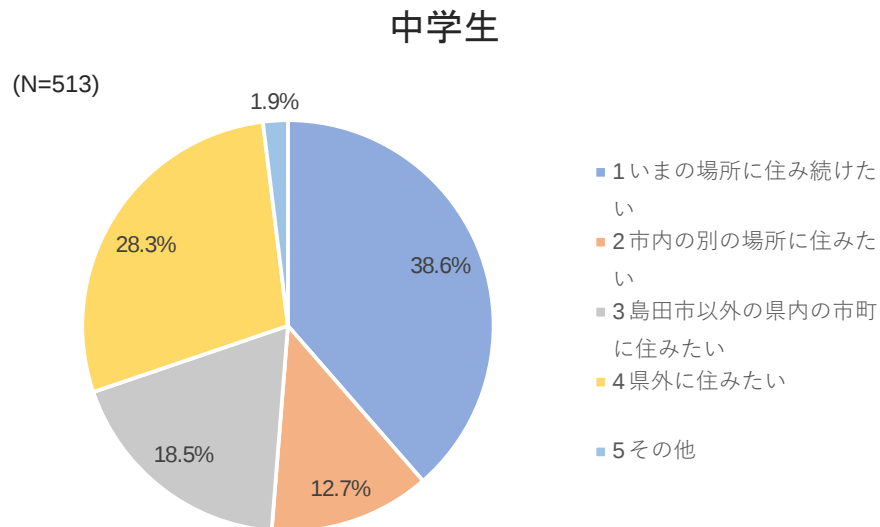


市外在住者



## これからもいま住んでいる市町に住み続けたいですか？

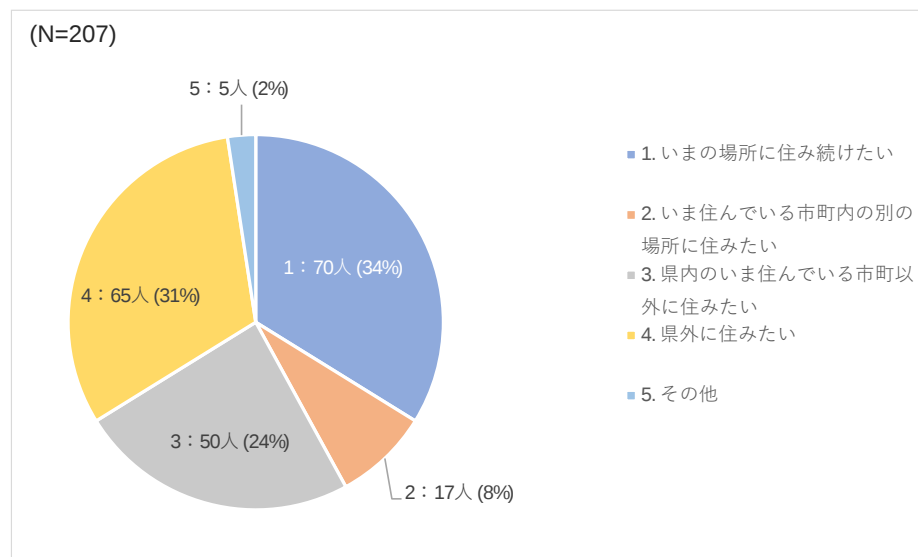
- 中高生の約4割が今の場所に住み続けたいと回答している一方、県外での居住希望者の割合も約30%と比較的多い。
- 中学生より高校生の方が、島田市外への居住希望者の割合が多く、半数を超えている。



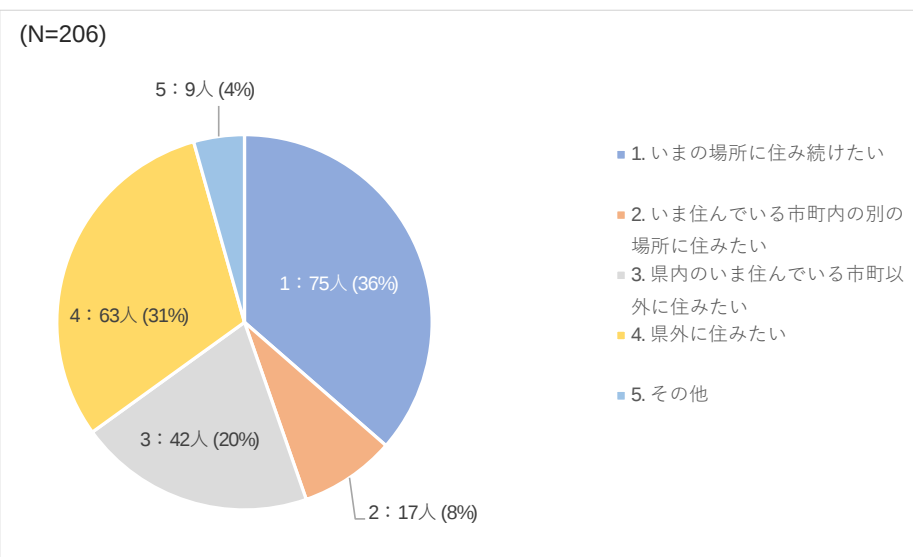
## これからもいま住んでいる市町に住み続けたいですか？（高校生のみ）

- 高校生の市内在住者の34%が今の場所に住み続けたいと回答する一方、島田市以外に住みたいの希望者は50%を超えている。
- 市外在住者の約3割は、県外に住みたいと考えている。

市内在住者

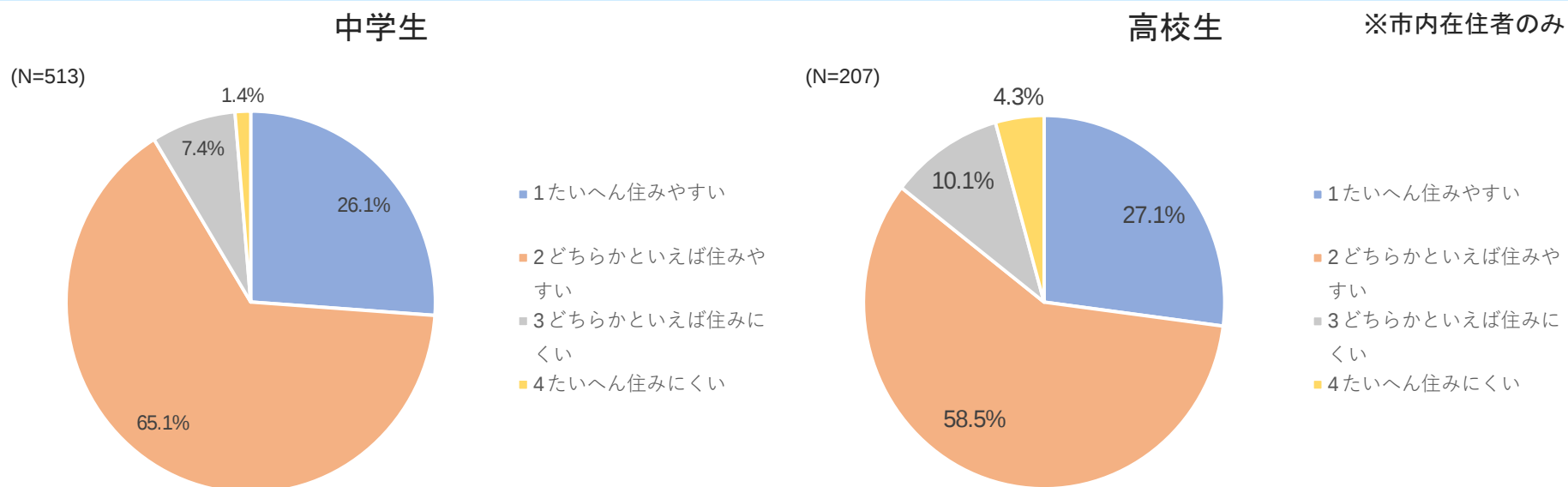


市外在住者



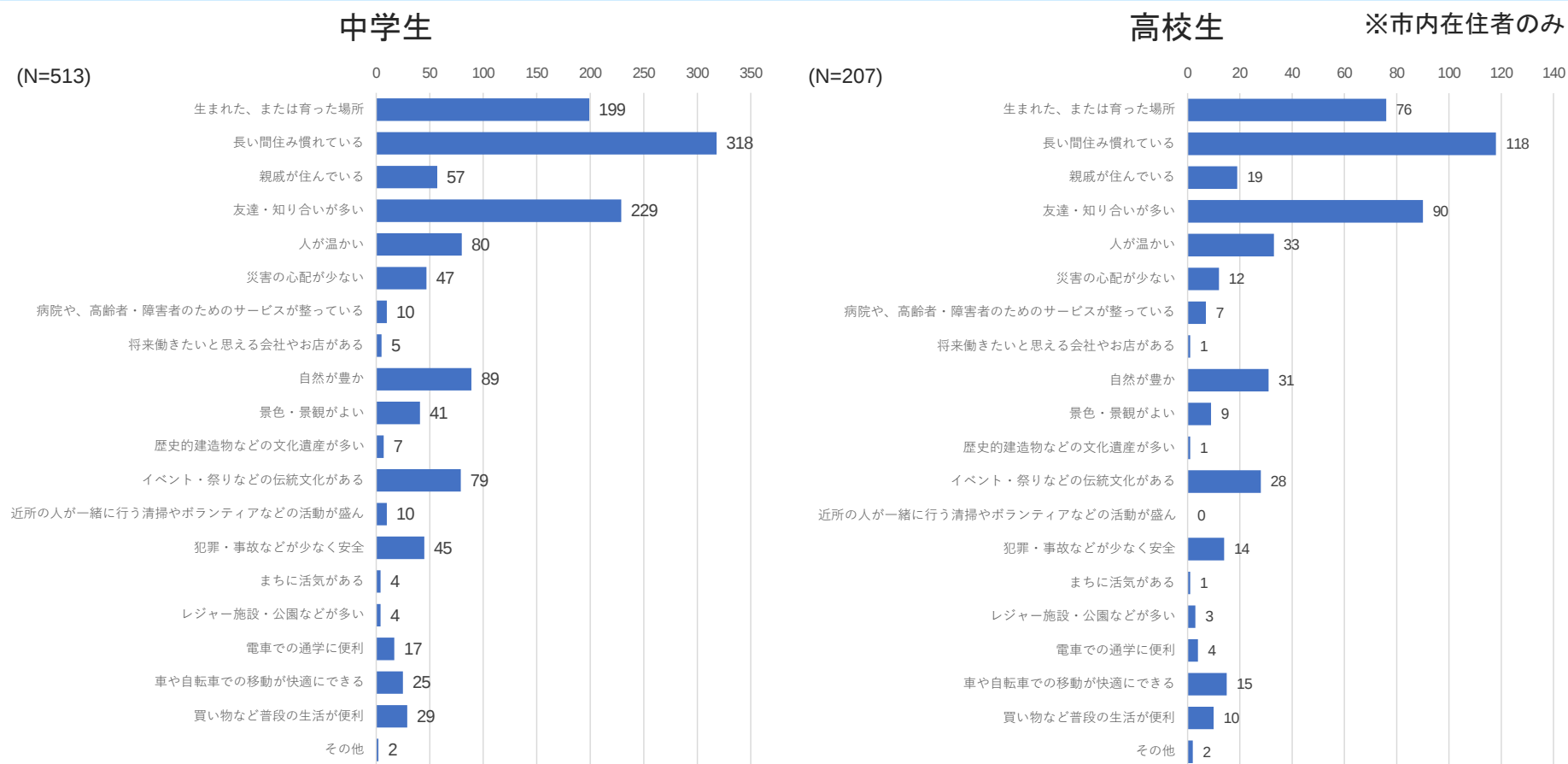
## 島田市の住みごちはいかがですか？

- 「たいへん住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」のいずれかを回答した割合が、中学生で91%、高校生で85%とポジティブな回答割合が多くを占めている。



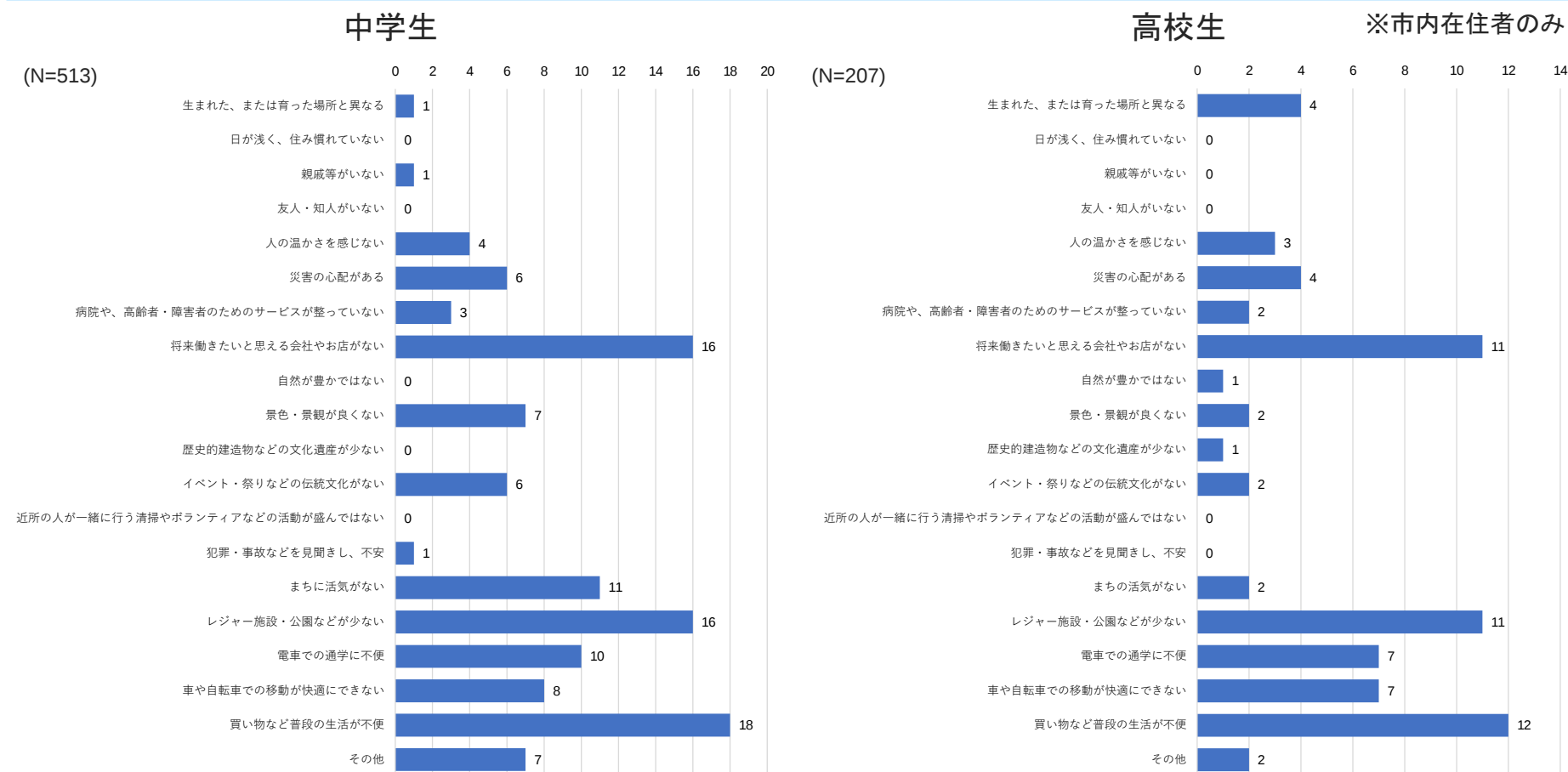
## 島田市のどんなところに住みやすさを感じますか？＜3つまで選択＞

- 中高生ともに、住みやすさの理由として、多い順に「長い間住み慣れている」「友達・知り合いが多い」「生まれた、または育った場所」と回答しており、住みやすさの傾向は類似している。



## 島田市のどんなところに住みにくさを感じますか？＜3つまで選択＞

- 中高生ともに住みにくさの理由として、多い順に「買い物など普段の生活が不便」「将来働きたいと思える会社やお店がない」「レジャー施設・公園などが少ない」ことを挙げており、他の回答と比較しても突出している。
- 中学生については、「まちに活気がない」「景色・景観が良くない」「イベント・祭りなどの伝統文化がない」と回答した割合が、高校生と比較しかなり多い点の特徴である。
- 他方、高校生は、「生まれた、または育った場所と異なる」「車や自転車での移動が快適でない」と回答した割合が中学生よりも多い点の特徴である

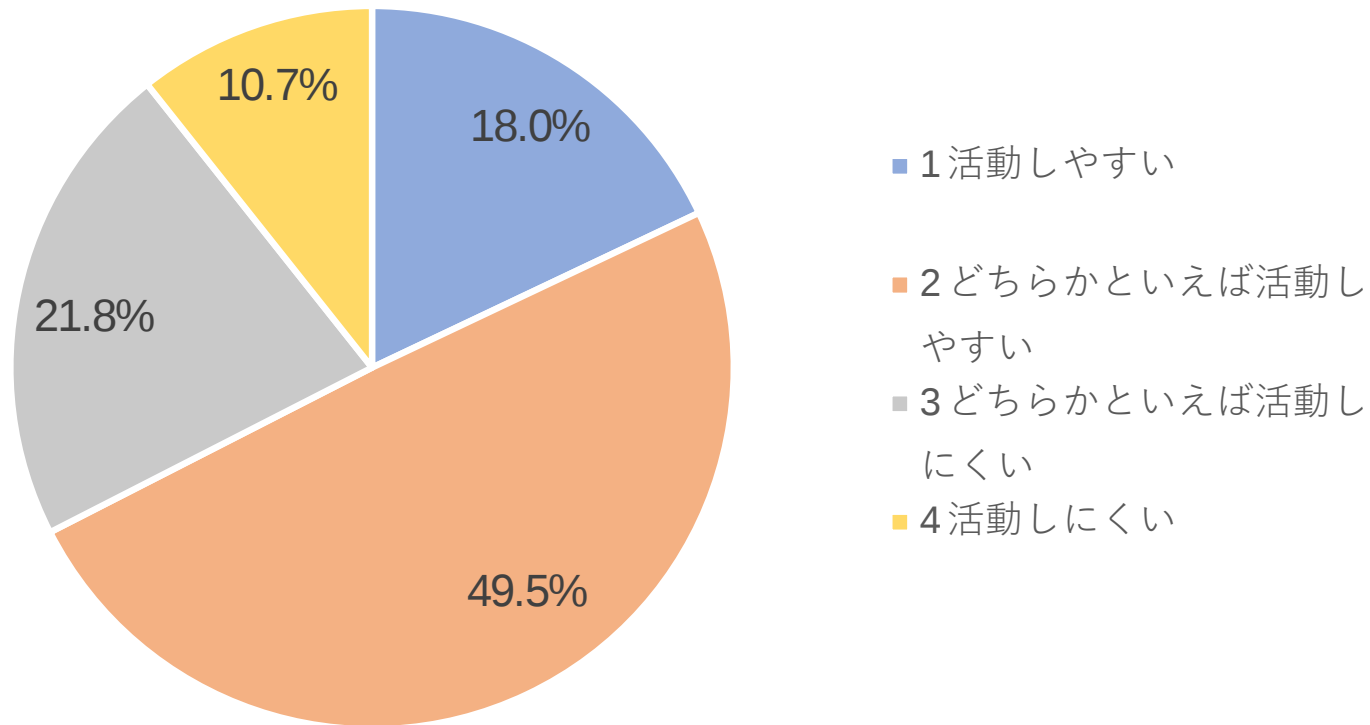


## 島田市での普段の活動(通学、学校生活、放課後など)のしやすさはいかがですか？

- 「活動しやすい」「どちらかといえば活動しやすい」というポジティブな回答した割合が68.5%と多数を占めている。
- 「活動しにくい」と回答した割合は10.7%であった。

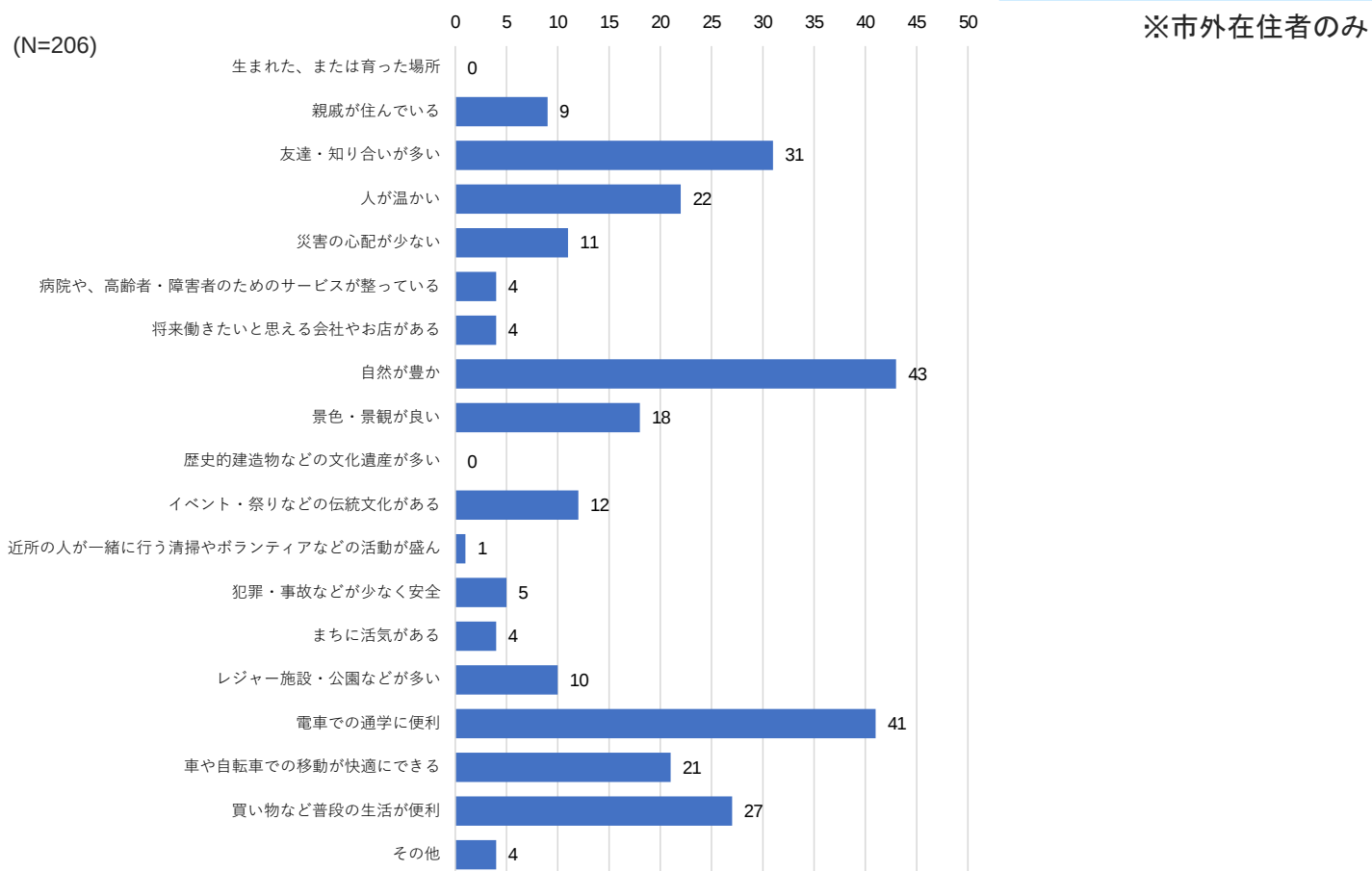
(N=206)

※市外在住者のみ



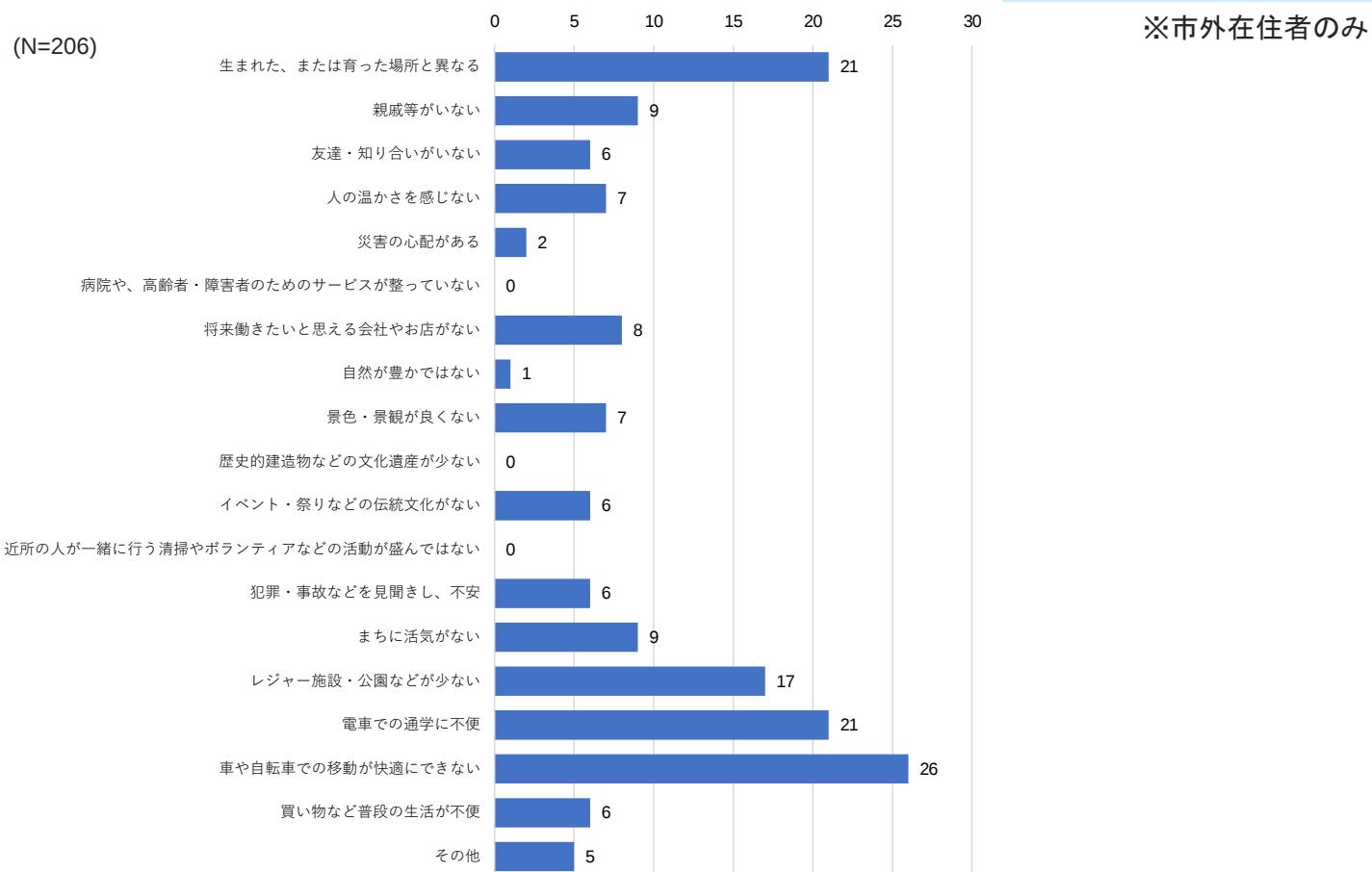
## 島田市のどんなところが活動しやすいと感じますか？

- 回答数の多い順に、「自然が豊か(43件)」「電車での通学に便利(41件)」「友達・知り合いが多い(31件)」という結果であった。
- 「歴史的建造物などの文化遺産が多い」と回答した人はいなかった。



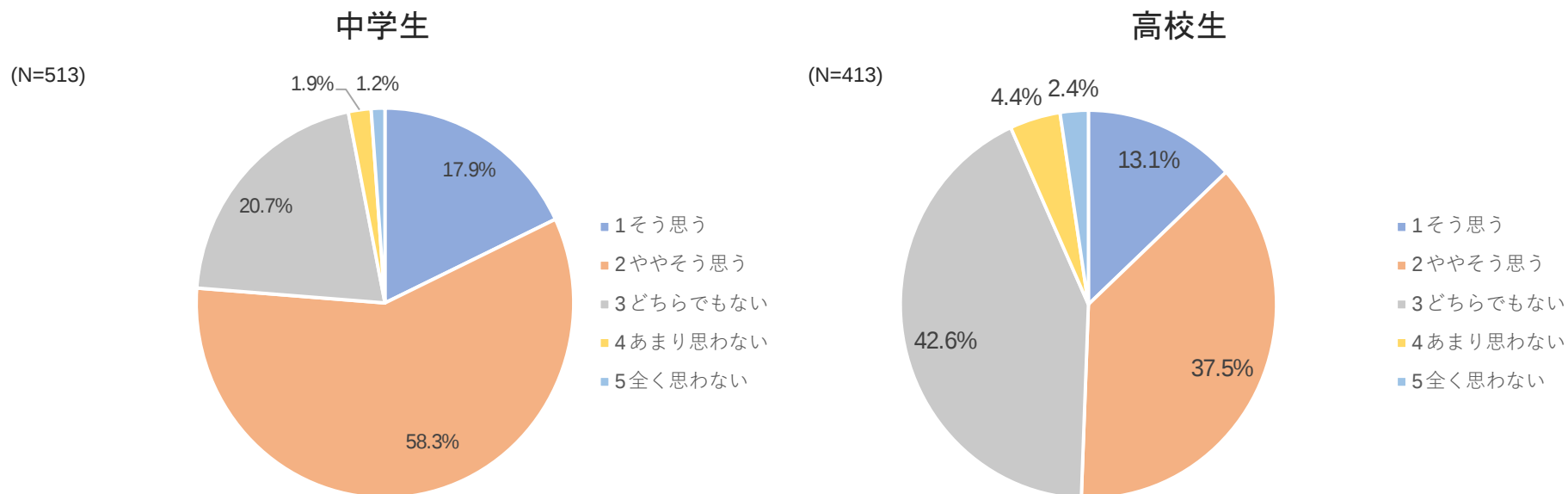
## 島田市のどんなところが活動しにくいと感じますか？

- 回答割合の大きい順番に、「車や自転車での移動が快適にできない(26件)」「生まれた、育った場所と異なる(21件)」「電車での通学に不便(21件)」という結果で、特に市外から通学する学生は、市内での移動手段に関して活動のしづらさを感じていることが推測される。



島田市は「笑顔あふれる 安心のまち 島田」をキャッチフレーズにまちづくりを進めています。  
島田市が現在そのような「まち」になっていると思いますか？

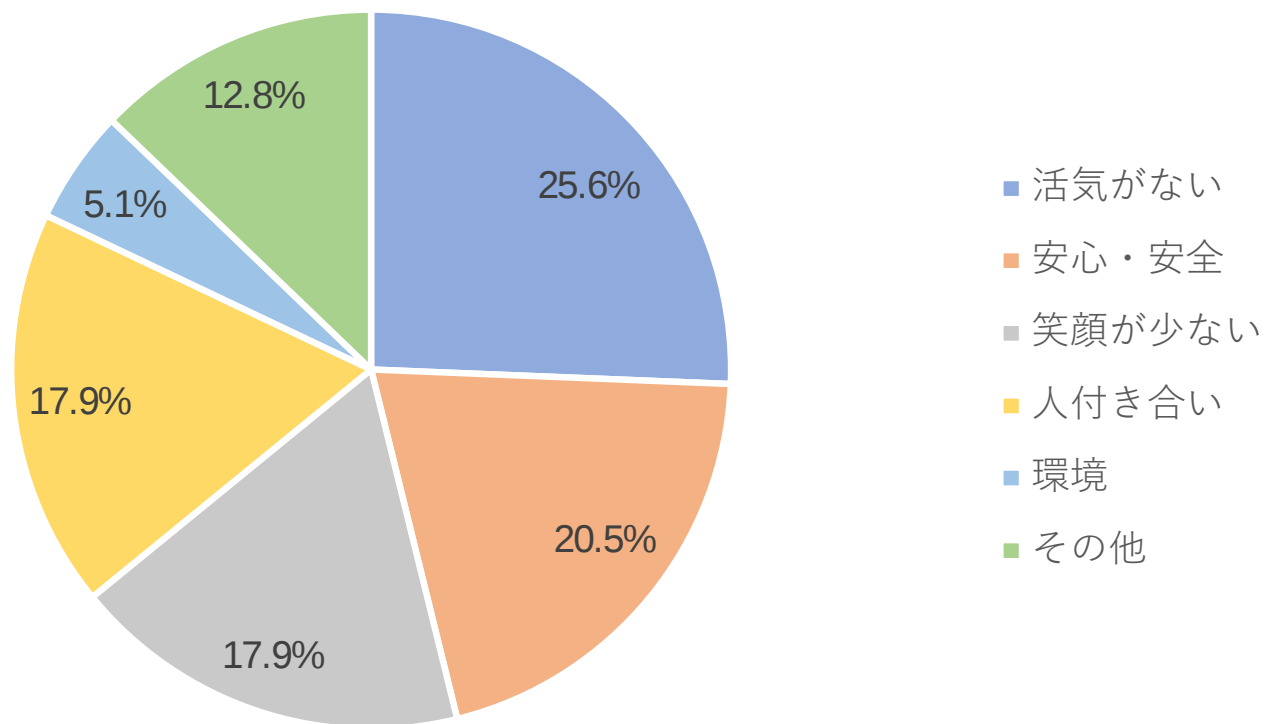
- 中学生については76.2%、高校生は50.6%が、「そう思う」「ややそう思う」というポジティブな回答をしており、中学生の回答割合が高校生より約25%多い。
- 高校生については、「どちらでもない」と回答した割合が42.6%と最も多い。



前問で「4. あまり思わない」もしくは「5. 全く思わない」と答えた方にお聞きします。なぜそう思わないのか、教えてください。

- 挙げられた意見等を分類したところ、まちに活気がないことが25.6%と最多であり、次いで安心・安全に関する不安や懸念を示す割合が多い(20.5%)。

(N=39)

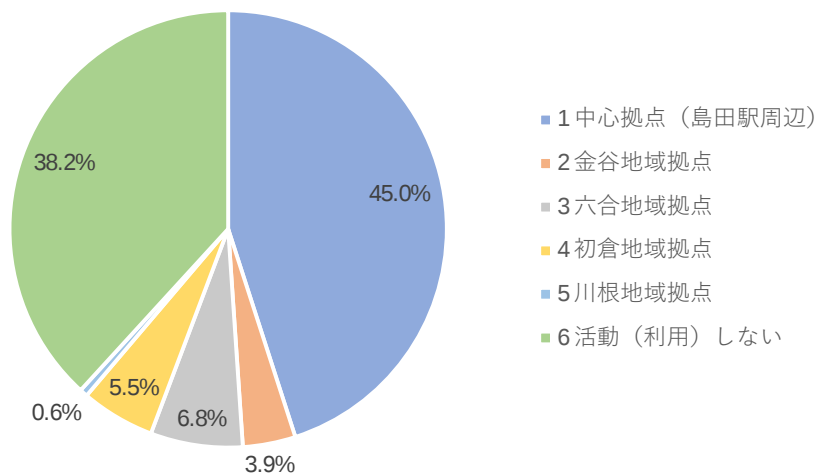


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？①喫茶店・カフェ

- 中高生ともに、中心拠点（島田駅周辺）と回答した割合が多く、約半数を占めており、次いで六合地域拠点の割合が多い。
- カフェ・喫茶店については、中高生ともに、いずれの拠点も利用しないと回答した割合が約40%存在している。

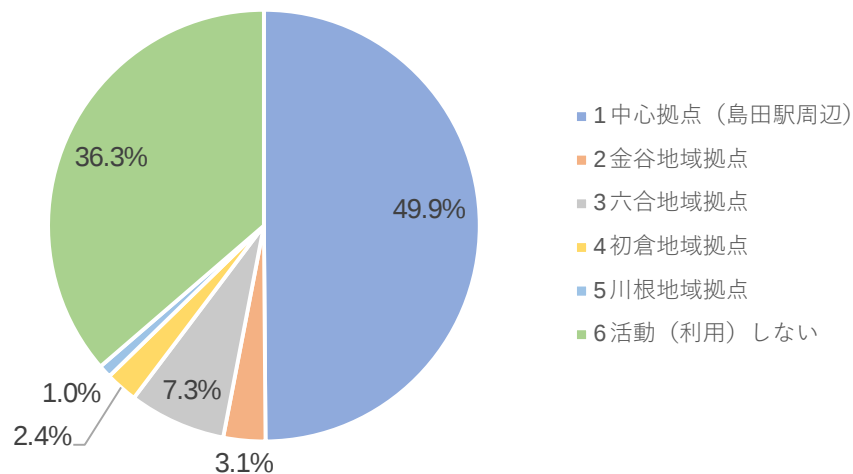
中学生

(N=513)



高校生

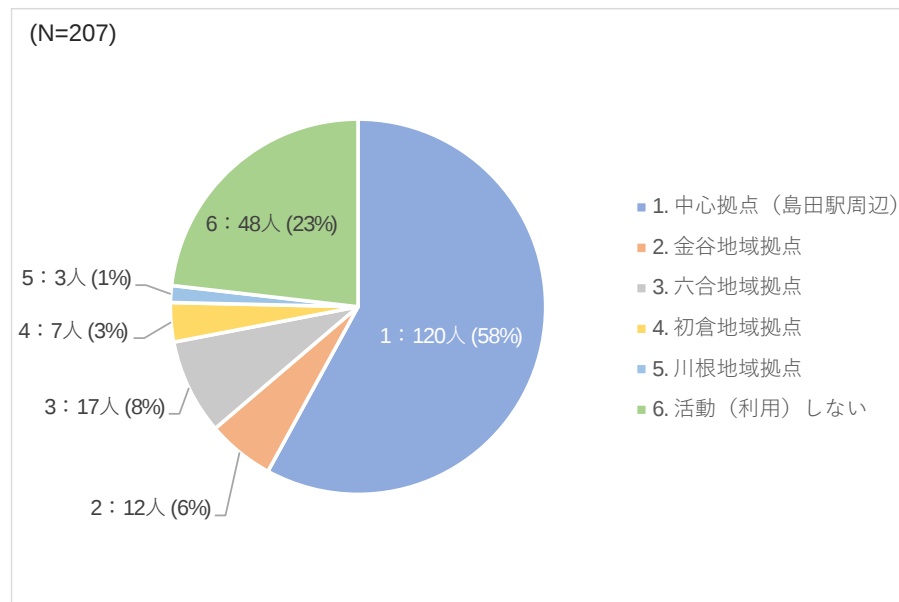
(N=413)



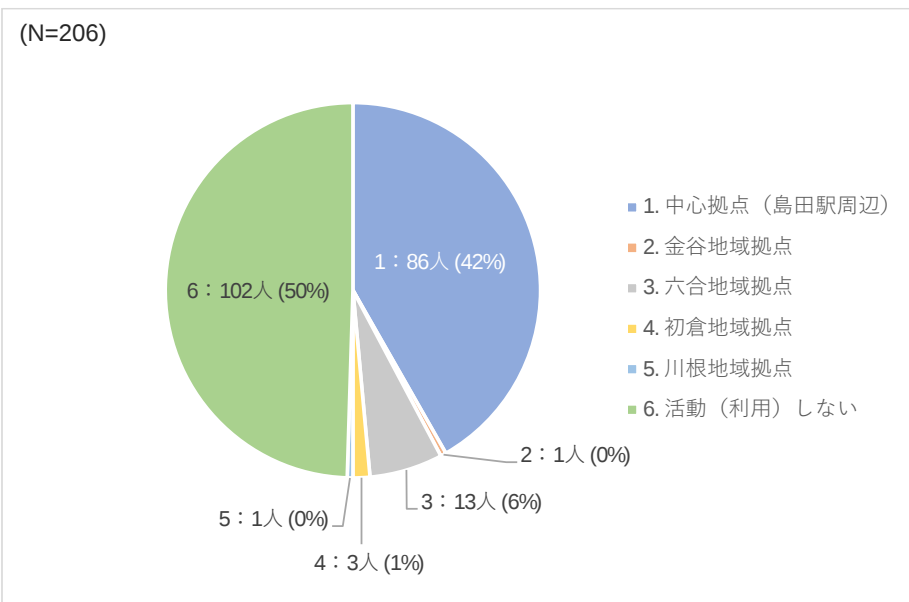
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？①喫茶店・カフェ

- 中心拠点（島田駅周辺）の利用が最多で、市内在住者で約6割、市外在住者で約4割となっている。
- 市外在住者の約半数は島田市内で喫茶店やカフェを利用しないと回答している。

市内在住者

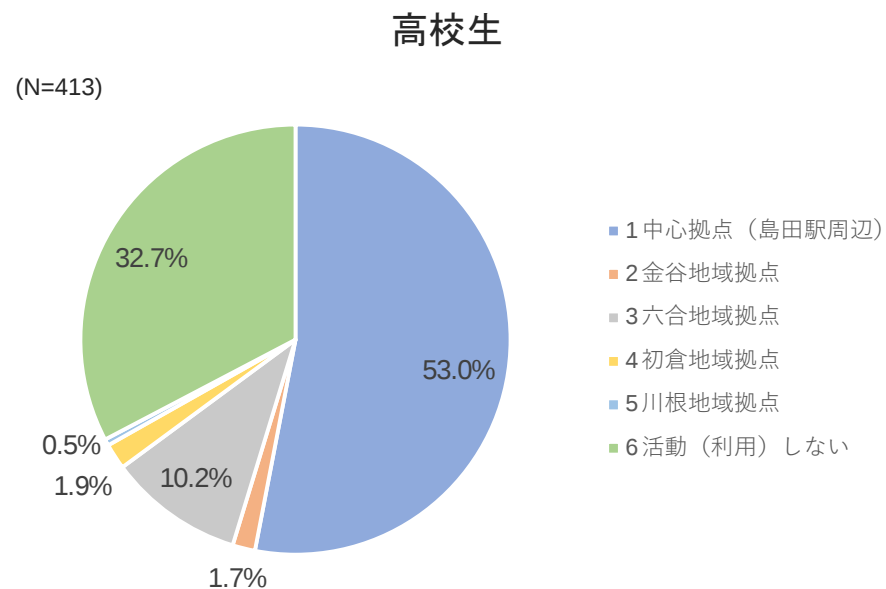
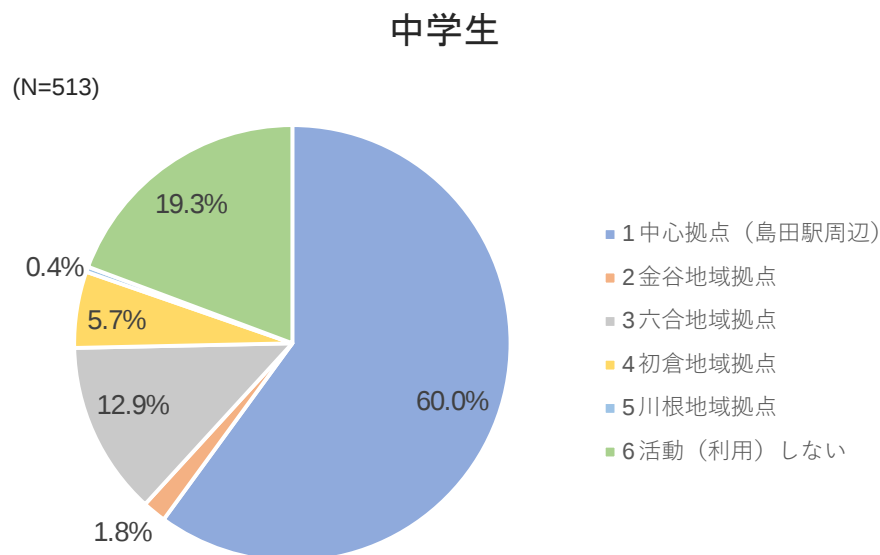


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？②レストランなど

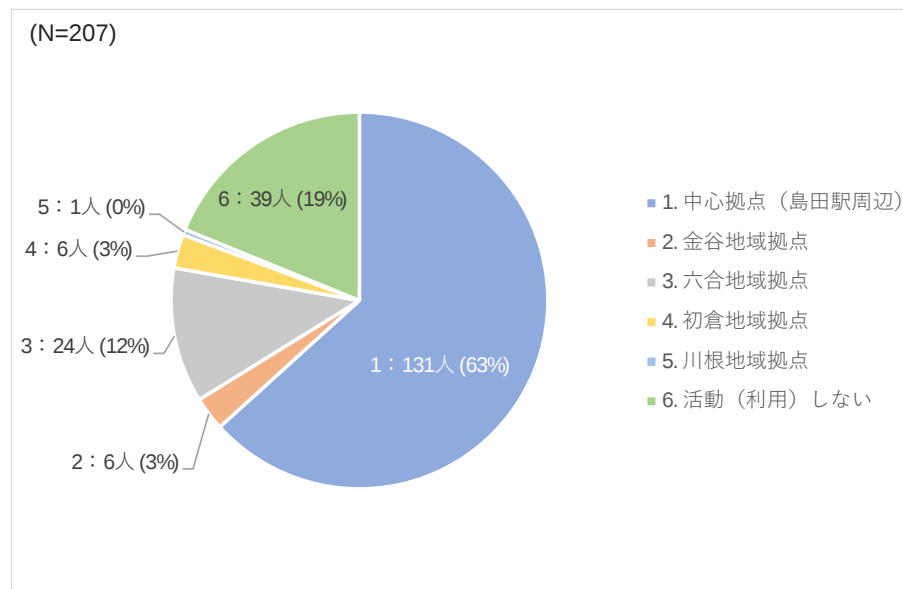
- 中高生ともに、中心拠点（島田駅周辺）と回答した割合が多く、いずれも半数を超えている。
- 次いで、六合拠点、初倉地域拠点の割合が多い。
- 利用しないと回答した割合は、中学生よりも高校生の方が約14%多い。



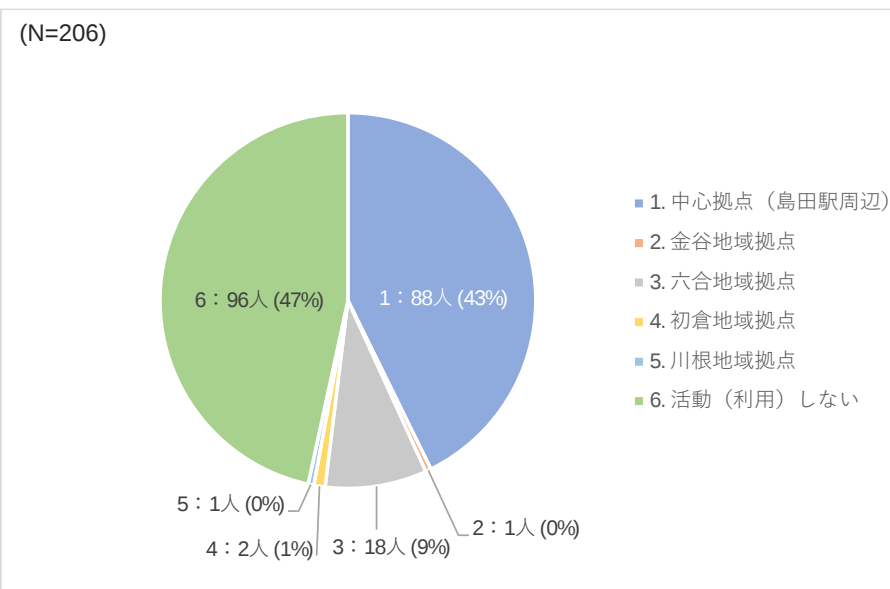
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？②レストランなど

- 市内在住者の6割以上、市外在住者の4割以上が中心拠点（島田駅周辺）と回答している。
- 市外在住者の約半数は、島田市内でレストランなど飲食サービスを利用しないと回答している。

市内在住者

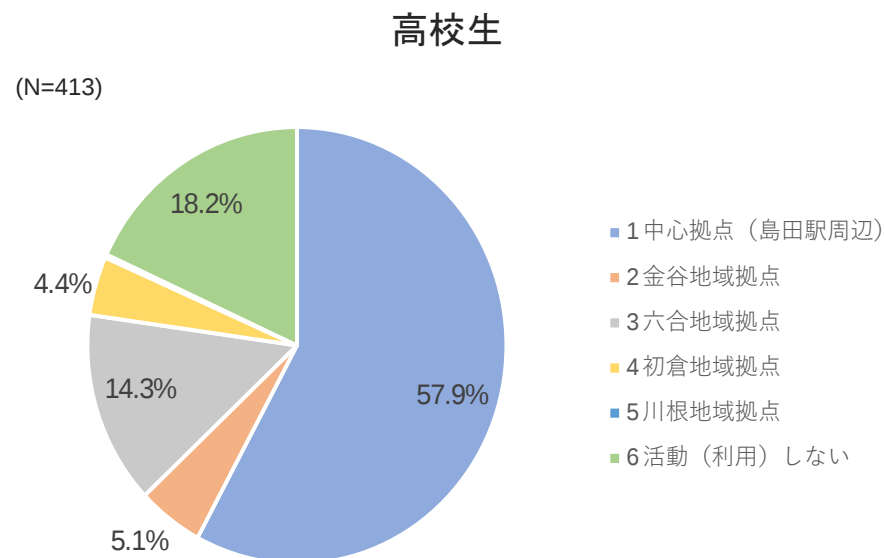
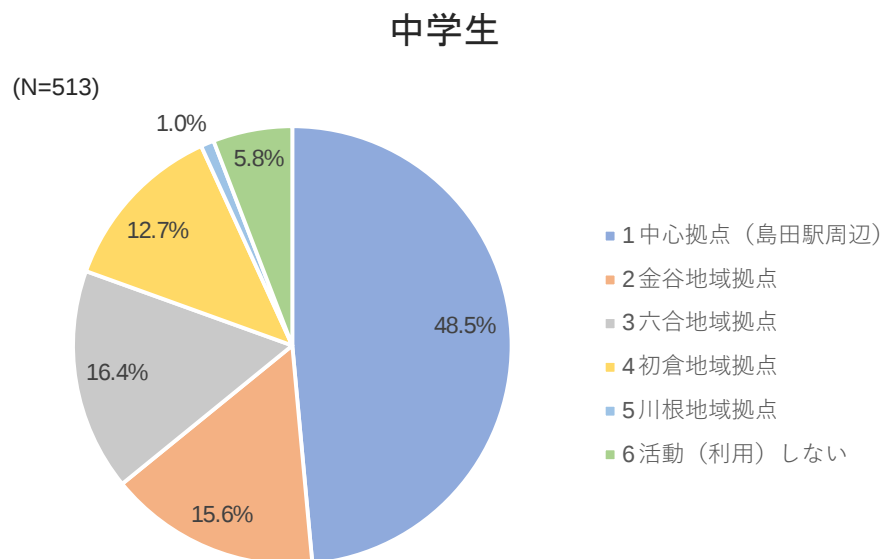


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？③食べ物や飲み物などの買物

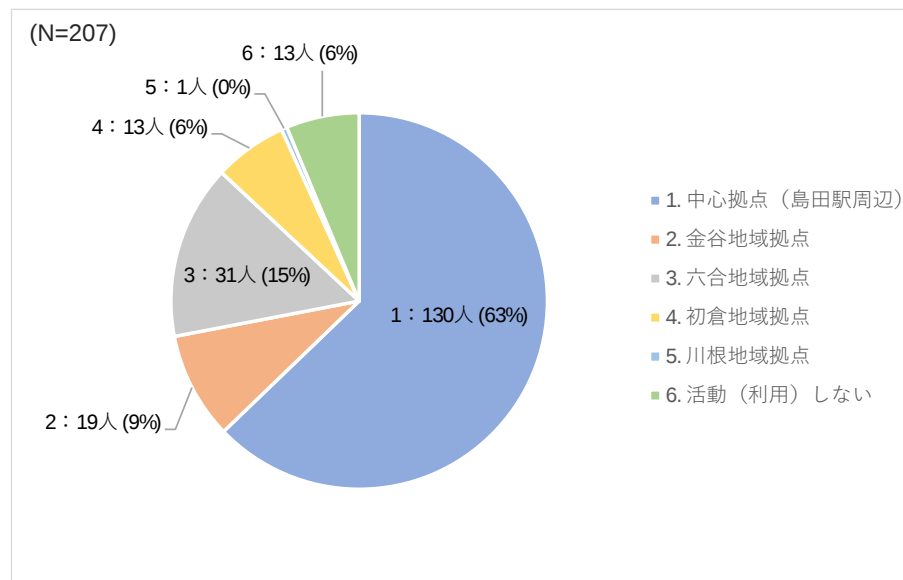
- 中心拠点（島田駅周辺）と回答した割合が最も多く、中学生で48.5%、高校生で57.9%となっている。
- 次いで、六合地域拠点、金谷地域拠点、初倉地域拠点の回答割合が多いが、金谷地域拠点について、中学生の方が高校生よりも10%利用割合が多い。
- 高校生の約2割が活動（利用）しないと回答している。



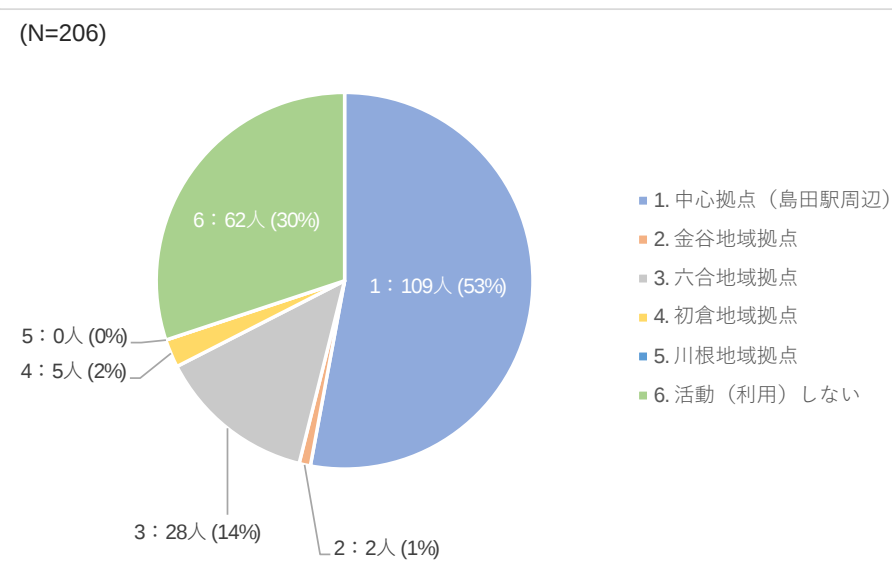
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？③食べ物や飲み物などの買物

- 市内在住者の6割以上、市外在住者の半数以上が中心拠点（島田駅周辺）と回答している。
- 市内在住者については、次いで六合地区（15%）、金谷地区（9%）となっている。
- 他の利用目的と比較し、市内在住者が島田市内で日用品の買物を行う割合が高い（94%）。

市内在住者

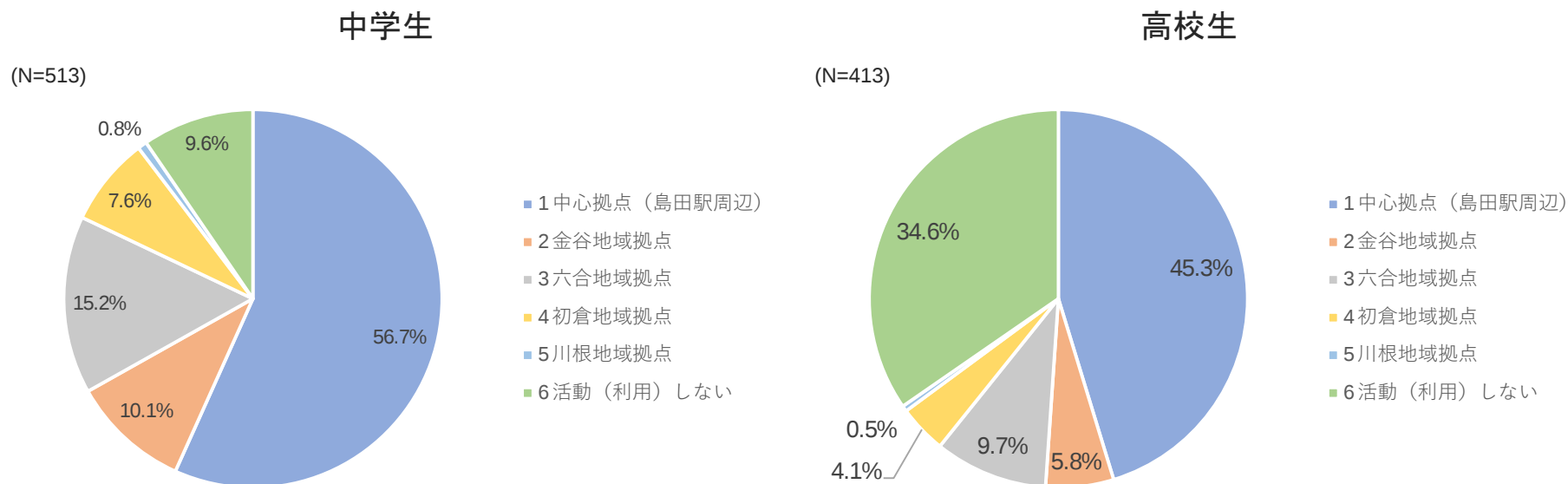


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？④日用品（文具、消耗品、衛生用品等）の買物

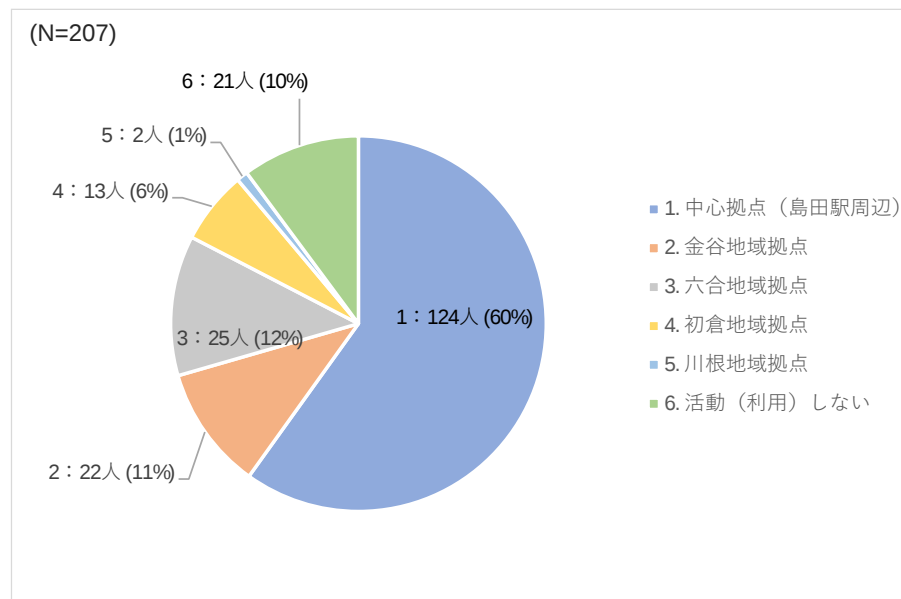
- 中心拠点（島田駅周辺）の利用割合が最も多く、中学生で56.7%、高校生で45.3%が利用している。
- 次いで、六合地域拠点、金谷地域拠点、初倉地域拠点の利用割合が多く、中学生の方が高校生よりも多く利用している。
- 中学生の回答割合の3倍以上となる34.6%の高校生が活動(利用)しないと回答している。



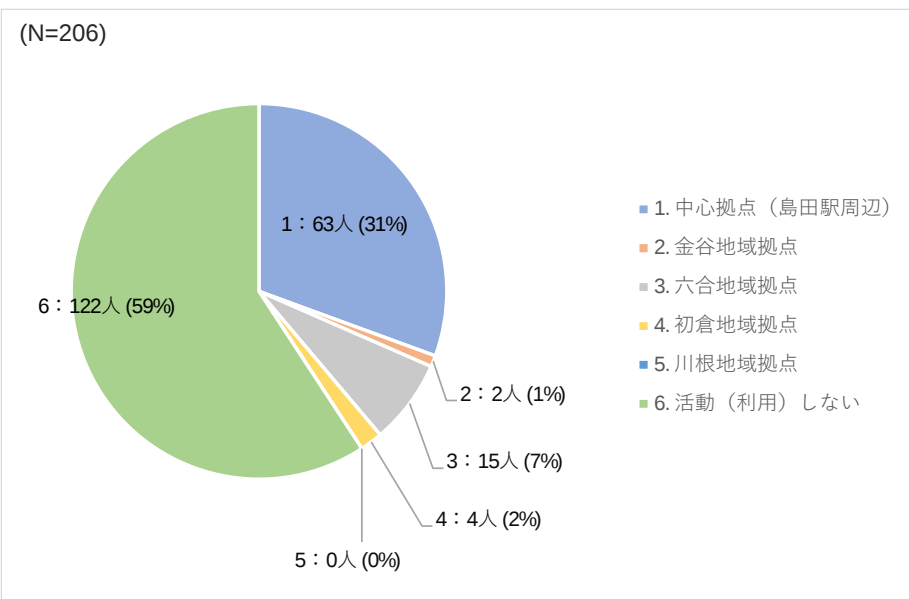
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？④日用品（文具、消耗品、衛生用品等）の買物

- 市内在住者の6割、市外在住者の約3割が中心拠点（島田駅周辺）と回答している。
- 他の利用目的と比較し、市内在住者が島田市内で日用品の買物を行う割合が高い（90%）。

市内在住者

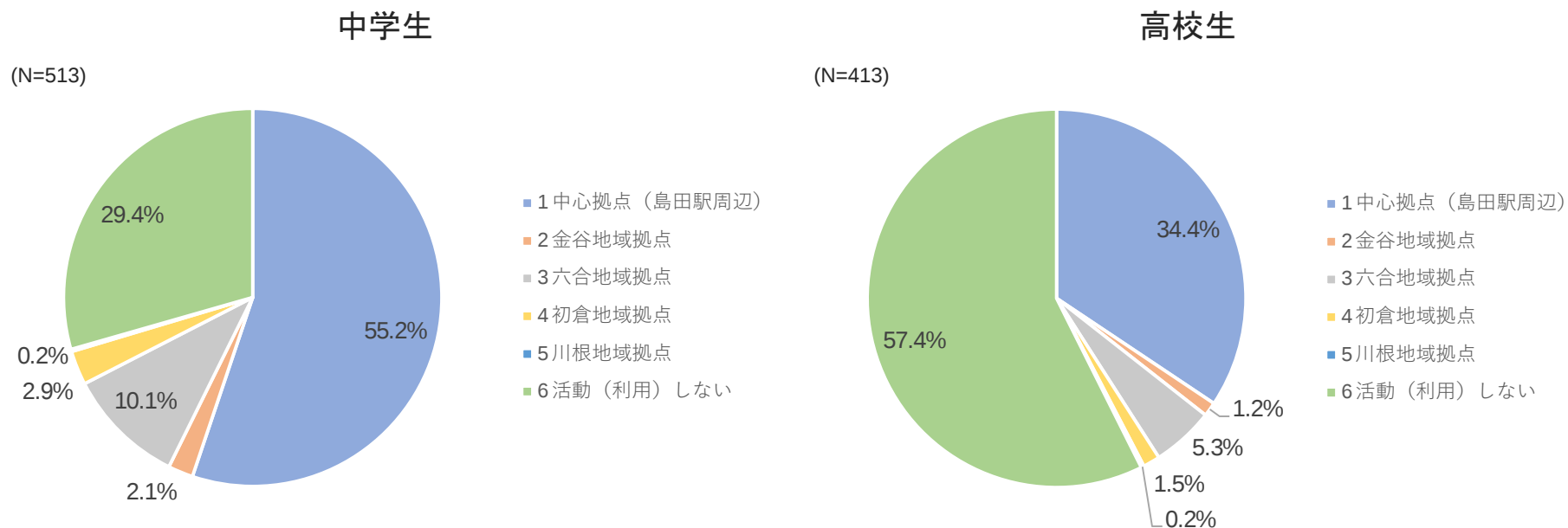


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑤日用品以外の家電、家具、服などの買物

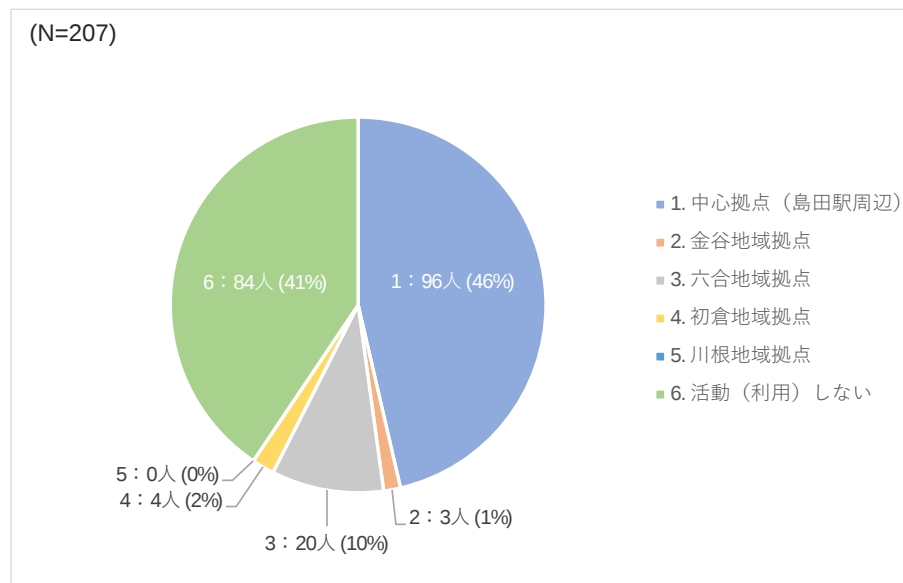
- 中学生については、中心拠点（島田駅周辺）の利用頻度が55.2%と最も高く、高校生よりも20%大きい。
- 高校生の57.4%は活動（利用）しないと回答している。



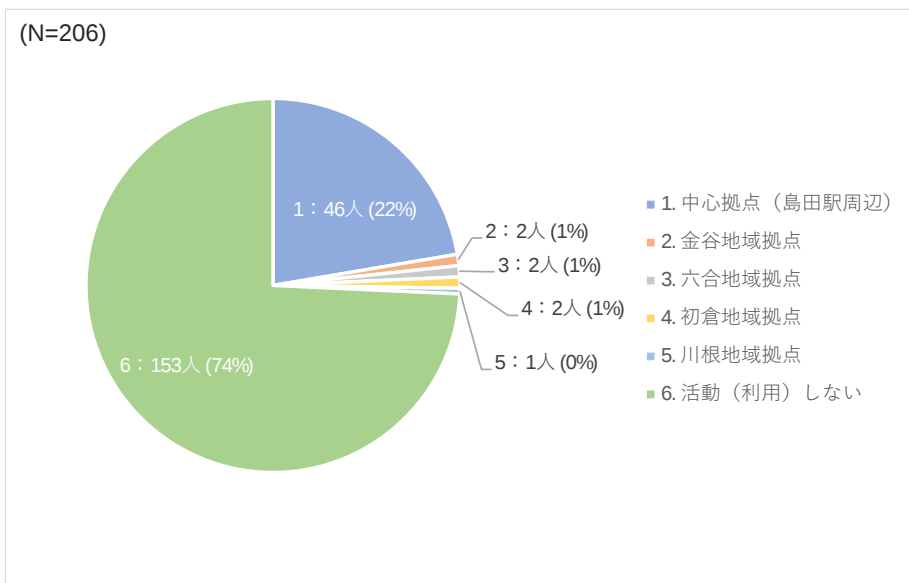
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑤日用品以外の家電、家具、服などの買物

- 市内在住者の約半数は中心拠点（島田駅周辺）を利用しており、市外在住者も同様である。
- 市内在住者は次いで六合地区（10%）が多い。

市内在住者



市外在住者

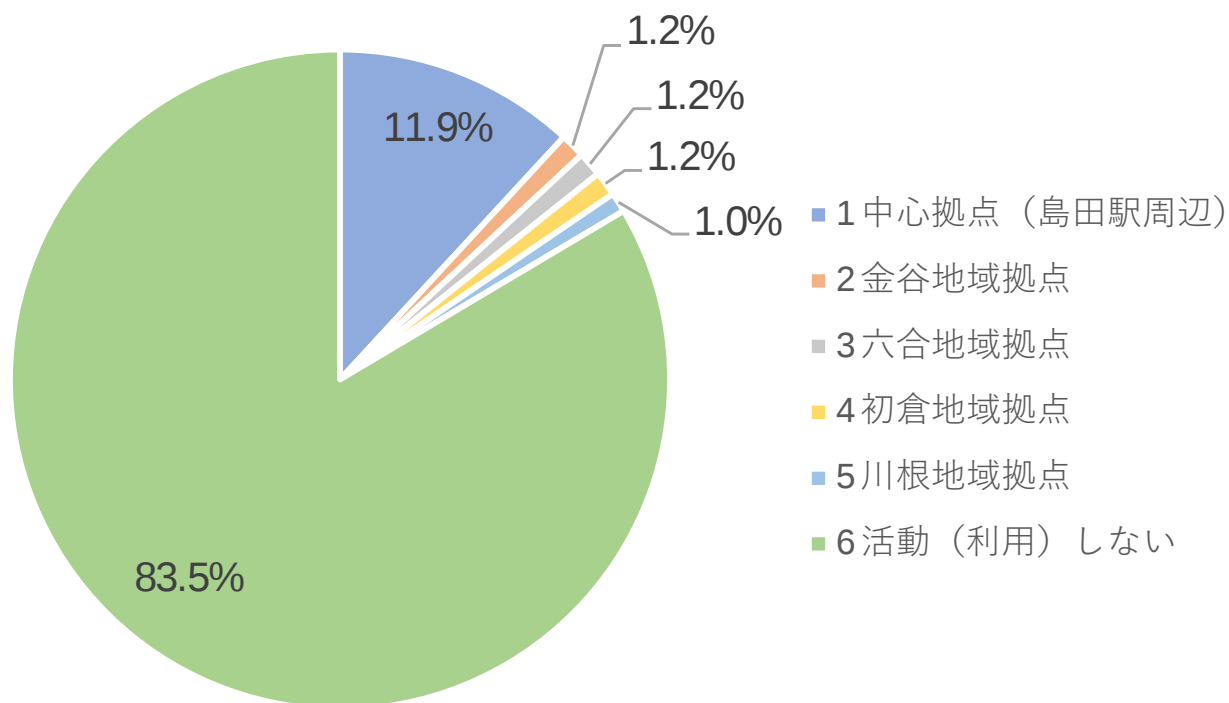


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑥アルバイト

- 島田市内においては、主に中心拠点（島田駅周辺）でアルバイトを行っている。
- 8割以上は「活動（利用）しない」と回答している。

(N=413)

高校生

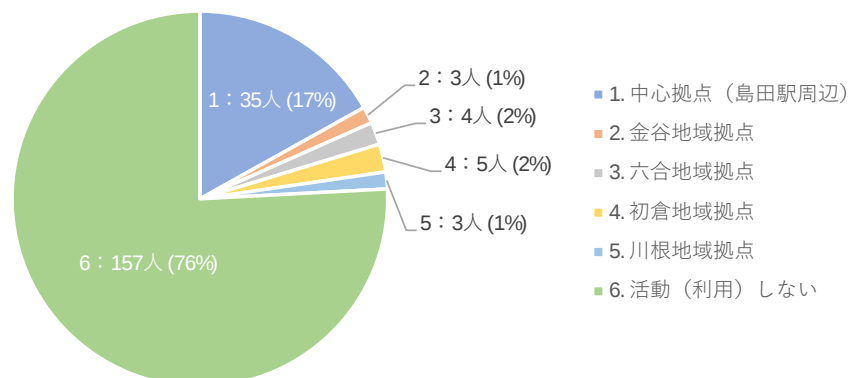


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑥アルバイト

- 島田市内でアルバイトを行う学生について、市内在住者の方が市外在住者より15%多い。
- 島田市内でアルバイトを行う市外在住者は、主に中心拠点（島田駅周辺）で活動している。

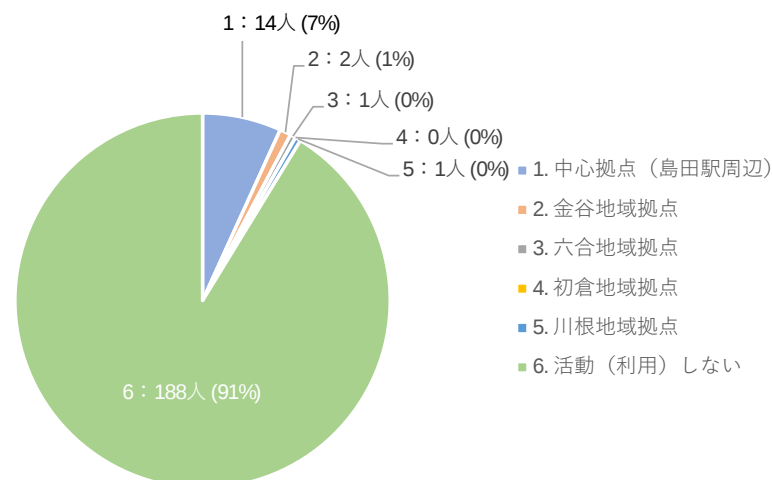
市内在住者

(N=207)



市外在住者

(N=206)

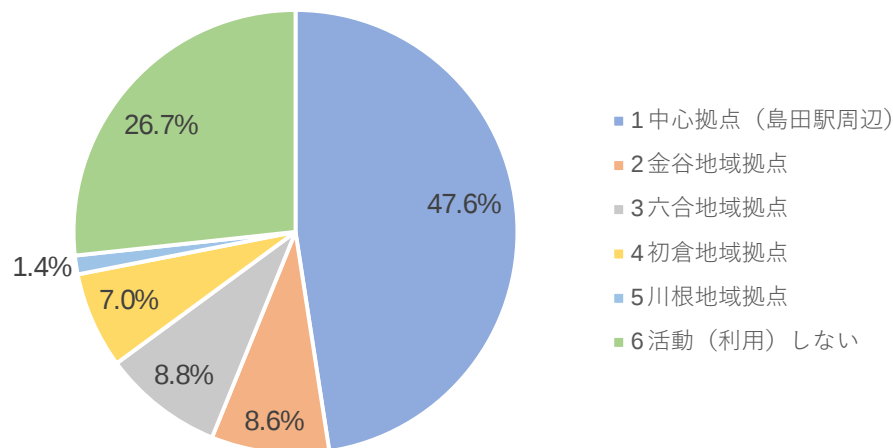


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑦塾、習い事

- 中学生の47.6%、高校生の16.2%が中心拠点（島田駅周辺）を利用すると回答している。
- 中学生については、次いで、六合地域拠点、金谷地域拠点の利用割合が多い。
- 高校生は活動（利用）しないと回答した割合が最も大きく、75.8%を占めている。

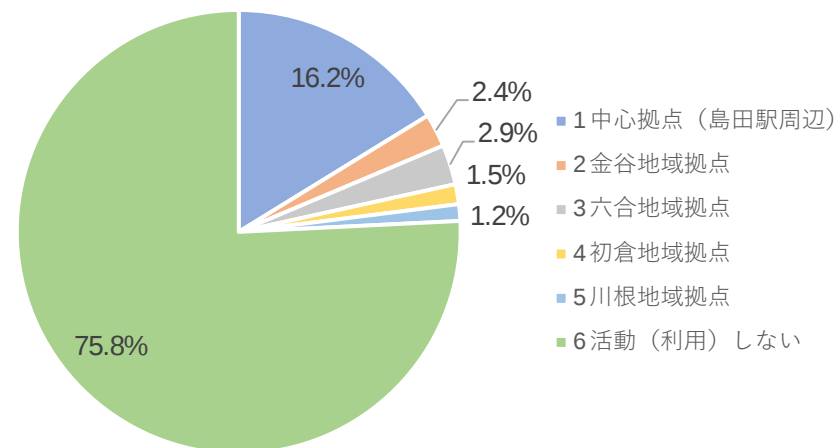
中学生

(N=513)



高校生

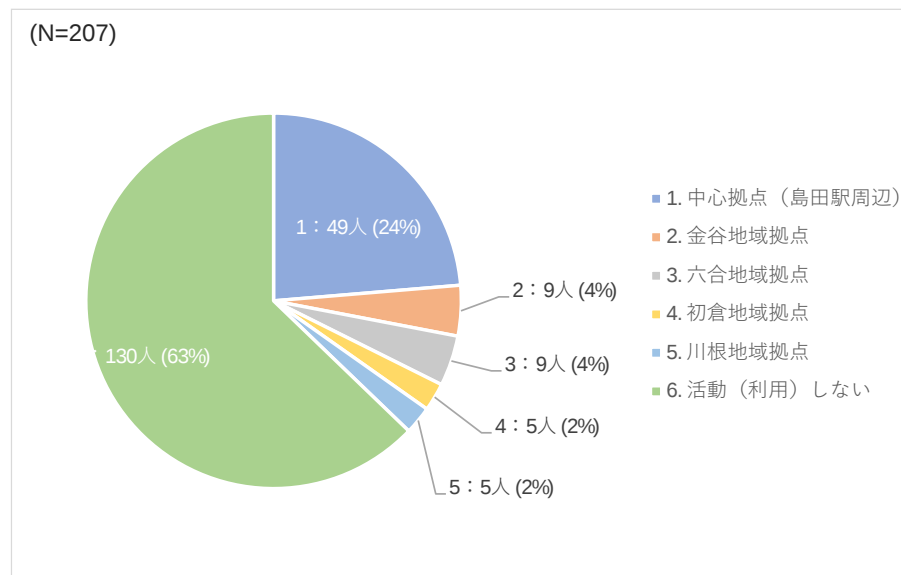
(N=413)



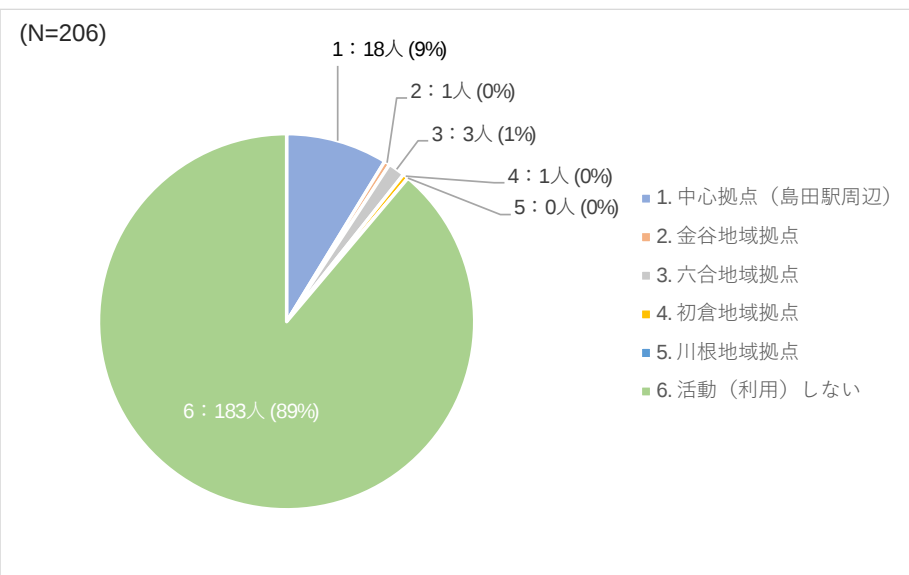
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑦塾、習い事

- 市内在住者のおよそ4人に1人は中心拠点（島田駅周辺）を利用している。
- 市外在住者についても、中心拠点（島田駅周辺）が最も多いが（9%）、約9割は「活動（利用）しない」と回答している。

市内在住者

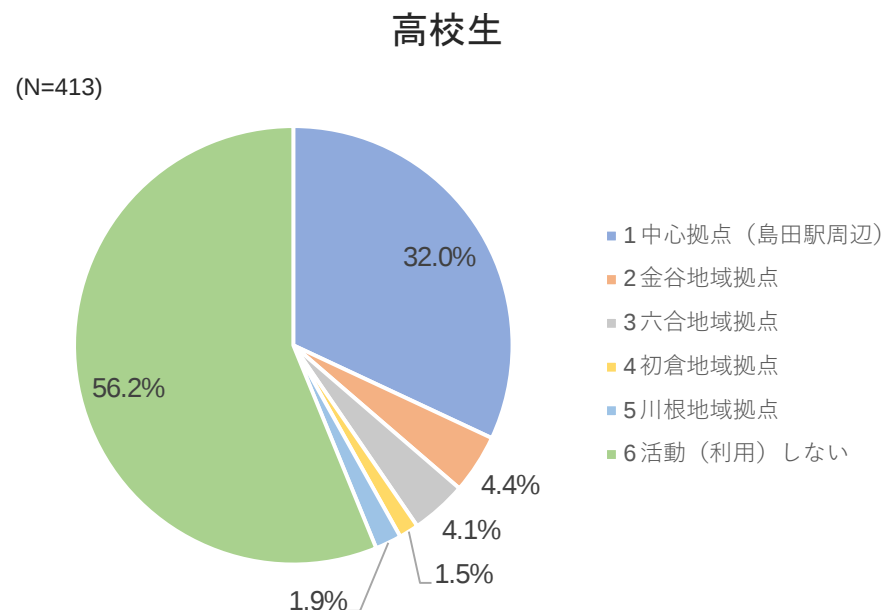
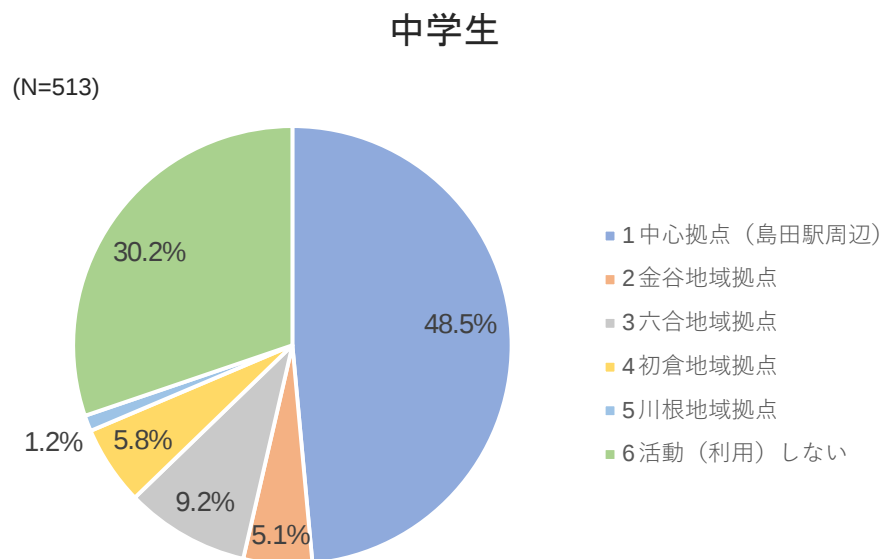


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑧通院

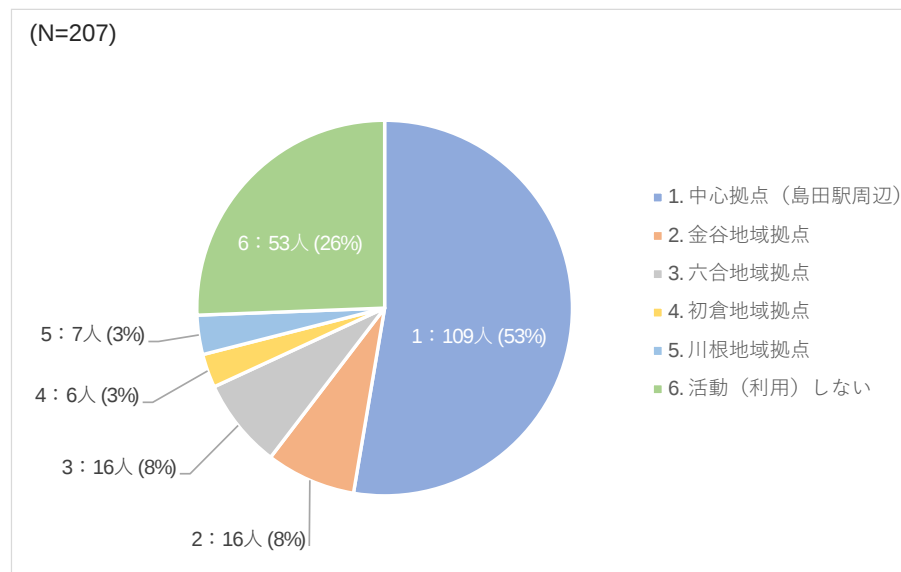
- 中心拠点（島田駅周辺）と回答した割合が最も多く、中学生では48.5%、高校生では32%であった。次いで、六合地域拠点、金谷地域拠点の利用割合が多い。
- 高校生は活動（利用）しない回答した割合が56.2%で、中学生より26%大きい。



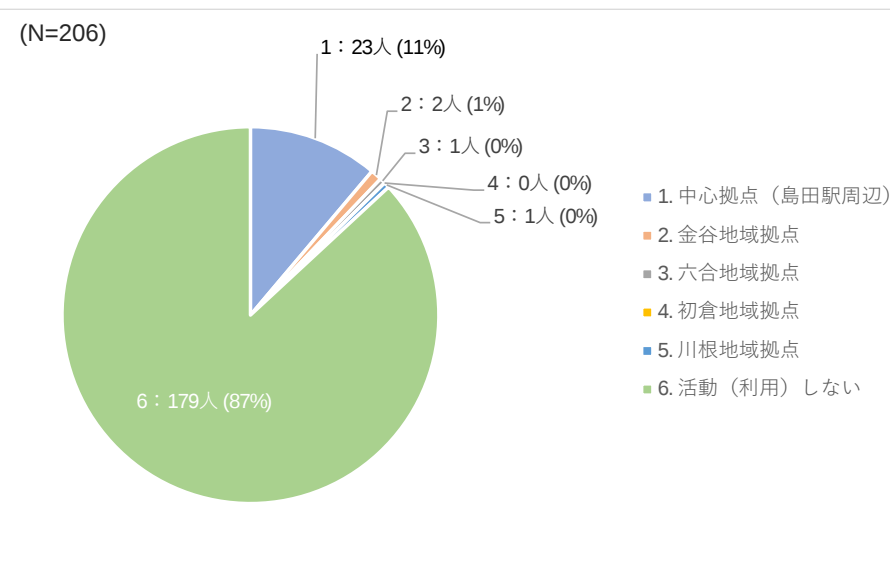
## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑧通院

- 市内在住者の半数以上が中心拠点（島田駅周辺）を利用している。
- 市外在住者については、ほとんどの人が中心拠点（島田駅周辺）を利用している。

市内在住者

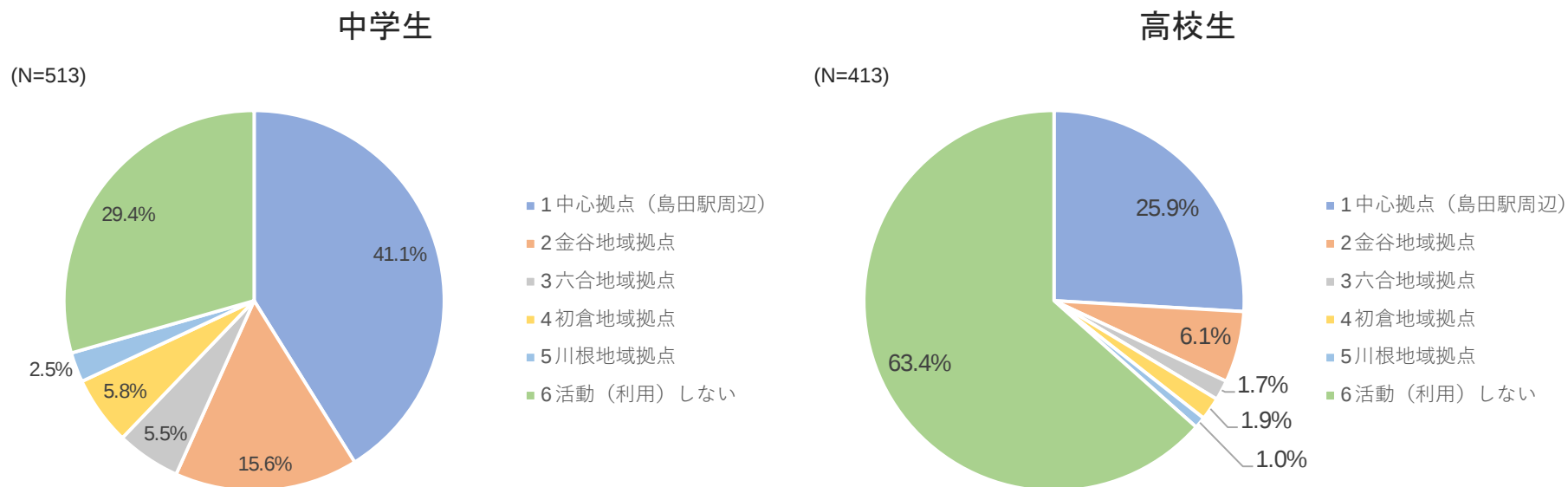


市外在住者



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑨図書館、公民館など

- 中学生では41.1%、高校生では25.9%が中心拠点（島田駅周辺）と回答しており最も多かった。次いで金谷地域拠点の利用割合が多い。
- 高校生の63%は活動（利用）しないと回答しており、中学生より34%多い。

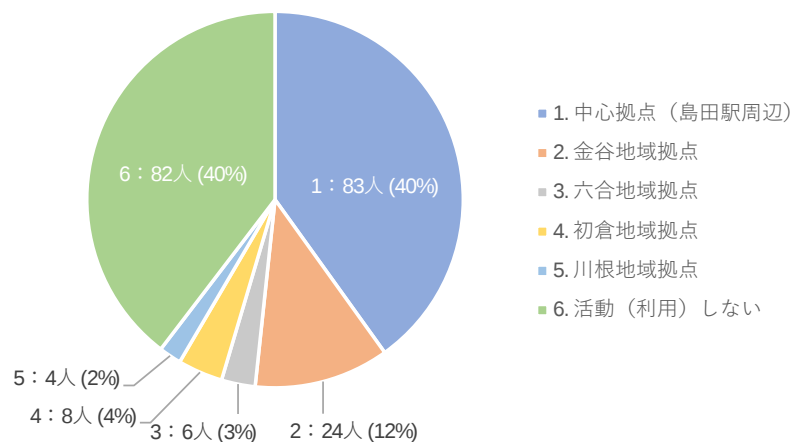


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑨図書館、公民館など

- 市内在住者の4割は中心拠点（島田駅周辺）を利用しており、次いで金谷地区（12%）となっている。
- 市外在住者の10人に1人以上が、島田市内の図書館、公民館を利用している。

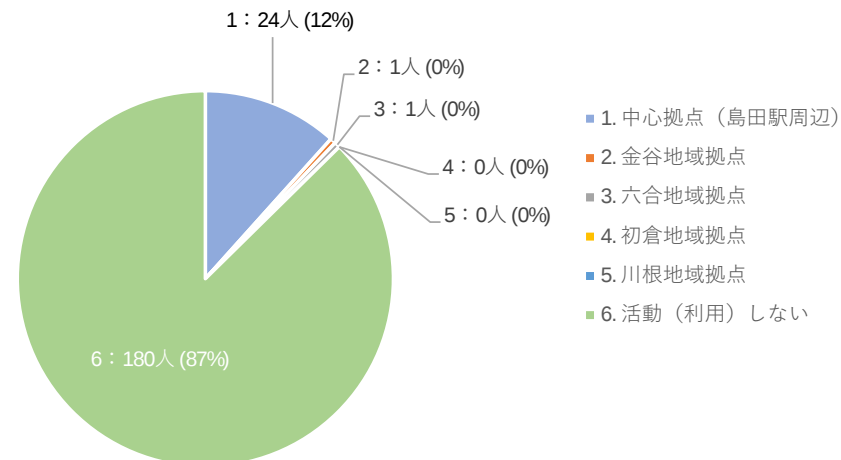
市内在住者

(N=207)



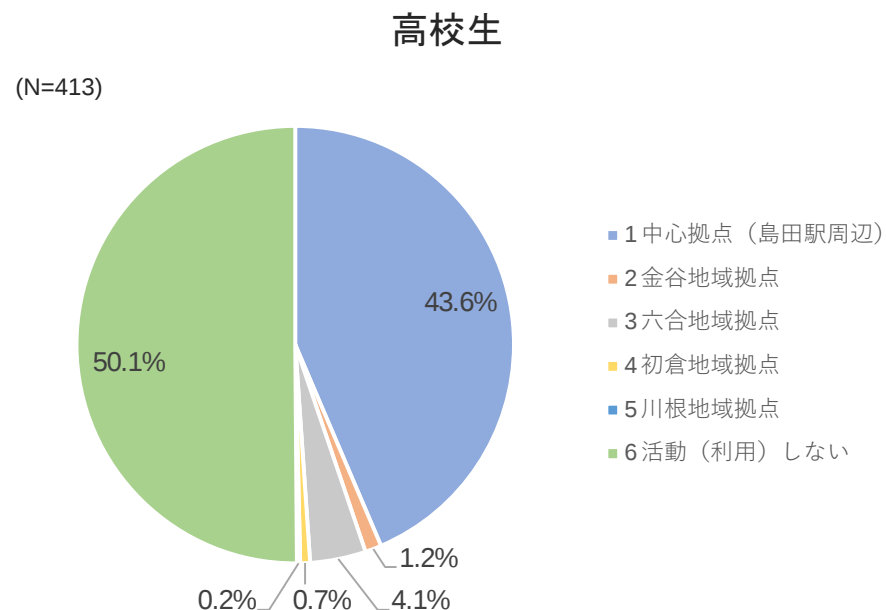
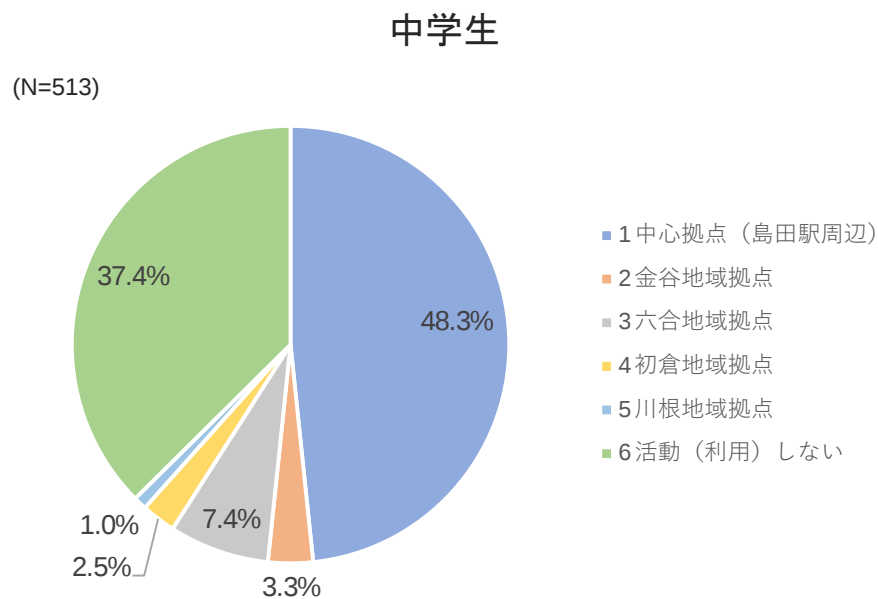
市外在住者

(N=206)



## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑩娯楽施設など

- 中学生では48.3%、高校生では43.6%は中心拠点（島田駅周辺）と回答しており、最も多かった。
- 高校生の半数は島田市内では活動しない（利用）しないと回答しており、中学生を約13%上回っている。

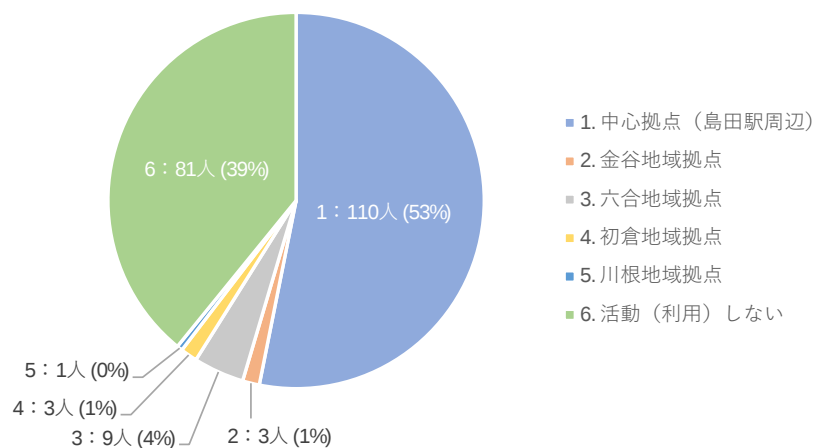


## 普段、あなたはどの拠点を使うことが多いですか？⑩娯楽施設など

- 市内在住者、市外在住者ともに中心拠点（島田駅周辺）の利用に集約されており、市内在住者は約半数を占めている。

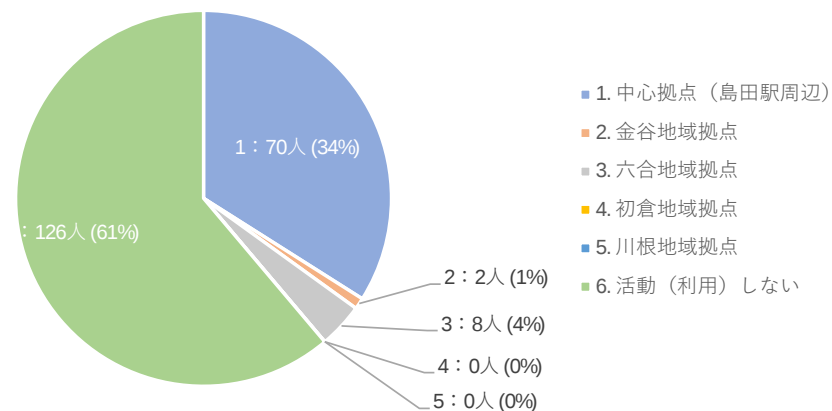
市内在住者

(N=207)



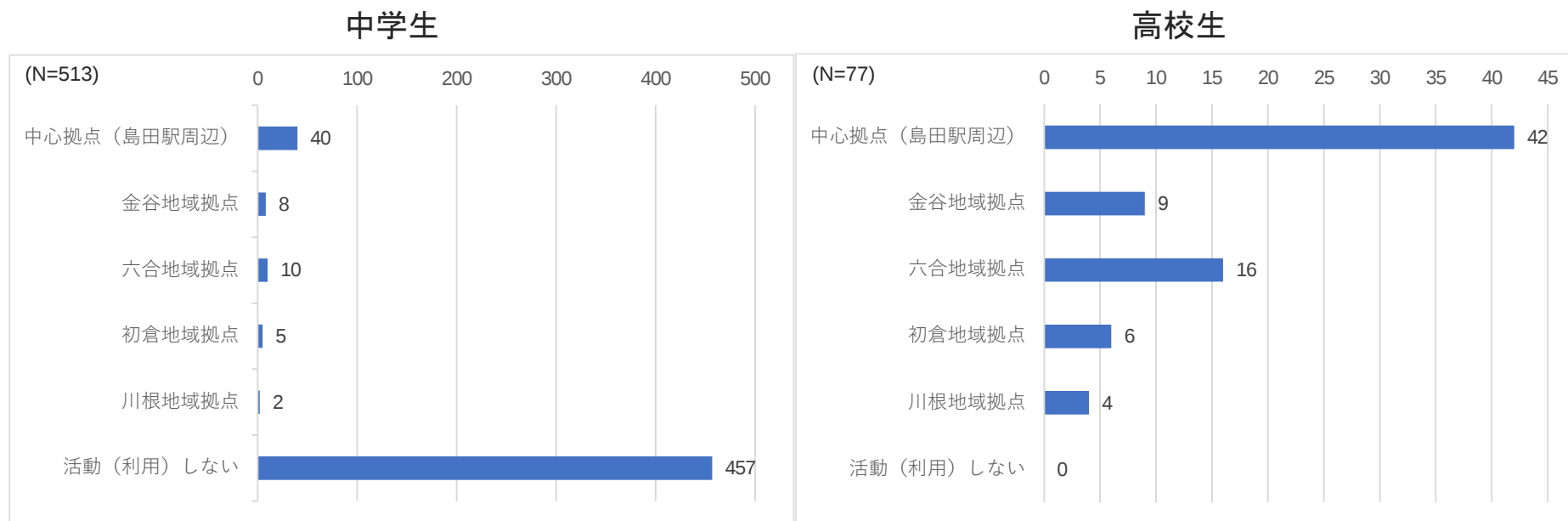
市外在住者

(N=206)



## その他に普段行っている活動があれば、利用する拠点を選んでください。＜自由選択＞

- ①～⑩の活動以外での利用について、中高生ともに中心拠点（島田駅周辺）との回答数が最も多い。
- 中学生の方が、高校生よりも六合地域拠点の利用割合がやや大きい。

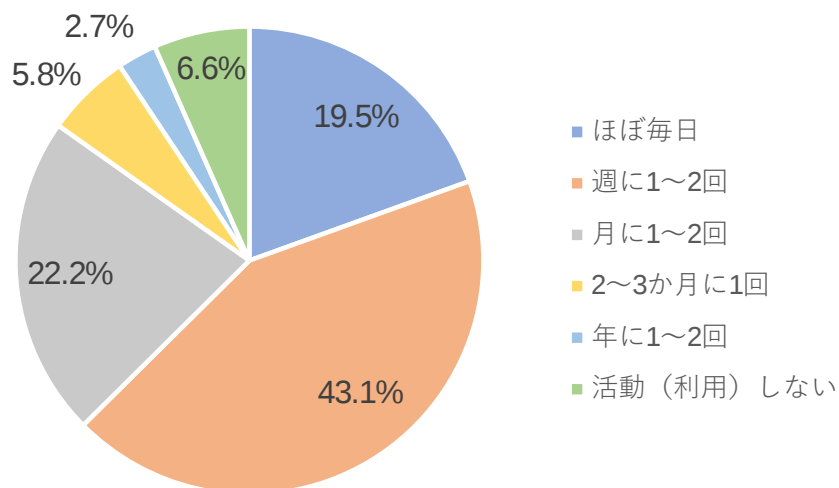


## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 中心拠点（島田駅周辺）

- 中学生の回答割合が多い順番に週に1～2回が約43%、月に1～2回が約22%、ほぼ毎日が約19%という結果で、週末のみの利用割合が多いことが推測される。
- 高校生の回答割合が多い順番にほぼ毎日が約40%、週に1～2回が約18%、月に1～2回が約17%という結果で、島田市外から通学する学生が一定数いることから、中学生よりも比較的割合が多いことが推測される。

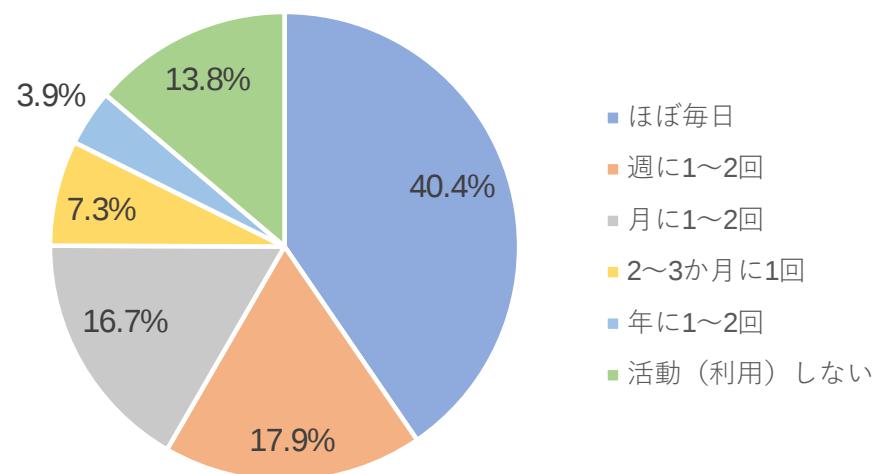
中学生

(N=513)



高校生

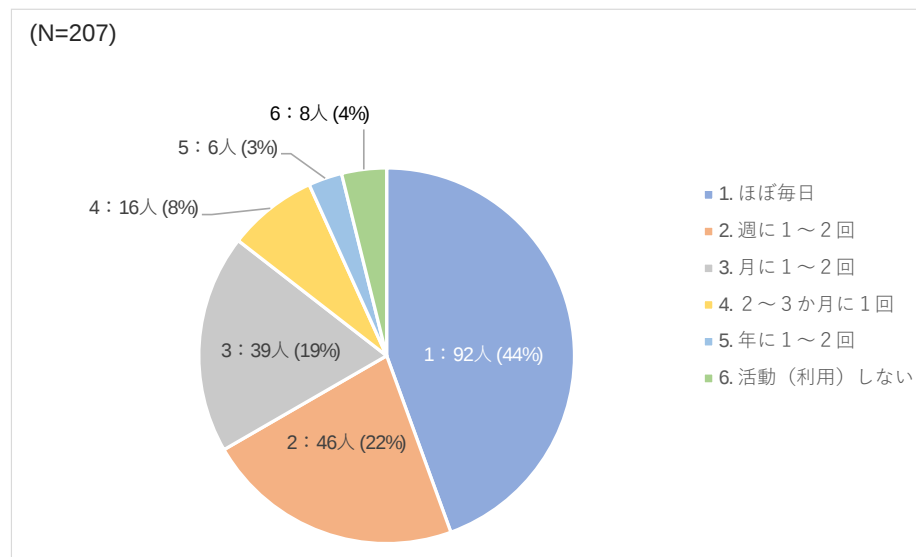
(N=413)



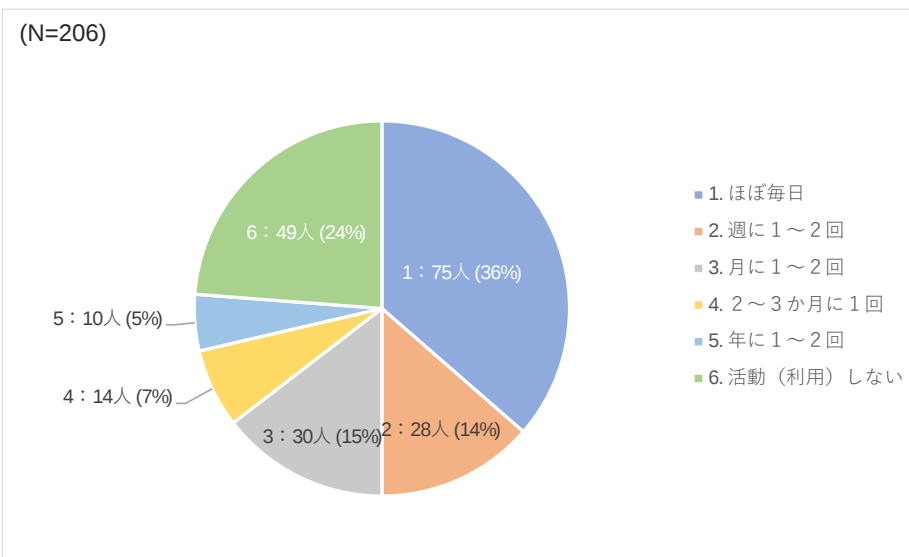
## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 中心拠点（島田駅周辺）

- 市内在住者の4割以上は「ほぼ毎日」と回答しており、次いで「週に1～2回」(22%)であり、「活動(利用)しない」の回答割合も小さいことから、市民の利用頻度が他の地域と比較しても高いことがわかる。
- 市外在住者についても、4割弱がほぼ毎日利用している。

市内在住者



市外在住者

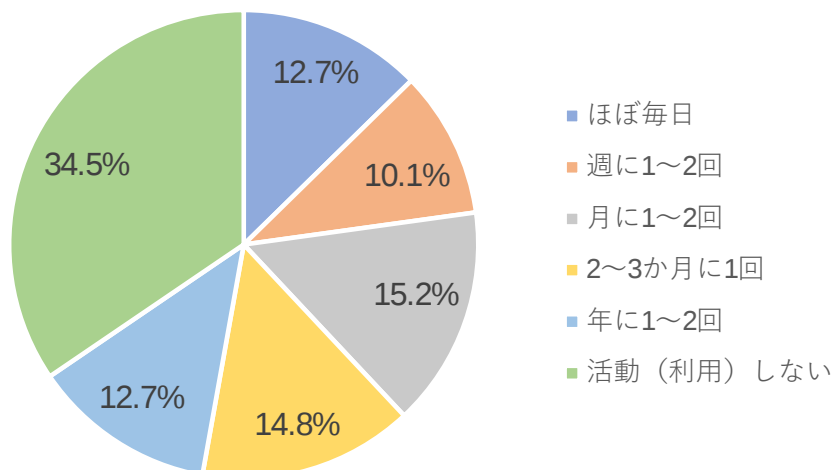


## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 金谷地域拠点

- 中学生については、当該地域で活動(利用)しないという回答以外の利用頻度別の割合は同程度である。
- 高校生については、利用者の中ではほぼ毎日と回答した割合(10%)が最も多く、次いで年に1～2回(8%)、2～3か月に1回(7%)であるが、活動しない(利用)しない割合が65%と多数を占めている。

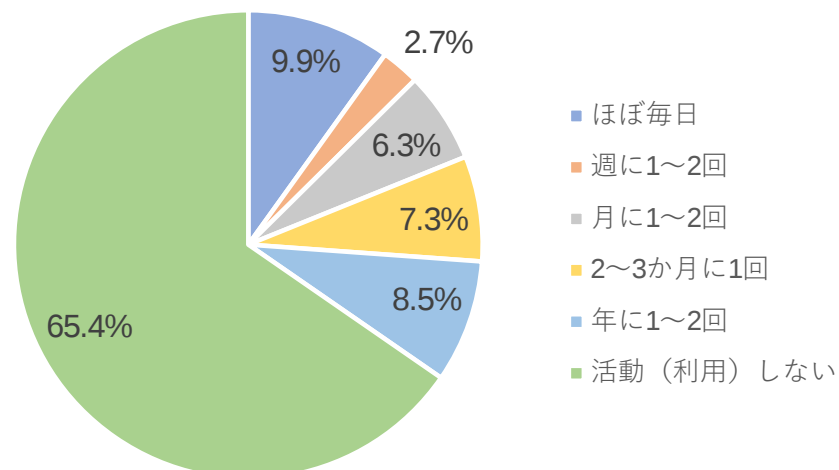
中学生

(N=513)



高校生

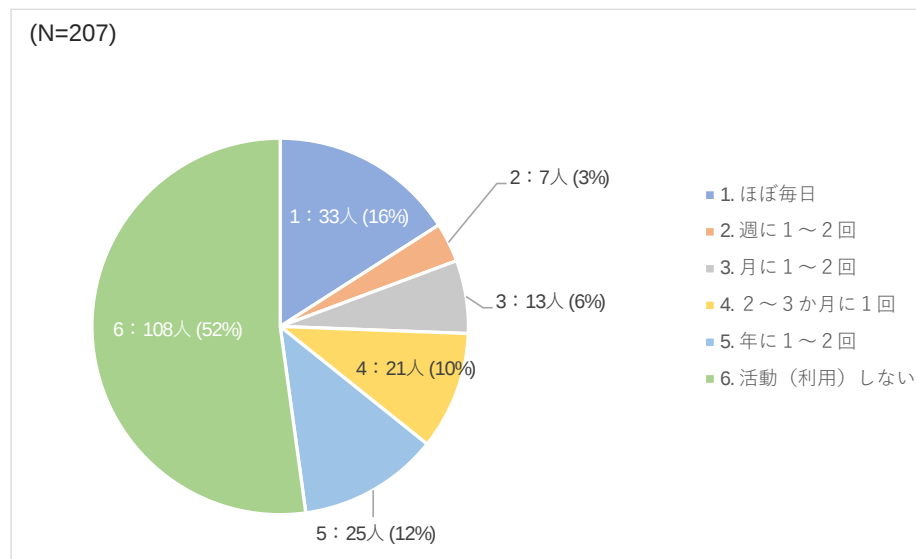
(N=413)



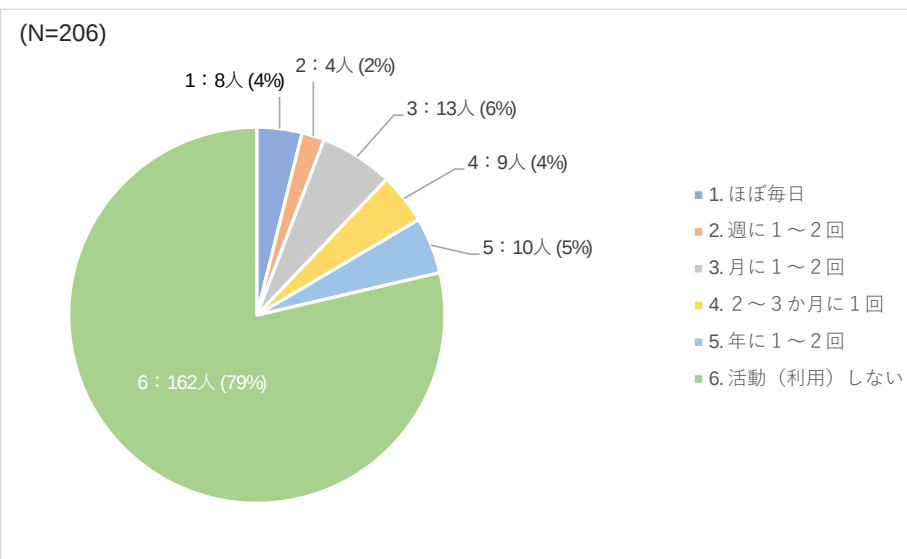
## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 金谷地域拠点

- 「ほぼ毎日」と回答した割合は市内在住者が約4倍多い16%であった。
- 年間を通じて、市内在住者の2人に1人、市外在住者の5人に1人は当該地域で活動することがないと回答している。

市内在住者



市外在住者

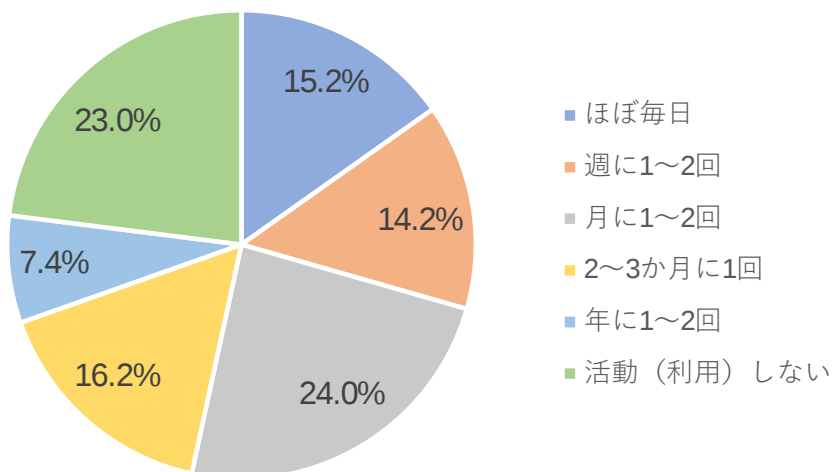


## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 六合地域拠点

- 中学生の利用者の中では、月に1～2回と回答した割合が24%と最多で、次いで2～3か月に1回(16.2%)となっている。活動(利用)しないが23%であった。
- 高校生については、約半数が活動(利用)しないと回答しており、中学生の2倍以上の割合となっている。利用者の中では、ほぼ毎日と回答した割合が16.9%と最多であった。

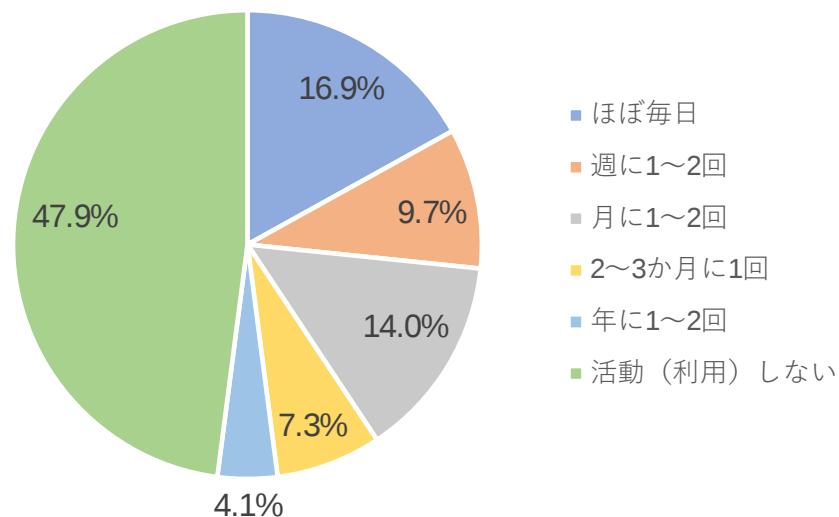
中学生

(N=513)



高校生

(N=413)

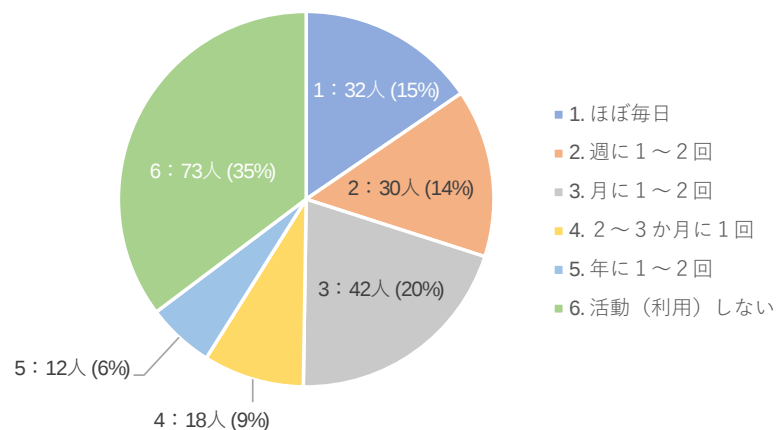


## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 六合地域拠点

- 市内在住者について、「月に1～2回」が最多(20%)で、次いで「ほぼ毎日」(15%)となっている一方、市外在住者については、「ほぼ毎日」が最多(18%)で、次いで「月に1～2回」(8%)と逆転している。

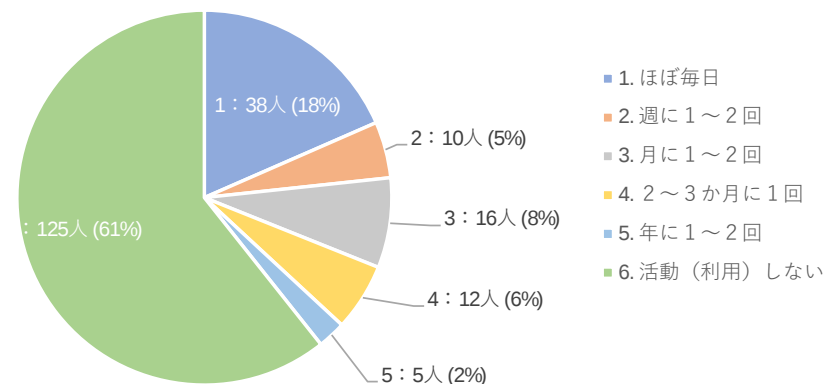
市内在住者

(N=207)



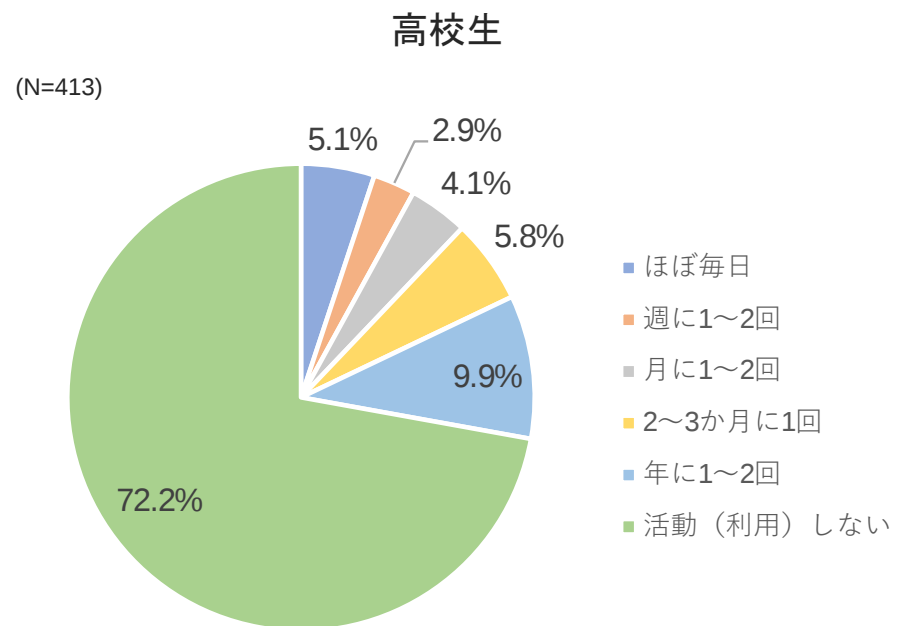
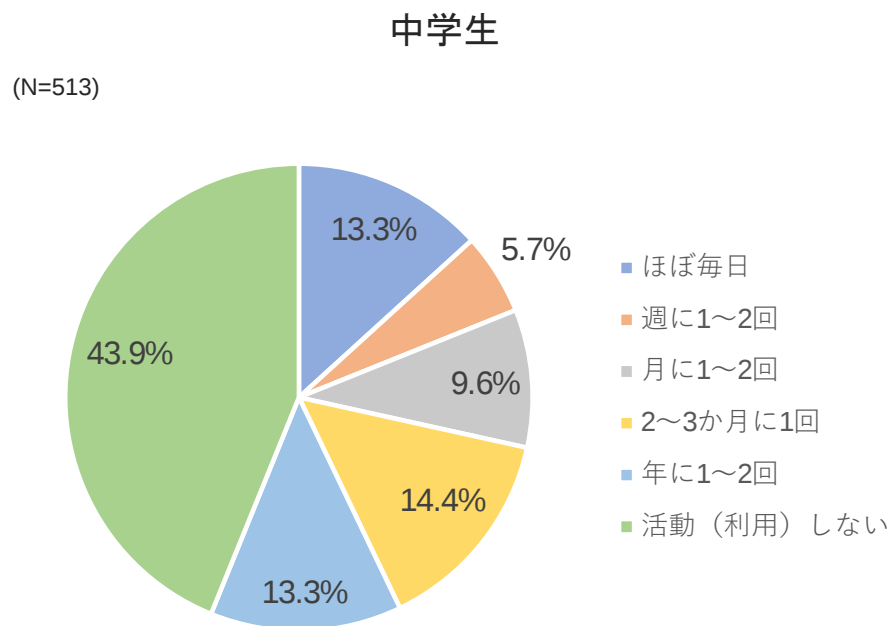
市外在住者

(N=206)



## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 初倉地域拠点

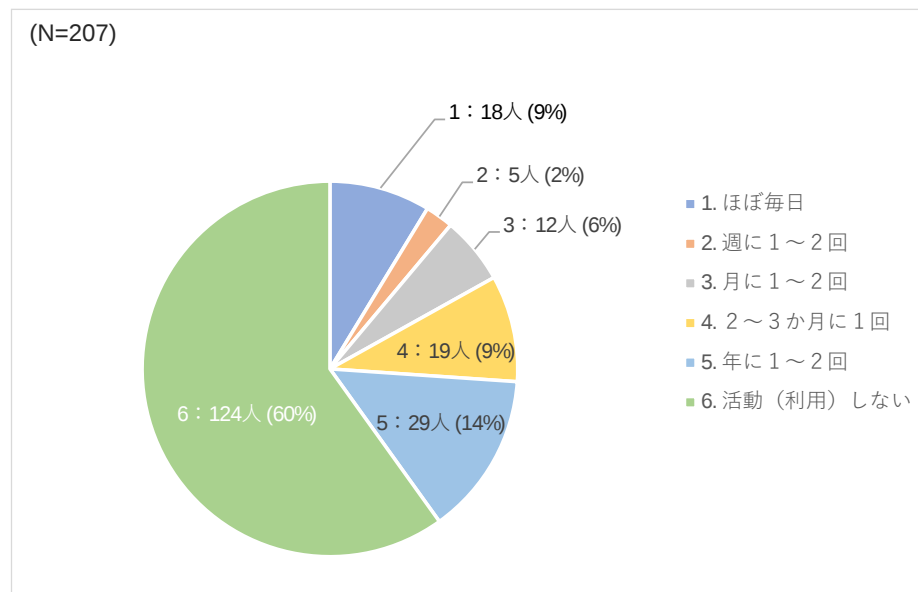
- 活動(利用)しないと回答した割合が、中学生では43.9%、高校生では72.2%であり、金谷地域に次いで利用頻度が少ない。
- 利用者の中では、中高生ともに年に1～2回と回答した割合が10%程度であった。



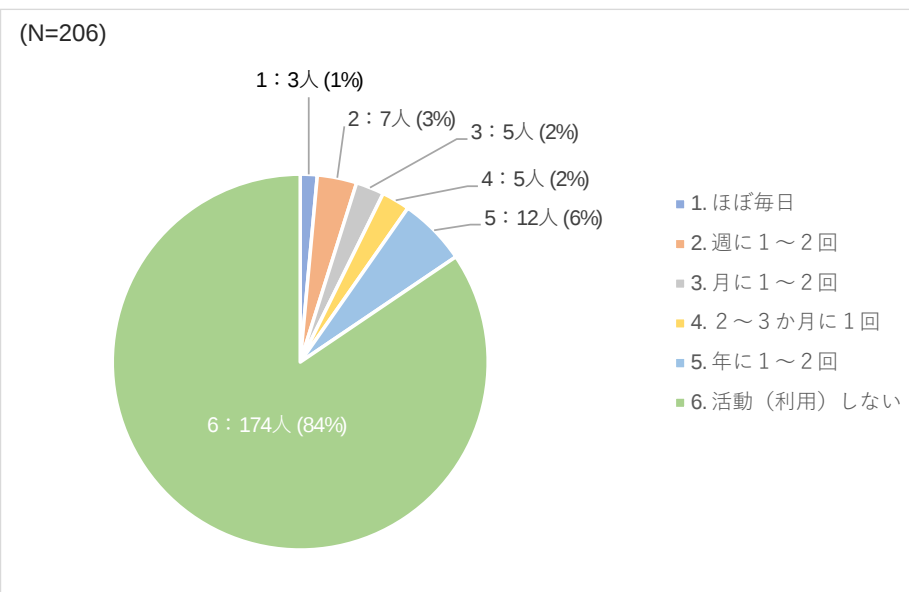
## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 初倉地域拠点

- 市内在住者では、「年に1～2回」の回答割合が最多で(14%)、次いで「2～3か月に1回」(9%)となっている。
- 市外在住者の84%は「活動(利用)しない」と回答している。

市内在住者

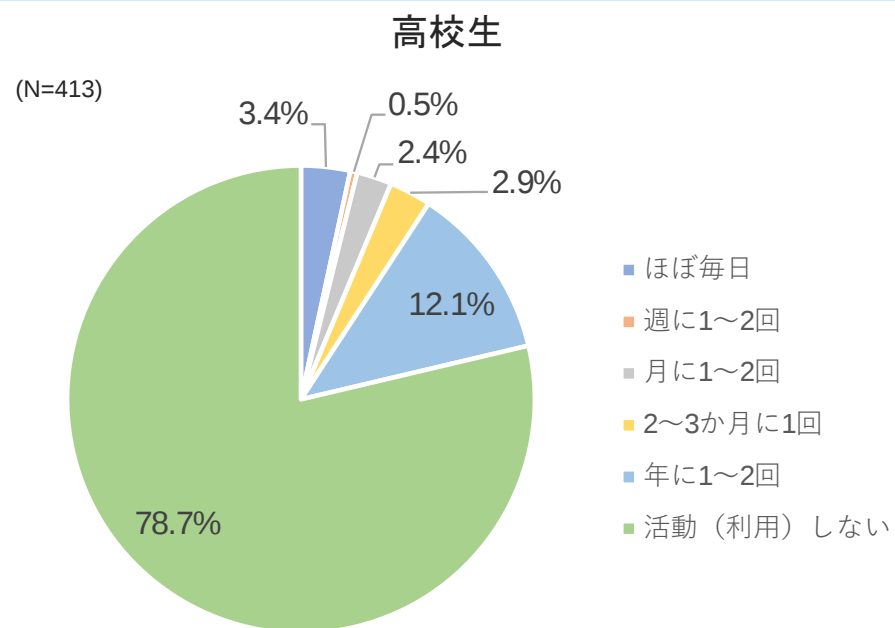
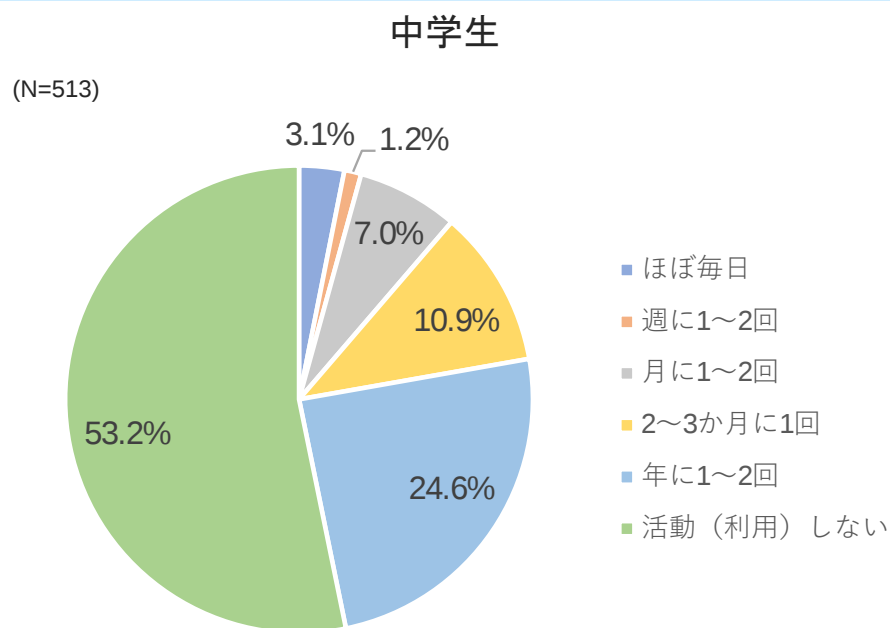


市外在住者



## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 川根地域拠点

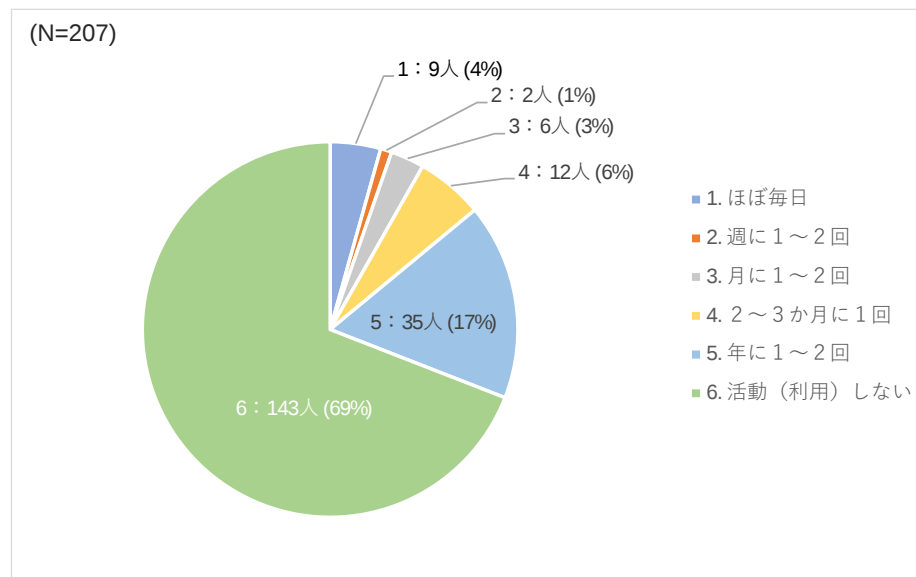
- 中高生ともに、活動（利用）しないと回答した割合が最も多い地域であり、高校生については約8割を占めている。
- 中高生ともに、年に1～2回と回答した割合が最も多く、年間を通じて利用頻度は高くないことが推測される。



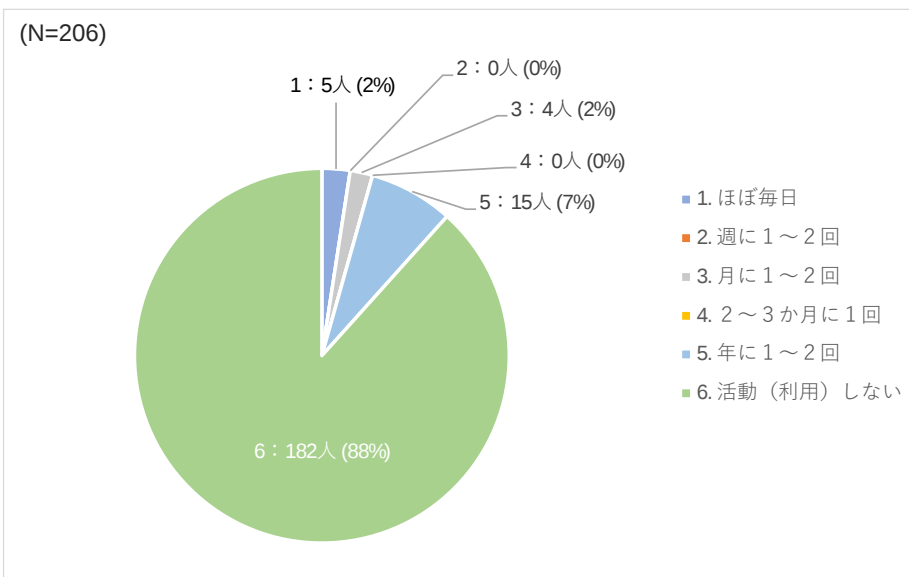
## それぞれの拠点にはどのくらいの頻度で行きますか？ 川根地域拠点

- 市内在住者の約3割は、1年のうち1回以上訪れている。
- 市外在住者の約9割は「活動(利用)しない」と回答している。

市内在住者

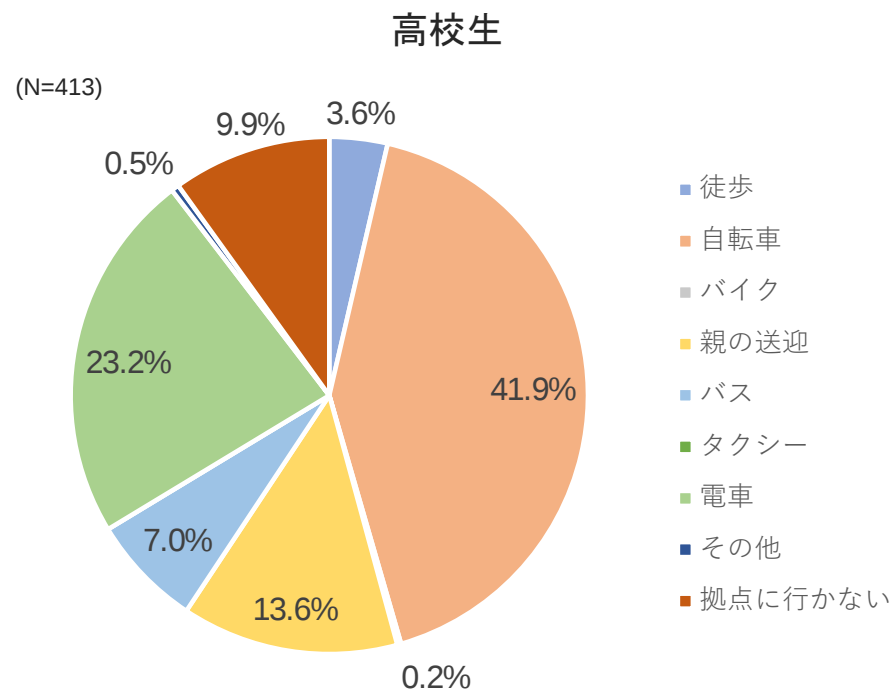
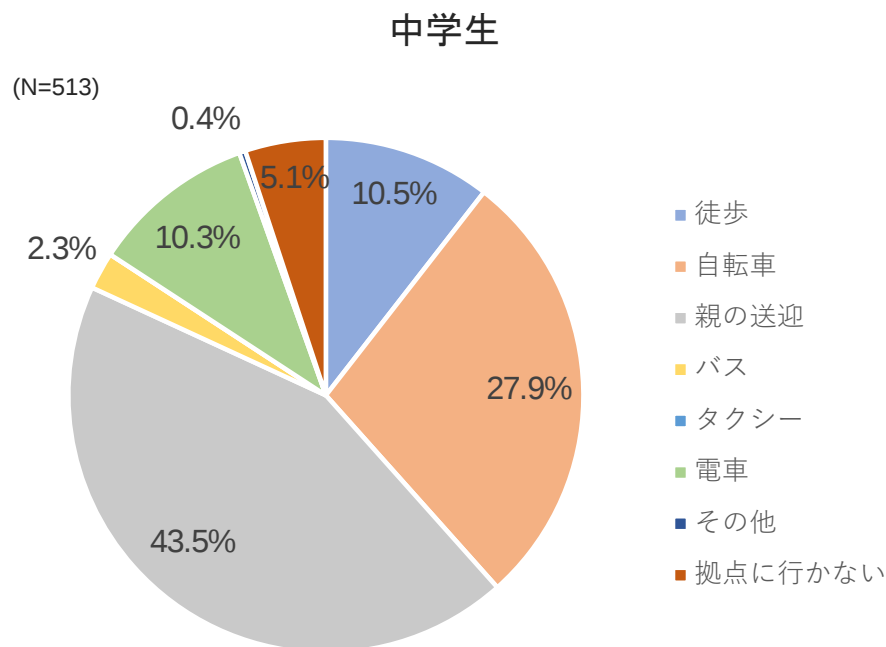


市外在住者



## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 中心拠点（島田駅周辺）

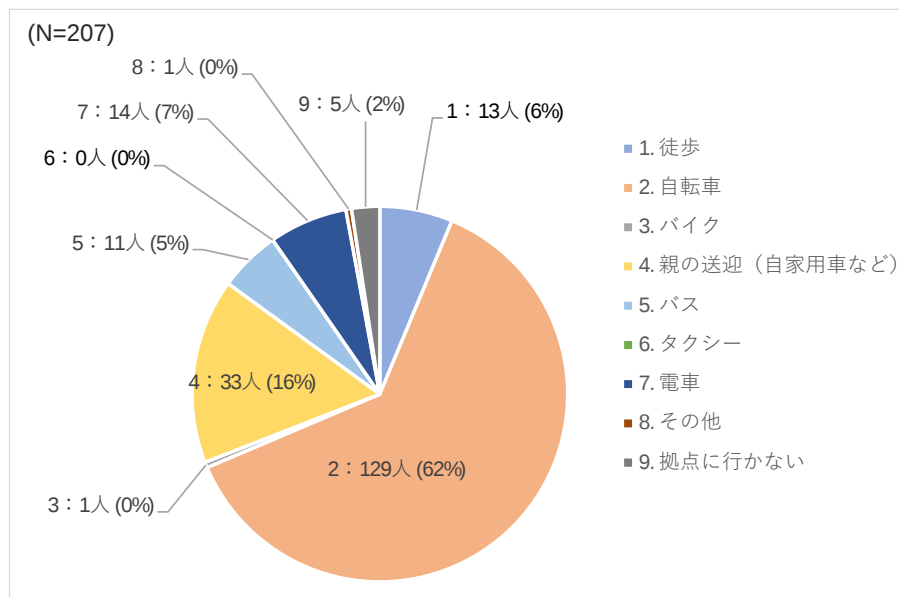
- 中学生について、回答割合が大きい順番に親の送迎（自家用車など）（43%）、自転車（28%）、徒歩（11%）という結果であった。
- 高校生については、回答割合の大きい順番に自転車（42%）、電車（23%）、親送迎（自家用車など）（14%）で、島田市外からの通学者がいることから、中学生よりも公共交通機関の利用割合が多いことが推測される。



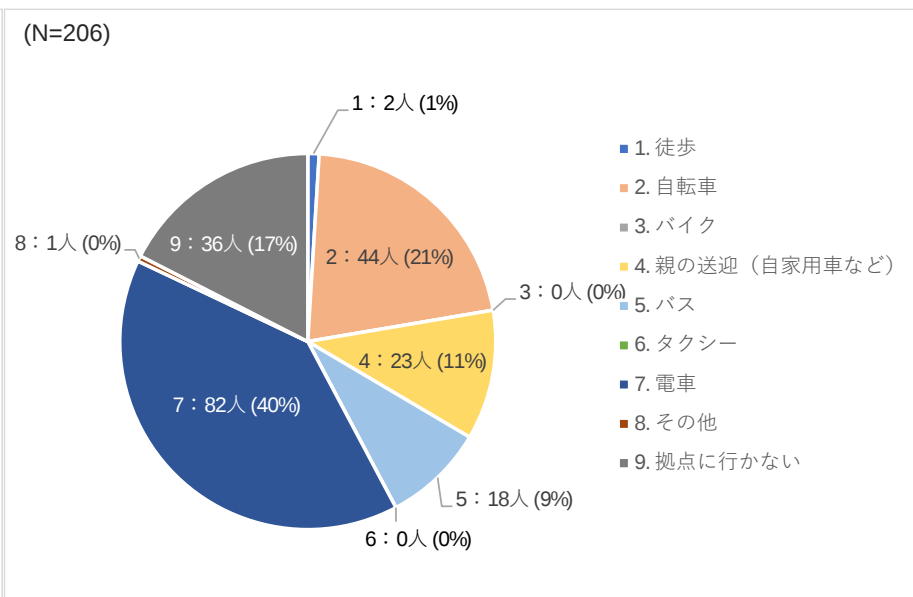
## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 中心拠点（島田駅周辺）

- 市内在住者の6割以上が自転車通学であり、市外在住者の約3倍の人数となった。
- 市外在住者の4割は電車で通学している。

市内在住者

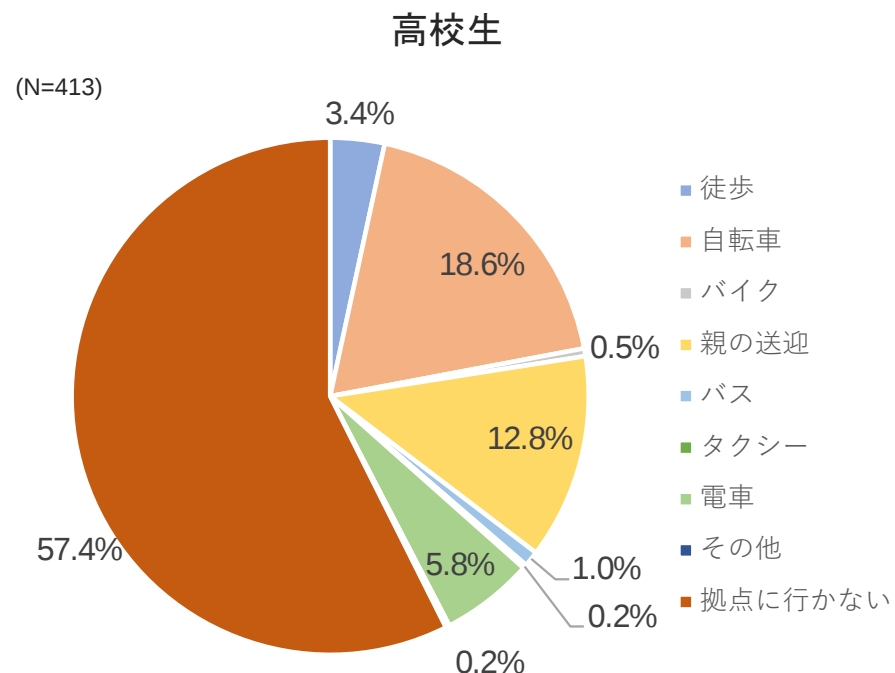
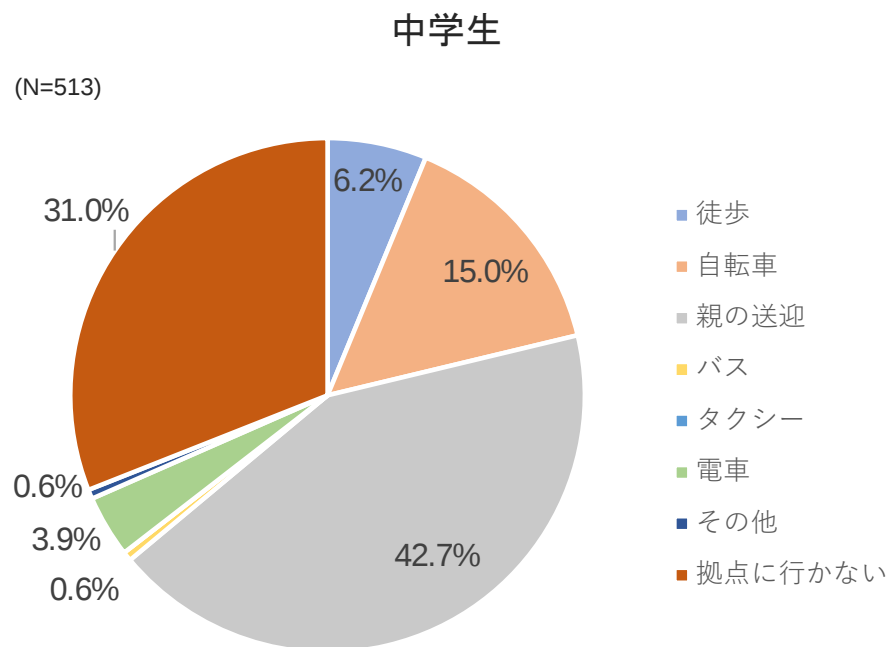


市外在住者



## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 金谷地域拠点

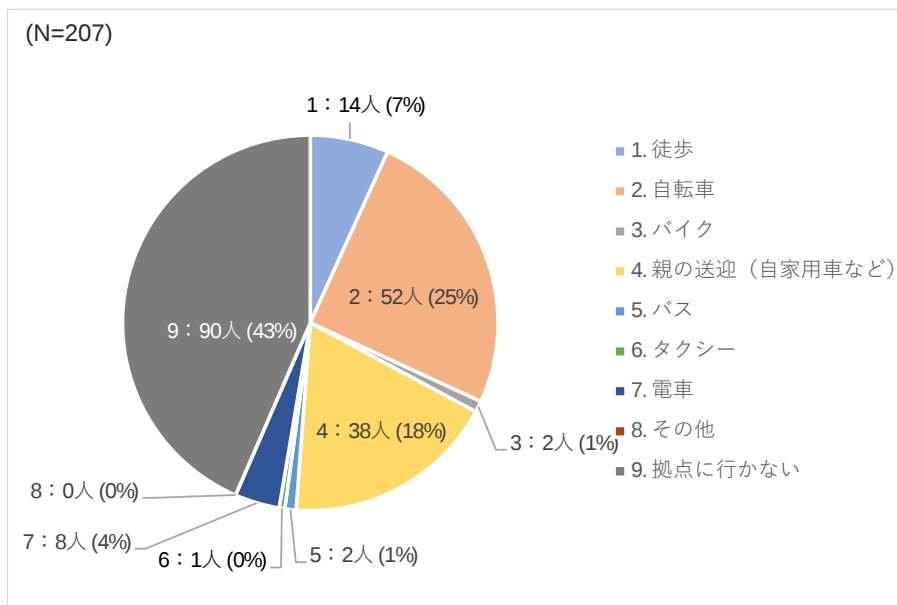
- 中学生については、親の送迎（自家用車など）と回答した割合が最も多く42.7%であった。次いで、自転車の割合（15%）が多かった。拠点に行かない割合は31%であった。
- 高校生については、約6割が拠点に行かないと回答している。交通手段では、自転車の割合（18.6%）が最も多かった。



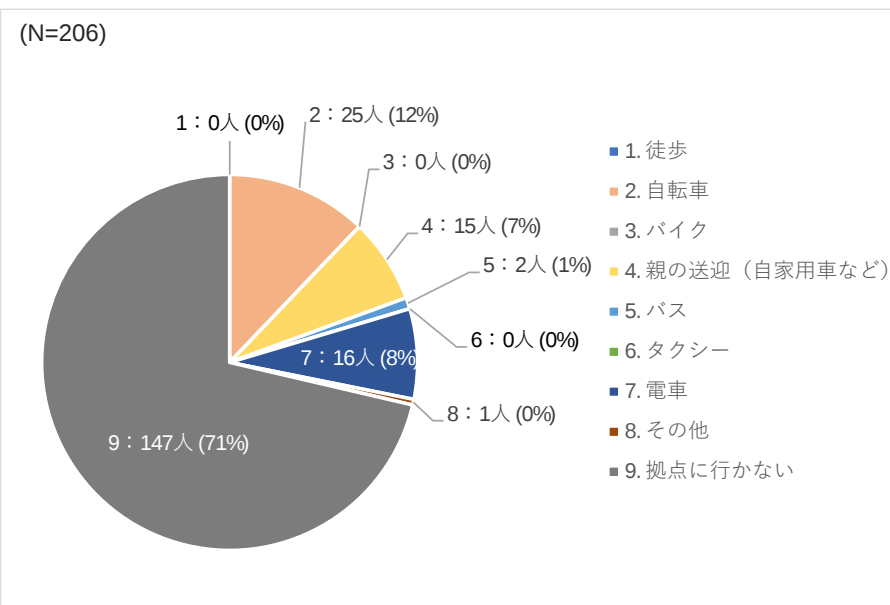
## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 金谷地域拠点

- 市内在住者の7%は徒歩で通学している。
- 「自転車」と回答した割合について、市内在住者の人数は市外在住者の2倍以上であった。
- 「親の送迎(自家用車など)」と回答した割合は、市内在住者の方が11%多かった。

市内在住者

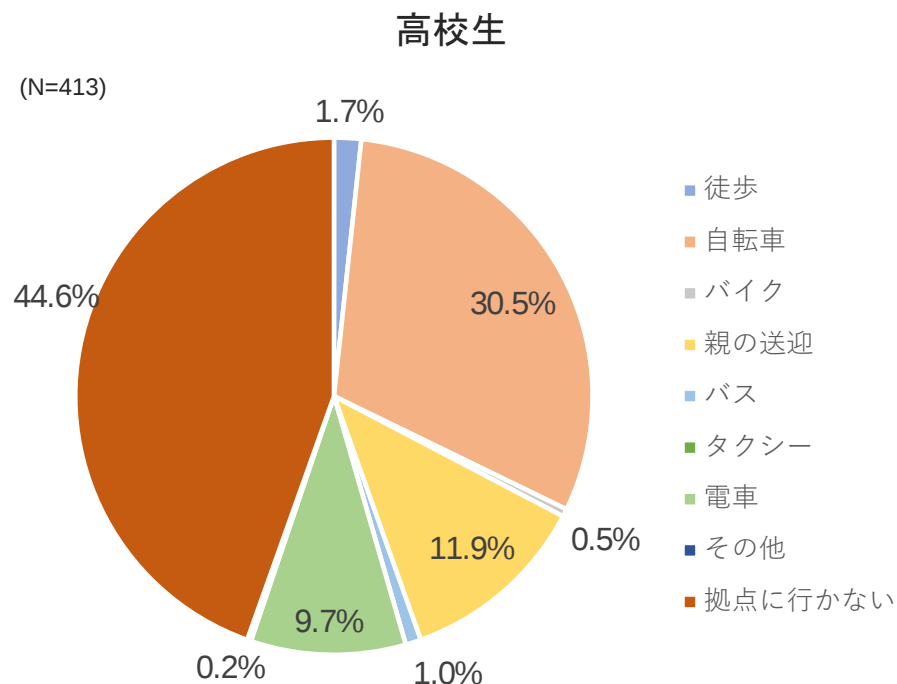
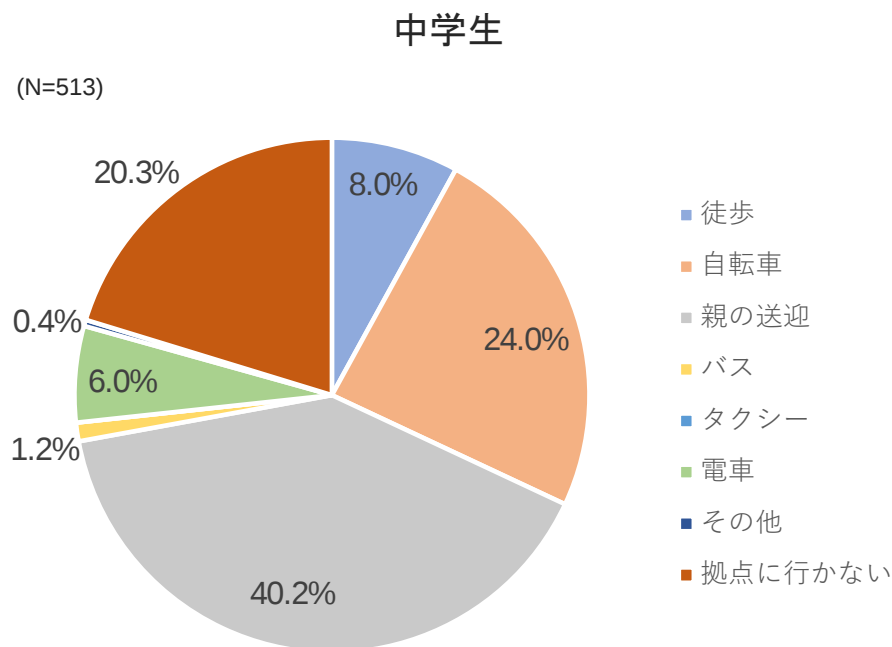


市外在住者



## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 六合地域拠点

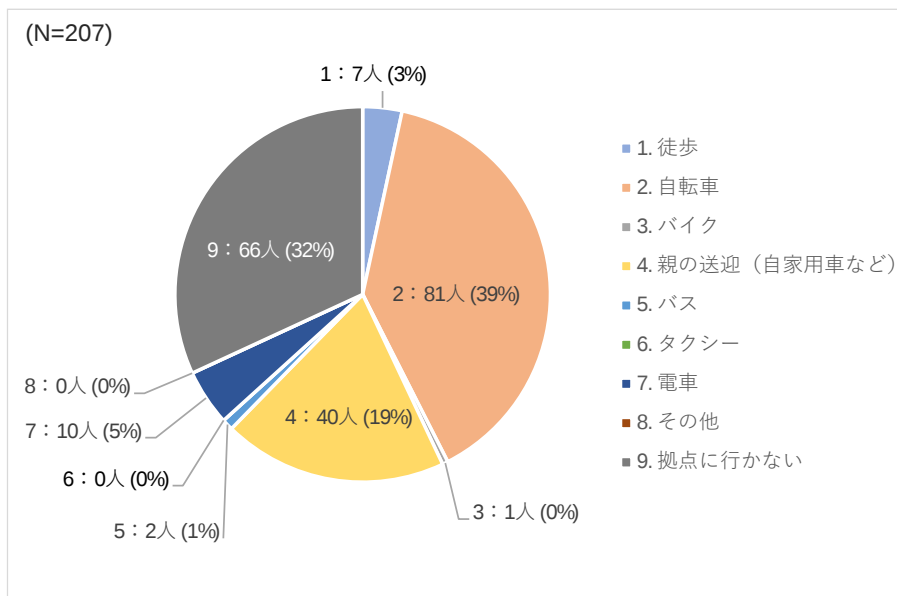
- 中学生については、回答割合の多い順番に、親の送迎（自家用車など）（40.2%）、自転車（24.0%）、徒歩（8.0%）であり、当該拠点に行かない割合は20.3%であった。
- 高校生については、回答割合の多い順番に、自転車（30.5%）、親の送迎（自家用車など）（11.9%）、電車（9.7%）であり、当該拠点に行かない割合は44.6%と、中学生より25%も多い。



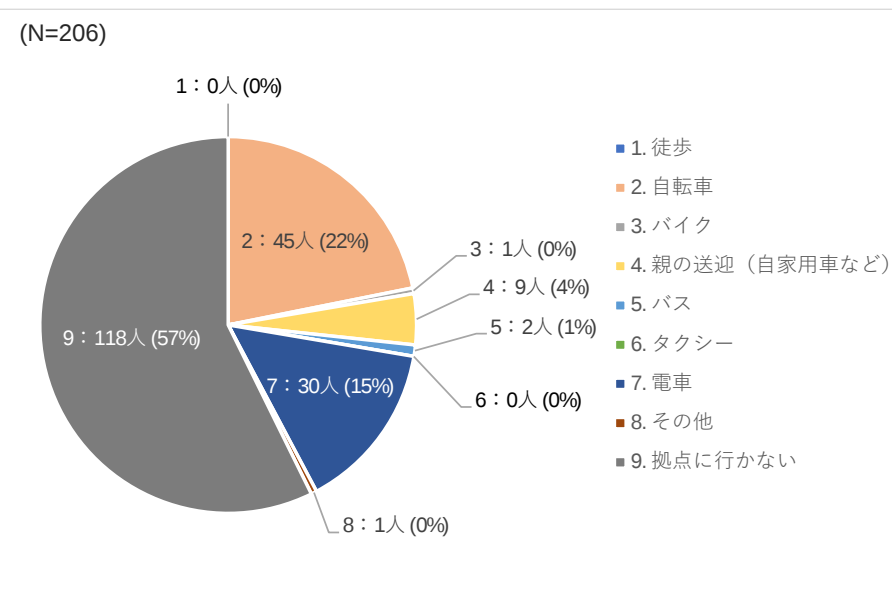
## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 六合地域拠点

- 「自転車」と回答した割合は、市内在住者の方が市外在住者より17%多かった。
- 「親の送迎（自家用車など）」と回答した割合は、市内在住者の方が市外在住者より15%多かった。
- 市内在住者の3倍の人数の市外在住者が電車を利用している。

市内在住者

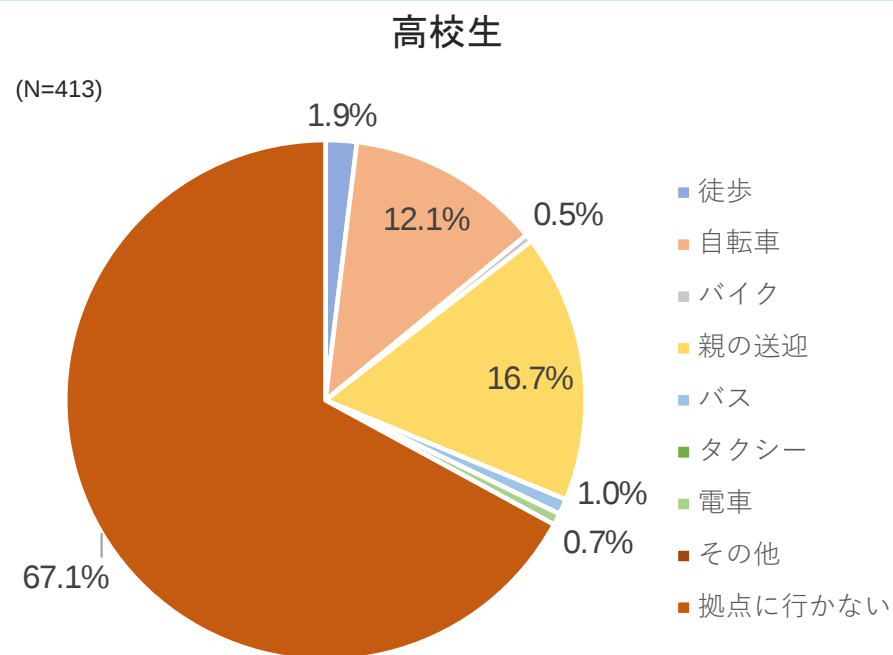
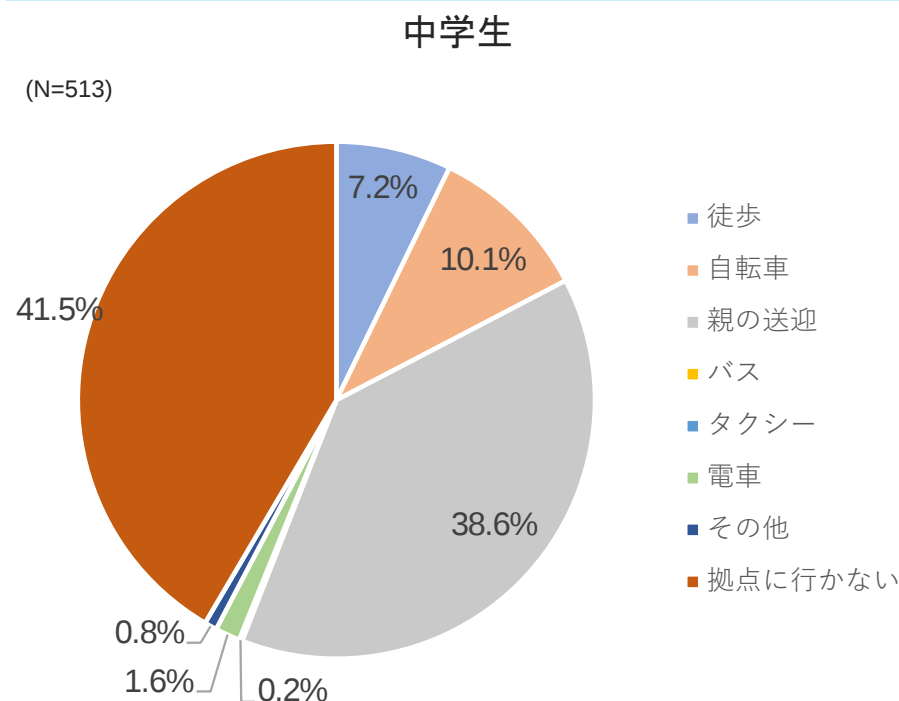


市外在住者



## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 初倉地域拠点

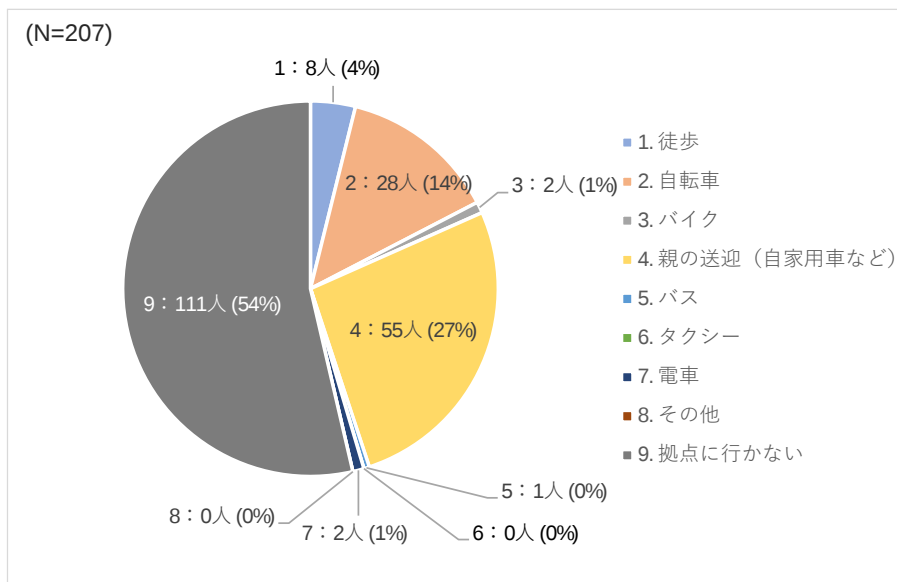
- 中学生については、回答割合の多い順番に、親の送迎(自家用車など)(38.6%)、自転車(10.1%)、徒歩(7.2%)であり、当該拠点に行かない割合は41.5%であった。
- 高校生については、回答割合の多い順番に、親の送迎(自家用車など)(16.7%)、自転車(12.1%)であった。



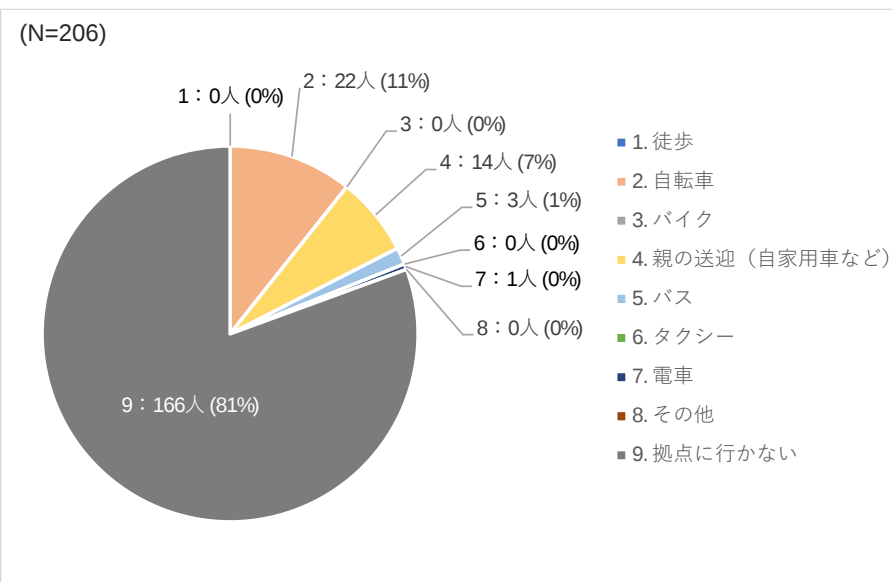
## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 初倉地域拠点

- 市内在住者のうち、「徒歩」と回答した割合が4%とわずかに見られた。
- 「親の送迎（自家用車など）」について、市内在住者の方が20%多かった。

市内在住者

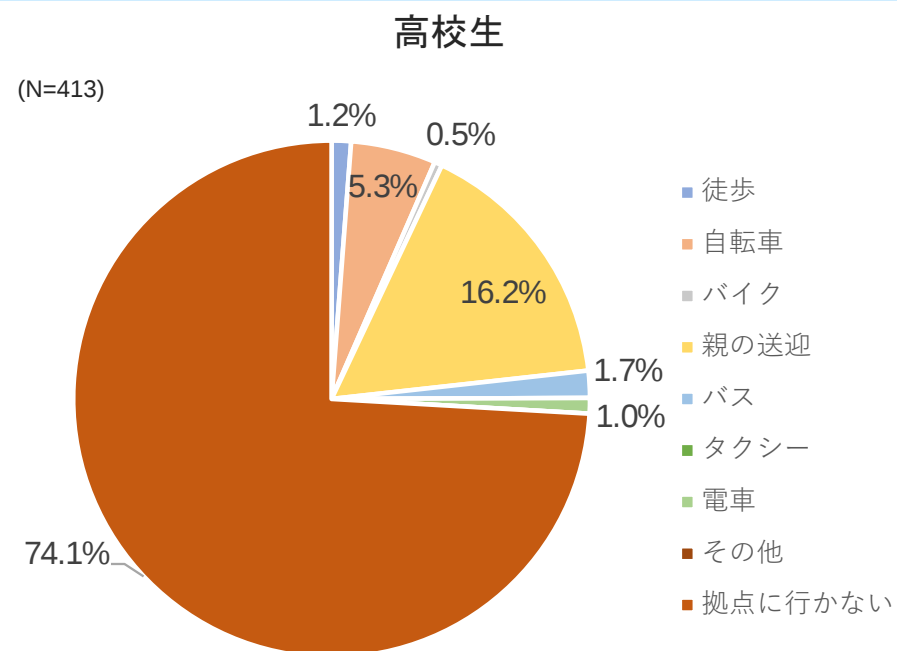
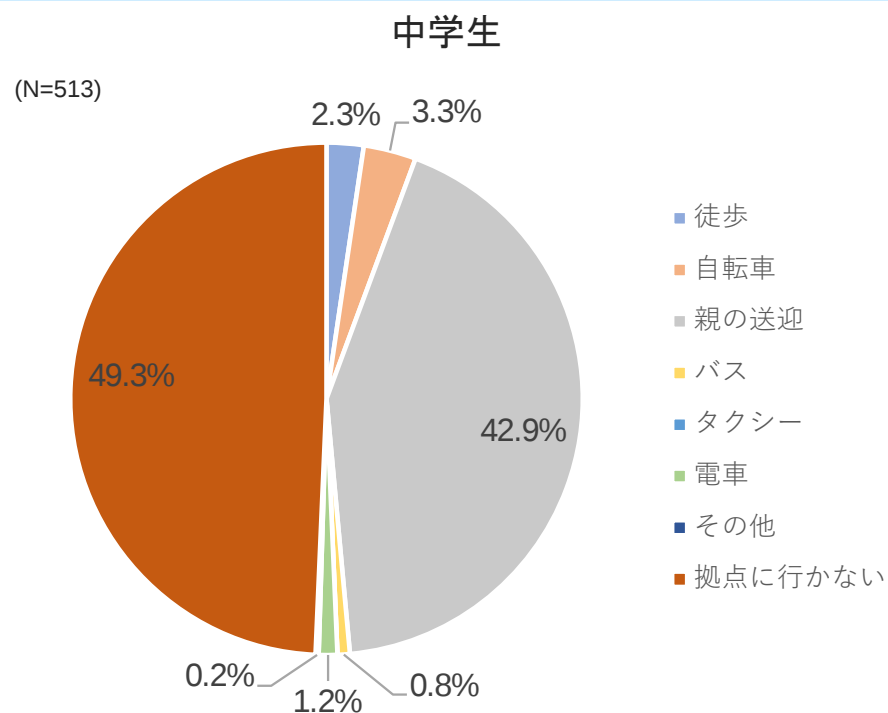


市外在住者



## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 川根地域拠点

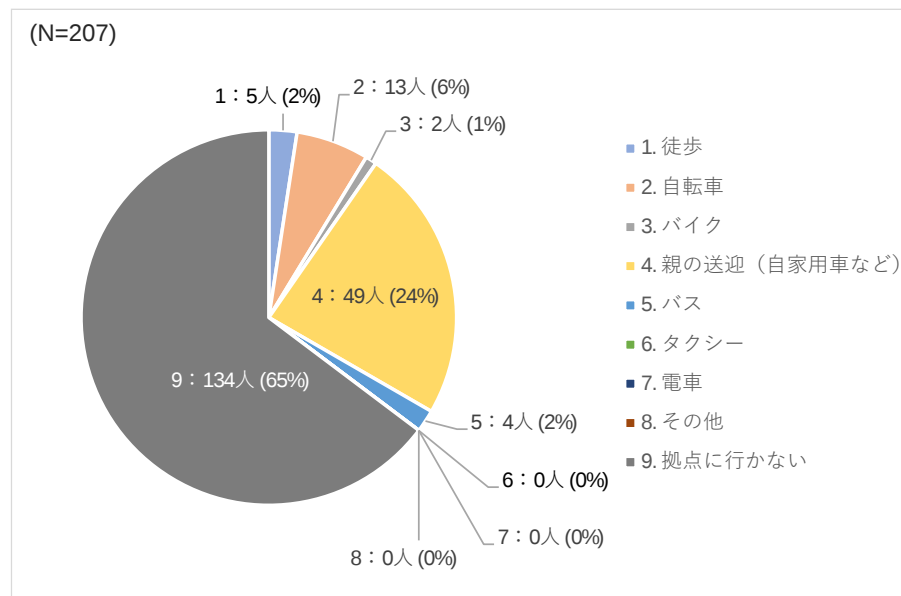
- 中高生ともに、当該拠点に行かないと回答した割合が最も多い地域である。
- また、親の送迎(自家用車など)と回答した割合が多くを占めている。



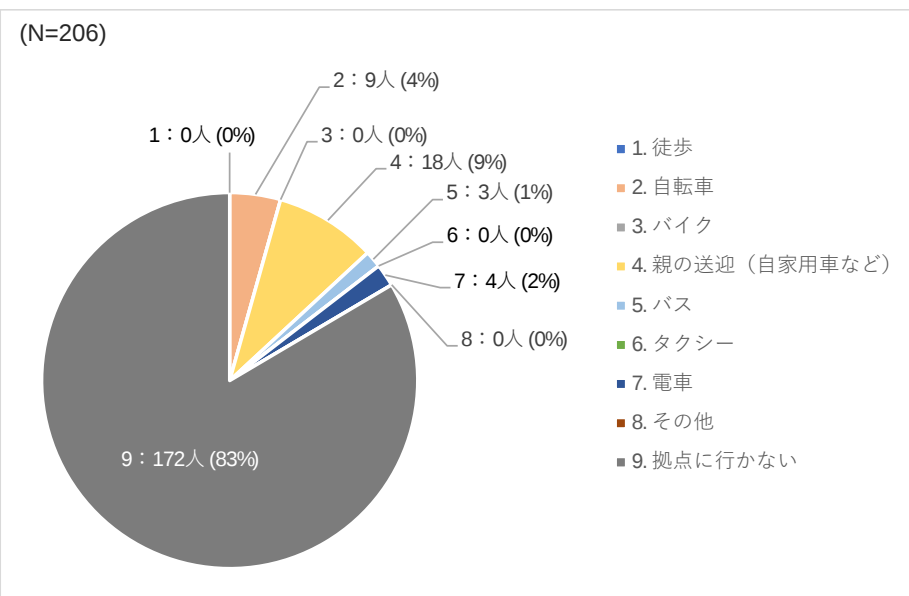
## 自宅からそれぞれの拠点への主な交通手段は何ですか？ 川根地域拠点

■ 「親の送迎（自家用車など）」について、市内在住者の方が市外在住者よりも15%多い。

市内在住者



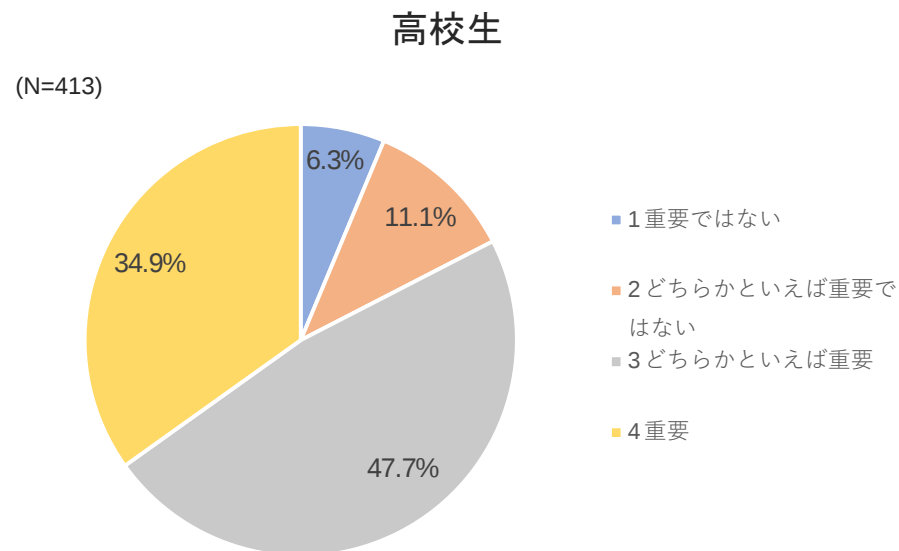
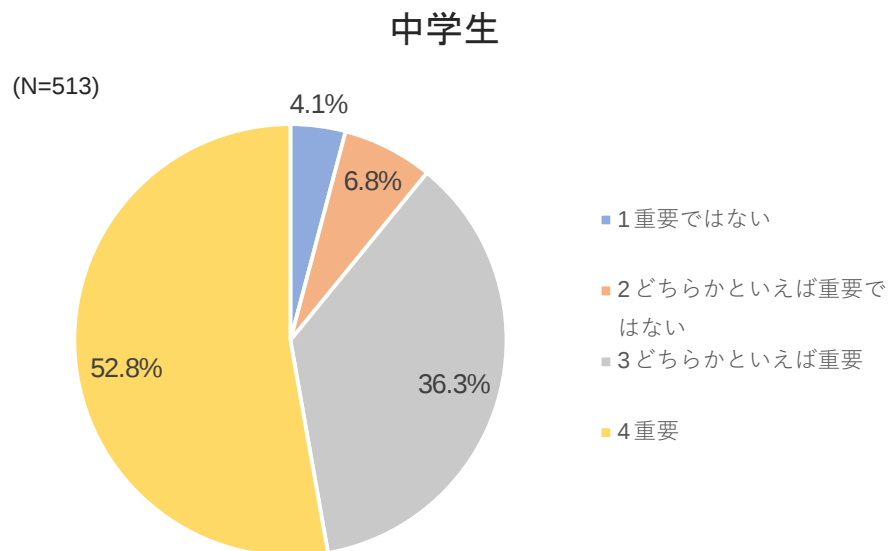
市外在住者



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

①住んでいる人同士の交流が増えること

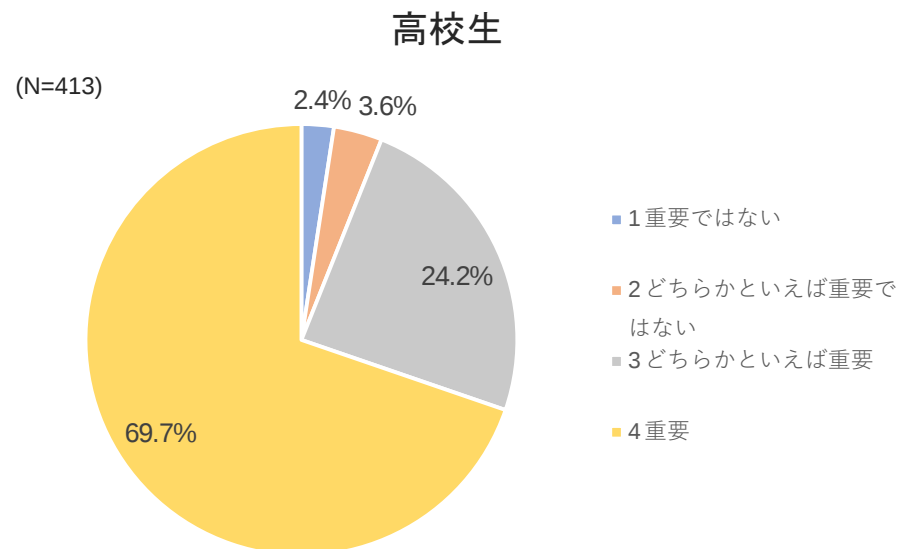
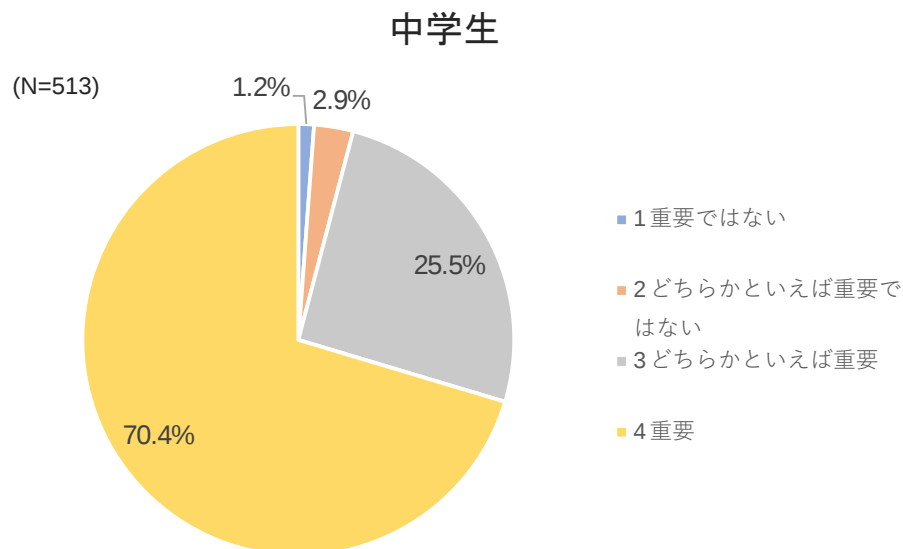
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割を超えている。
- 中学生の方が「重要」と回答した割合が約18%多い。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

## ②お店や会社が繁盛すること

- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が約95%と非常に重要度が高い。
- 回答割合の内訳はほとんど同じ傾向であることから、同程度の問題意識を持っていることが推測される。

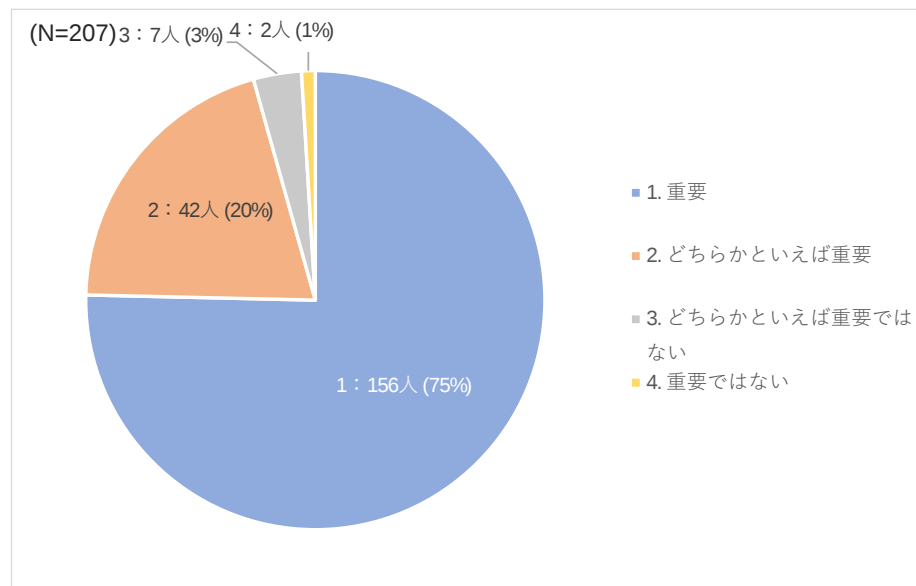


今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

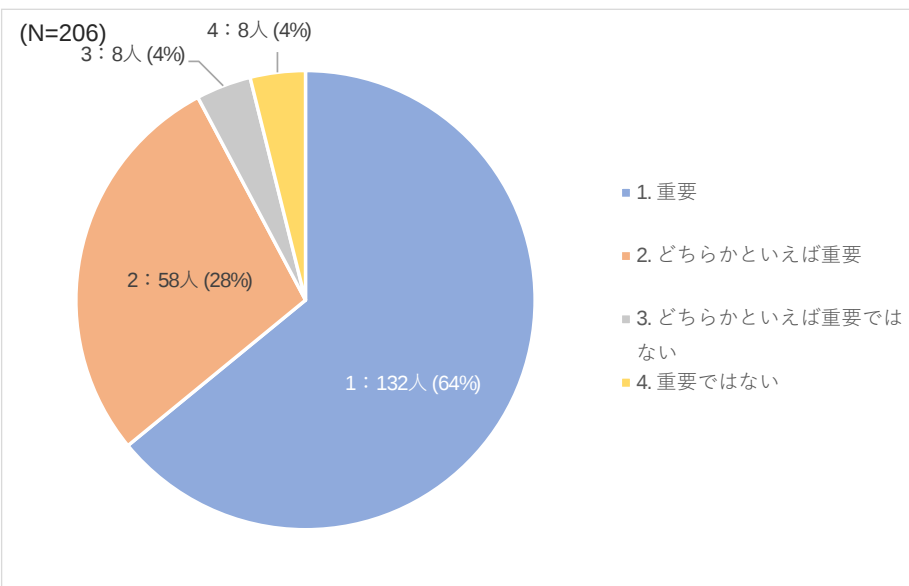
## ②お店や会社が繁盛すること

- 高校生の市内在住者の方が、市外在住者に比べ「重要」と回答した割合が11%高い。
- 「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合の合計は9割以上とほぼ同程度であった。

市内在住者



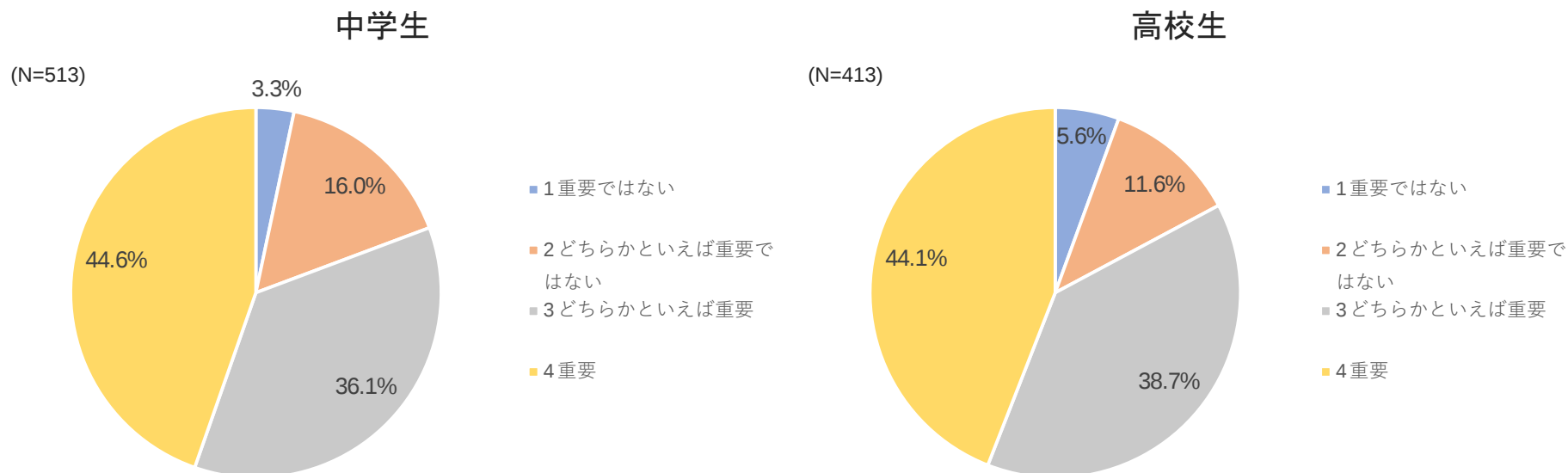
市外在住者



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

③住んでいる人が増えること

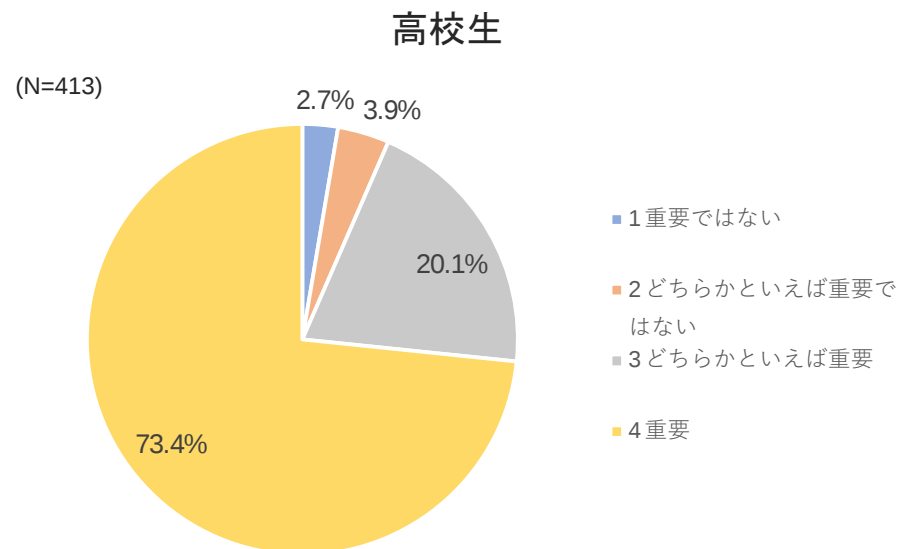
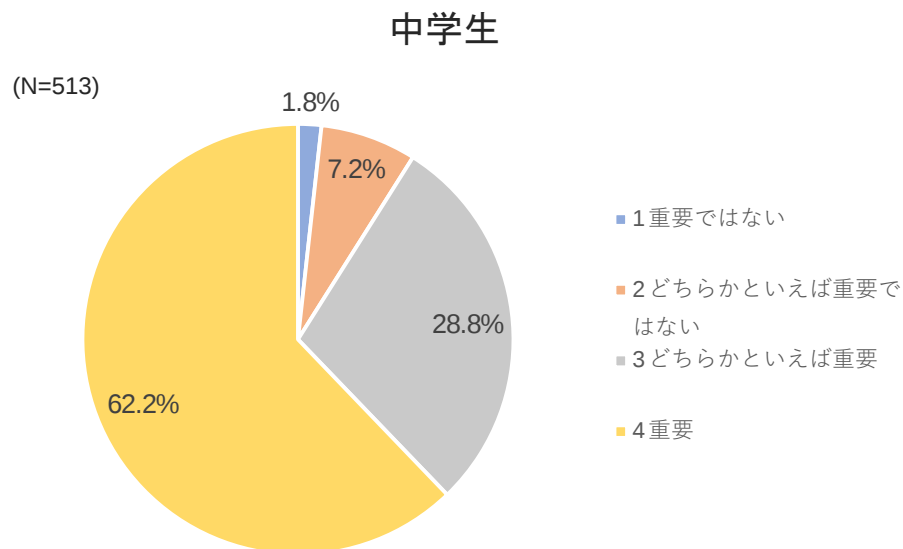
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割を超えている。
- 回答割合の内訳はほとんど同じ傾向であることから、同程度の問題意識を持っていることが推測される。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

④バスなどの公共交通機関や道路が整備されること

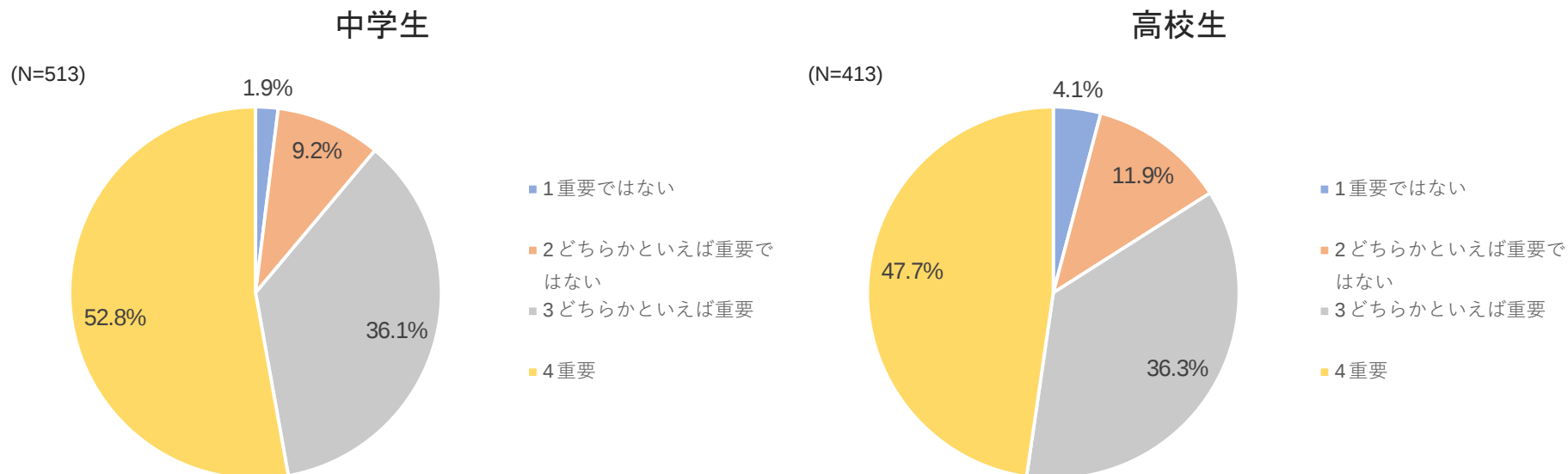
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が9割を超えており、非常に重要度が高い。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑤人が集まるイベントが開催されること市内外

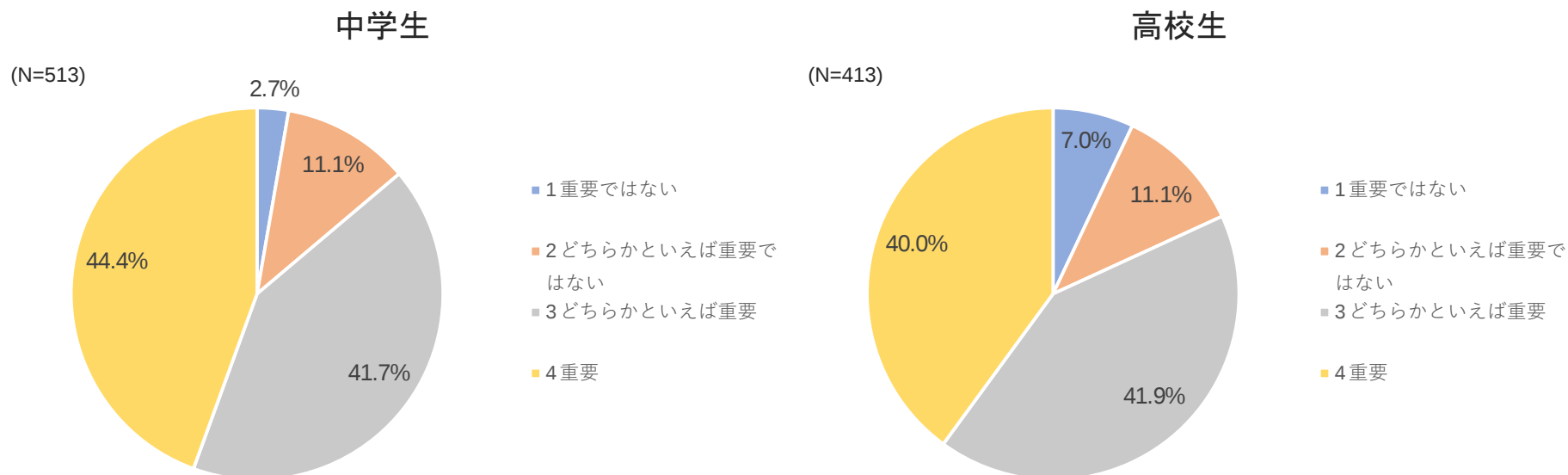
- 高校生の市内在住者の方が、市外在住者に比べ「重要」と回答した割合が11%高い。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑥伝統行事が継承され、盛んになること

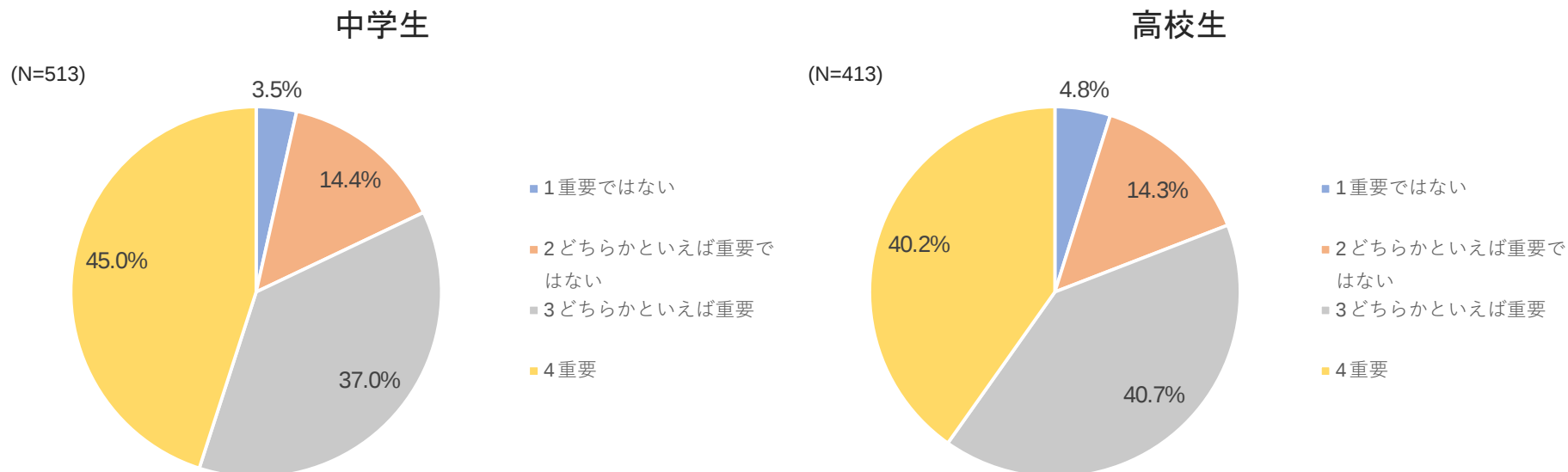
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割を超えている。
- 回答割合の内訳はほとんど同じ傾向であることから、同程度の問題意識を持っていることが推測される。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑦学校や図書館、公民館などが充実すること

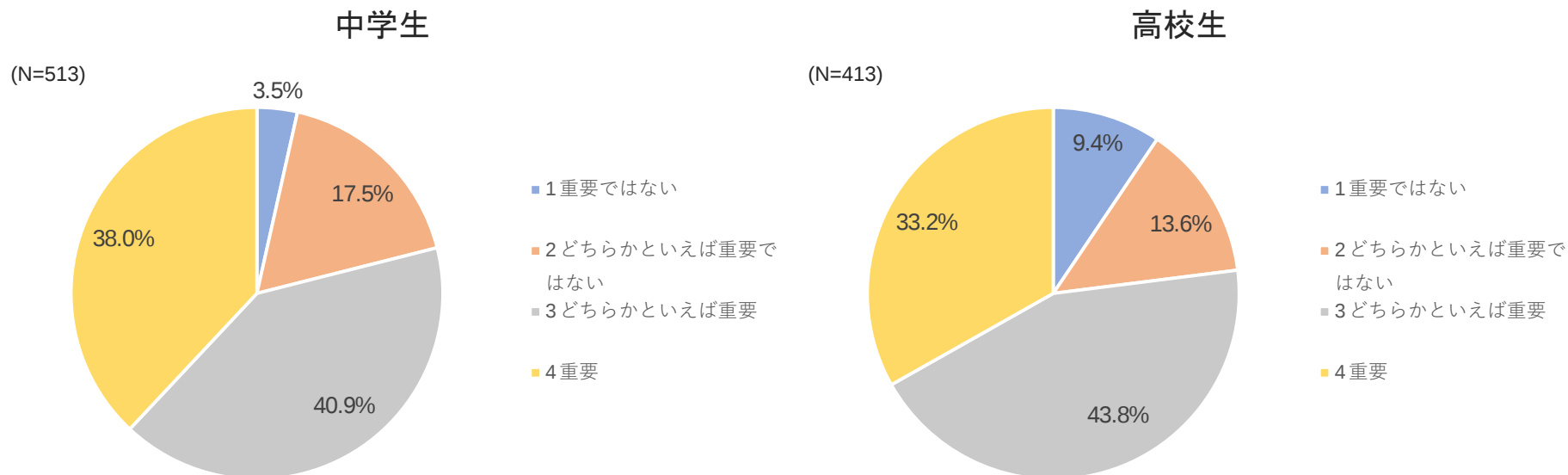
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割を超えており、「重要」と回答した割合は中学生の方がやや多い。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑧若い人が町内会などの地区のイベントや清掃活動へ積極的に参加すること

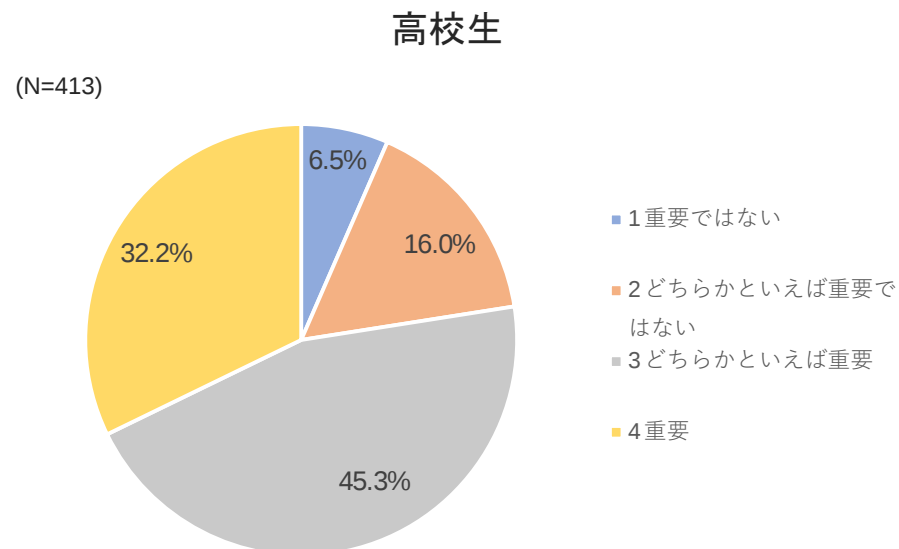
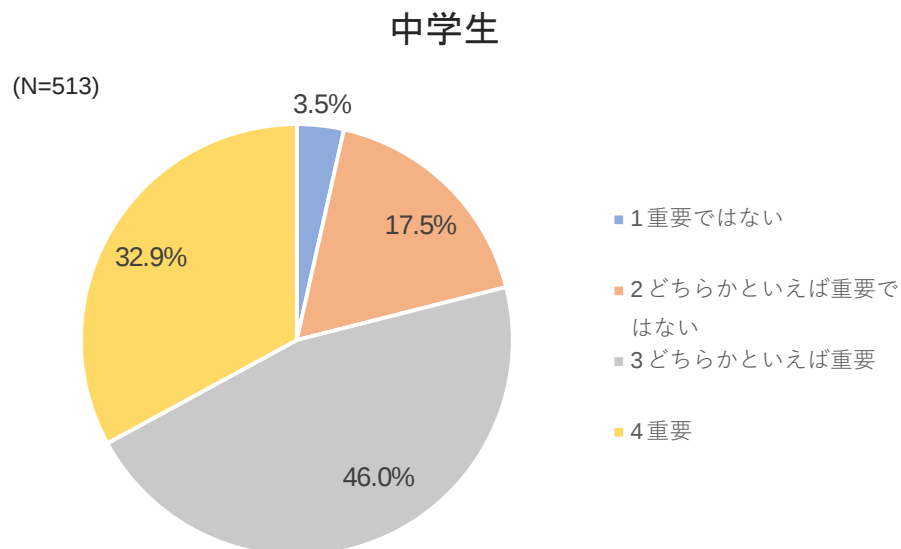
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割であり、他の設問よりもやや低い  
が重要度が高い取組である。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑨農業や林業などの地域特有の産業を盛んにすること

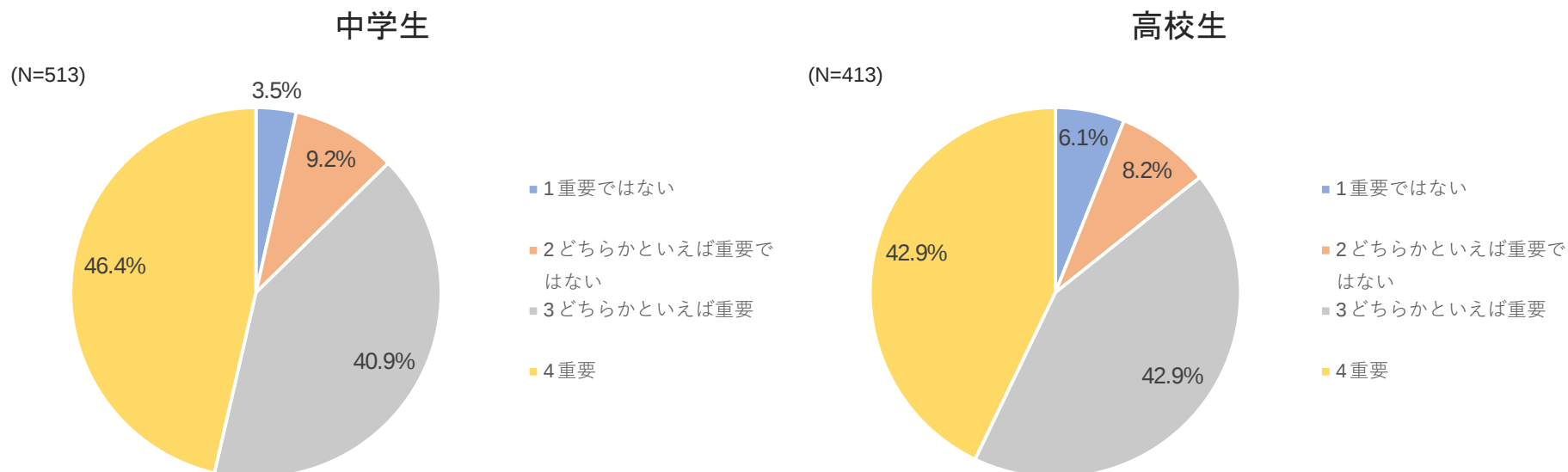
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割であり、他の設問よりもやや低い  
が重要度が高い取組である。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

⑩障害を持つ人や経済的に困窮する人への福祉、市民の健康を維持する医療、お年寄りの介護などを充実させること

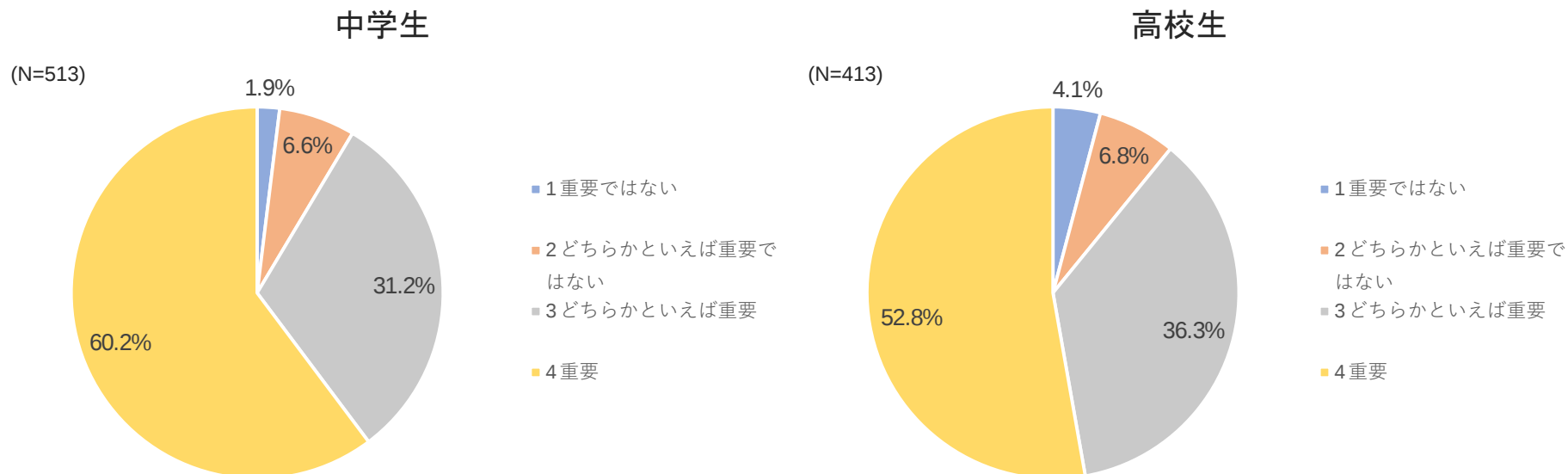
- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が8割を超えており、「重要」と回答した割合は中学生の方がやや多い。



今後、あなたが住んでいる地区が活性化していくために、重要だと思うことは何ですか？

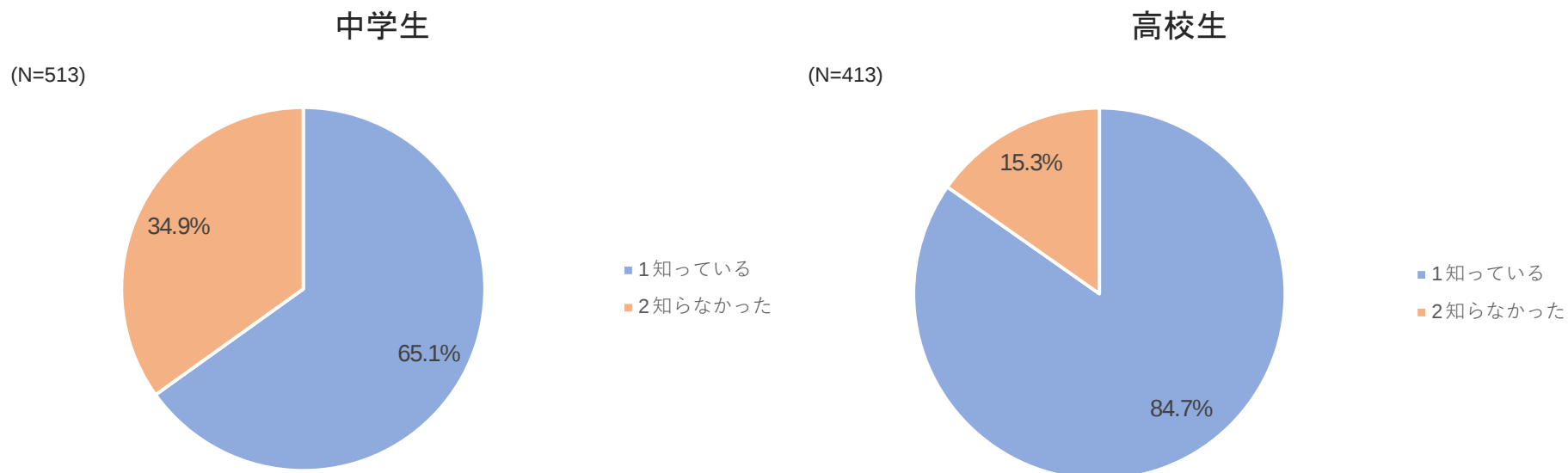
⑪地域の自然環境や自然のある風景を守ること

- 中高生ともに「重要」「どちらかといえば重要」と回答した割合が約9割と非常に重要度が高い。
- 「重要」と回答した割合は中学生の方が約8%多い。



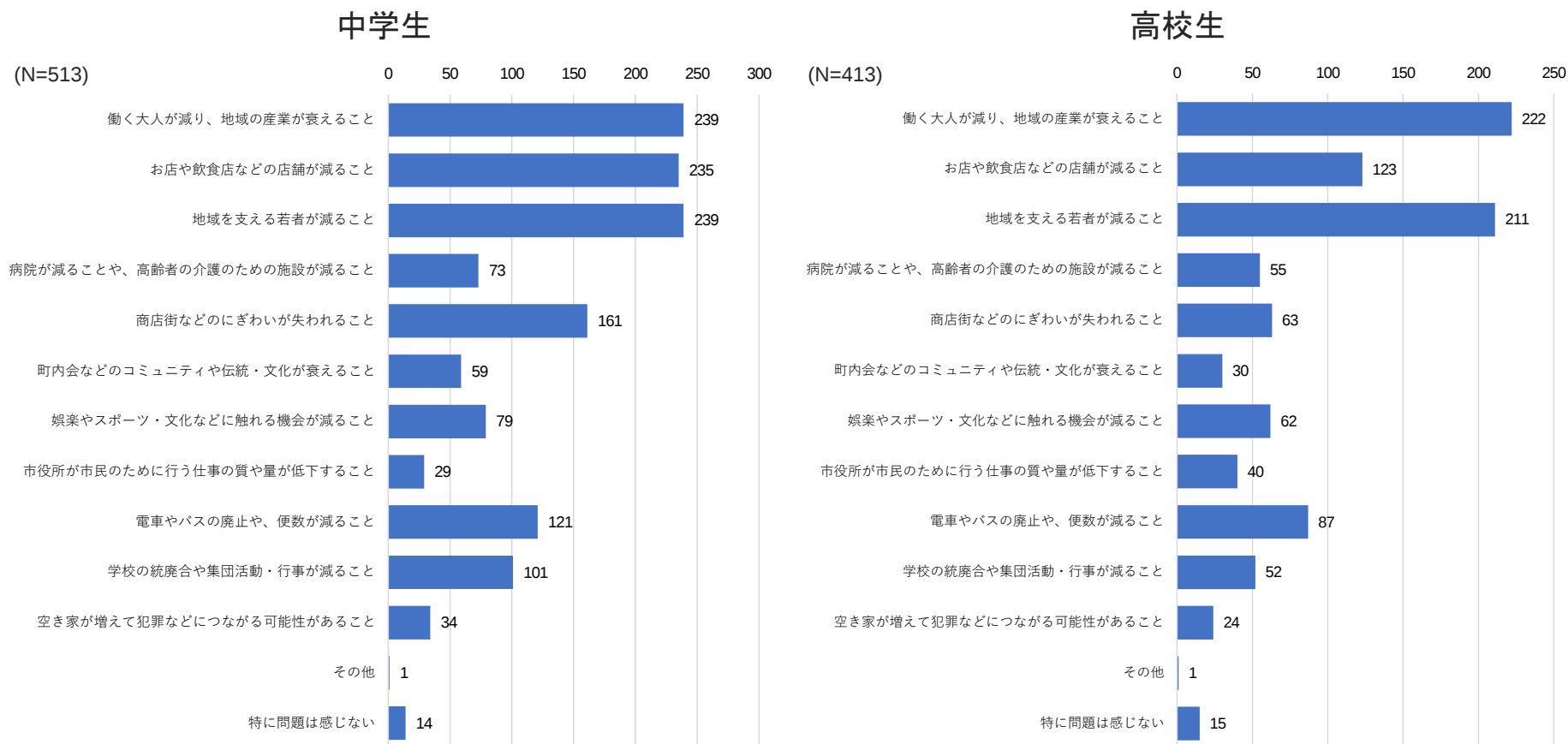
## あなたは、島田市の人口が減少していることを知っていましたか？

- 中学生の65%、高校生の85%が認知しており、高校生の方が認知している割合が多い。



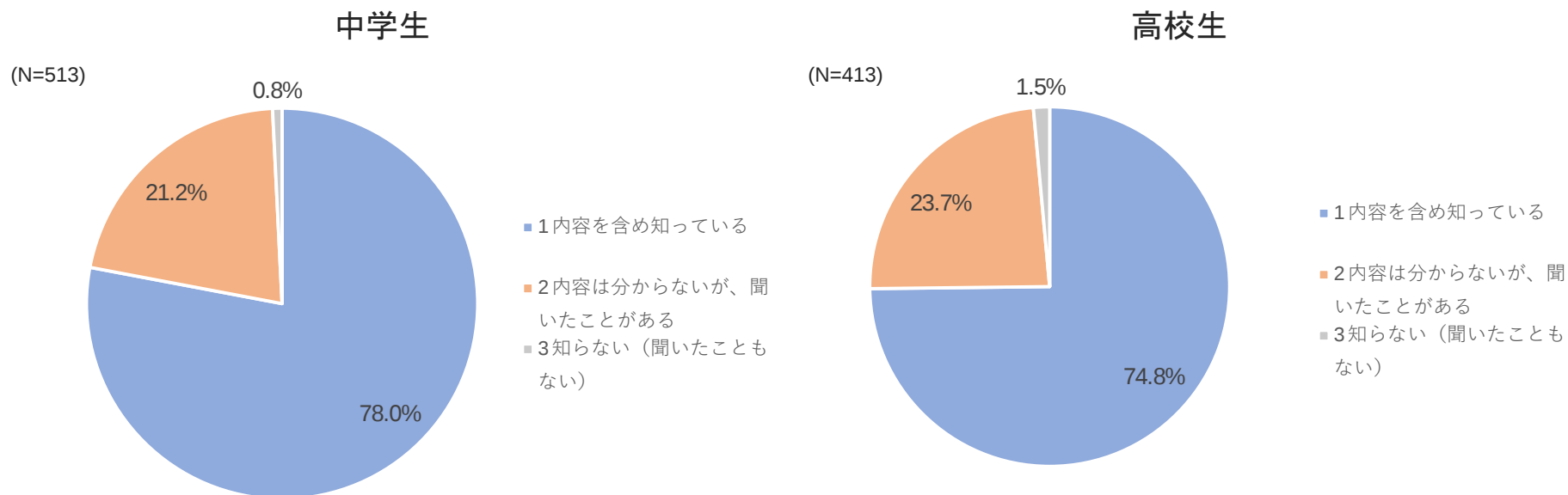
## 人口減少が与える悪い影響について、特に問題であると感じるものは何ですか？＜3つまで選択＞

- 「働く大人が減り、地域の産業が衰えること」「地域を支える若者が減ること」の回答については、中高生ともに約半数が回答しており、全体の中でも突出している。
- 中学生については、「お店や飲食店などの店舗が減ること」「商店街などのにぎわいが失われること」の割合が高校生と比較し、いずれも15%以上多い。週末も島田市内の各拠点を利用する割合が高いことから、特に街のにぎわいに関する項目への関心が高いと推測される。



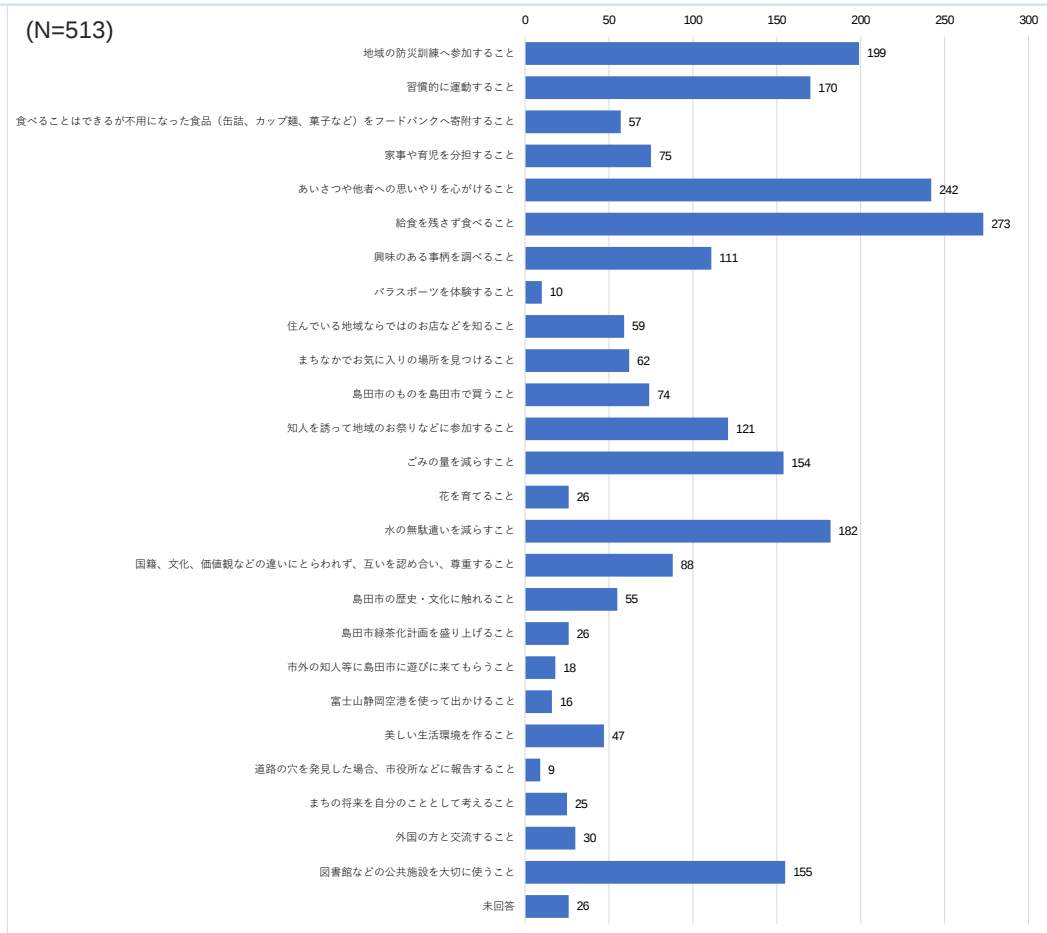
## あなたは、SDGsについて知っていますか？

- 中高生ともに4人中3人がSDGsについて認知しており、ほぼ全員の学生が、一度は耳にしたことがあると回答している。



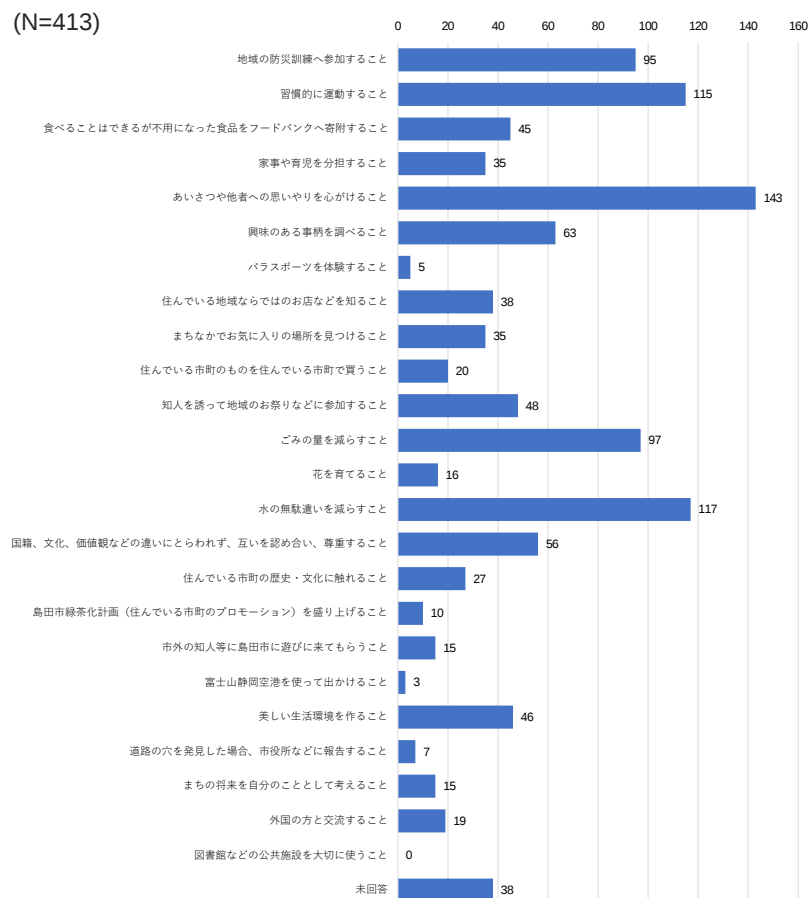
## SDGsのゴールにつながる取組の中で、あなたが普段から心がけていることは何ですか？＜自由選択＞

- 中学生について、回答数が多い順番に、「給食を残さず食べること(273件)」「あいさつや他者への思いやりを心がけること(242件)」「地域の防災訓練へ参加すること(199件)」という結果であった。
- 「道路の穴を発見した場合、市役所などに報告すること」の回答数が最も少なかった(9件)。



## SDGsのゴールにつながる取組の中で、あなたが普段から心がけていることは何ですか？＜自由選択＞

- 高校生については、回答割合が多い順番に、「あいさつや他者への思いやりを心がけること(143件)」「水の無駄遣いを減らすこと(117件)」「習慣的に運動すること(115件)」という結果であった。
- 中高生ともに「あいさつや他者への思いやりを心がけること」の割合が高く、多くの学生が普段から強く意識していると言える。

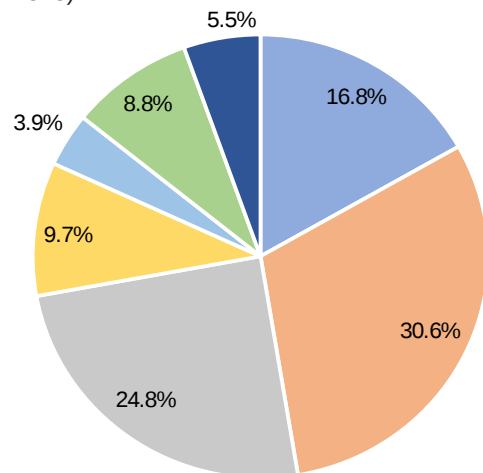


## 将来に向けて、島田市が特に力を入れるべきだと思う取組は、次のうちどれですか？

- 中高生ともに回答割合の多い順番は、「子育て・教育環境が充実するまちづくり」「地域経済をリードするまちづくり」「安全で健やかに暮らせるまちづくり」であり、構成比に大きな差異は見られない。
- 今現在、教育を受けている立場にあるため教育分野への関心が特に高いことがうかがえる。

中学生

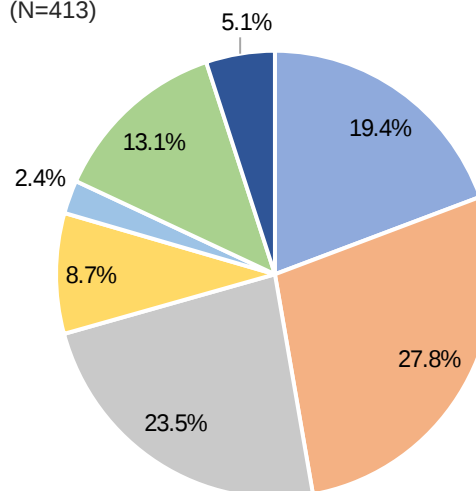
(N=513)



- 1 安全で健やかに暮らせるまちづくり
- 2 子育て・教育環境が充実するまちづくり
- 3 地域経済をリードするまちづくり
- 4 住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり
- 5 歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり
- 6 ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり
- 7 人口減少社会に挑戦する経営改革を実現するまちづくり

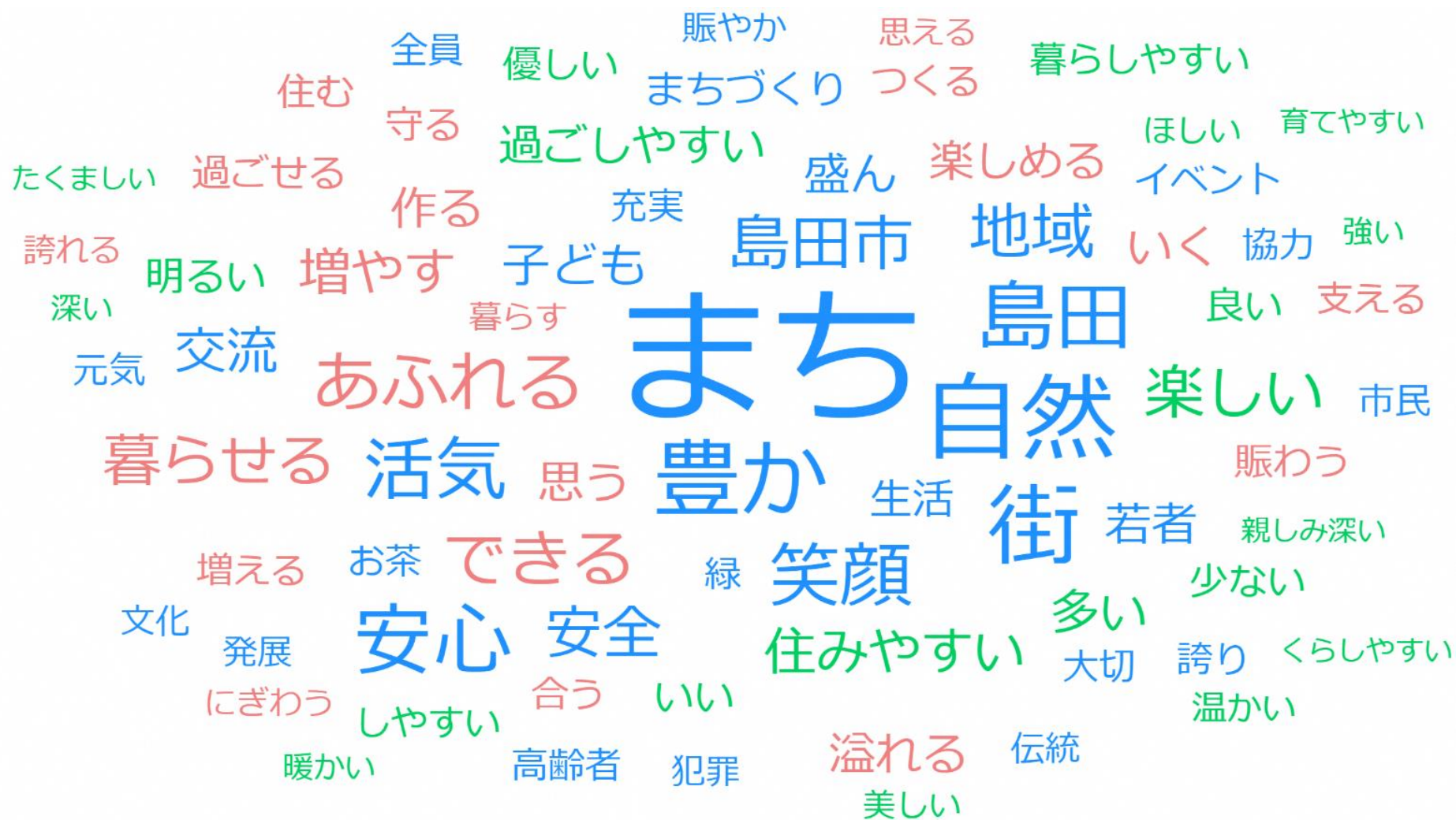
高校生

(N=413)



- 1 安全で健やかに暮らせるまちづくり
- 2 子育て・教育環境が充実するまちづくり
- 3 地域経済をリードするまちづくり
- 4 住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり
- 5 歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり
- 6 ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり
- 7 人口減少社会に挑戦する経営改革を実現するまちづくり

現在のまちづくりのキャッチフレーズ「笑顔あふれる 安心のまち 島田」をもとに、これからの目指すべきまちのイメージなどを自由に記してください。 <ワードクラウド>



[illegible]